

厚生労働科学研究費補助金
難治性疾患政策事業
脊柱靱帯骨化症に関する調査研究

令和2年度～令和4年度
総合研究報告書

研究代表者 山崎 正志

令和5(2023)年 5月

目 次

I. 総括研究報告

脊柱靱帯骨化症に関する調査研究

筑波大学医学医療系整形外科 山崎 正志

II. 研究成果の刊行に関する一覧表

別紙4 書籍 (英文) (令和2～4年度)

書籍 (和文) (令和2～4年度)

雑誌 (英文) (令和2～4年度)

雑誌 (和文) (令和2～4年度)

III. 学会発表(国際学会・国内学会)

IV. その他

班会議プログラム(令和2～4年度)

厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患政策研究事業
総括研究報告書

脊柱靱帯骨化症に関する調査研究
研究代表者 山崎 正志 筑波大学医学医療系 整形外科

研究要旨 脊柱靱帯骨化症（後縦靱帯骨化症 [OPLL]、黄色靱帯骨化症 [OLF]、びまん性特発性骨増殖症 [DISH]）および進行性骨化性繊維異形性症 [FOP] の治療成績向上・診療体制構築を目的として、脊柱靱帯骨化症ガイドラインの普及を図りつつ、悉皆性の高い症例レジストリを構築し運用を開始した。これに並行して既存データベースを用いた他施設研究を行い、将来的な診療ガイドライン改訂に向けた準備を行った。また、脊柱靱帯骨化症および FOP の診療体制の構築を図った。これらの結果をもとに、本難病患者の日常生活・社会生活改善が期待される。

A. 研究目的

1) 脊柱靱帯骨化症診療ガイドライン (GL) の普及を図りつつ、悉皆性の高い症例レジストリを構築、これを基盤に多施設研究を行い、将来的な診療ガイドラインの改訂に向けた準備を行う。2) 脊柱靱帯骨化症および FOP の診療体制を構築する。

B. 研究方法

(1) 診療 GL の評価の普及

整形外科専門医を対象として GL の普及度を調査する。運動器関連の主要学会と連携して GL のさらなる普及を目指す。並行して GL の外部評価を進める。

(2) 悉皆性の高い症例レジストリ構築

日本整形外科学会全手術症例登録レジストリと連携して本症例登録レジストリのシステムを構築する。構築したレジストリを運用し、症例登録を進め、これを基盤とした多施設研究を施行する。

(3) 患者・研究班の双方向性研究

患者・研究班意見交換会を行い患者からの意見を集約して、新規研究プロトコル案を作成し、作成したプロトコルの倫理申請等の作業を進め、症例登録・データ収集を行う。

(4) 多施設研究

新規研究課題

① 脊柱靱帯骨化症における疼痛の調査・解析 (担当：高相)：脊柱靱帯骨化症患者における疼痛の実態を調査する。患者が受けている投

薬治療の内容、疼痛が日常生活動作や生活の質に与える影響についても解析を行う (症例数 200 例)

② 人工知能を用いた脊柱靱帯骨化症の診断研究 (担当：古矢)：頰椎後縦靱帯骨化症患者の CT データを用いて、AI による診断のシステムを検討する (症例数 500 例)

これらについては、既存データベースを用いた検討を行うとともに、研究プロトコル作成、倫理申請等の作業を進め、

継続研究課題

① 全脊柱 CT 研究：CT 画像を用いた前向き観察研究 (症例数 300 例)。

② 胸椎 OPLL 治療成績調査研究 (症例数 100 例)。

③ 胸椎 OLF 治療成績調査研究 (症例数 200 例)。

④ 頰椎 OPLL 手術例前向き症例登録研究 (症例数 500 例)。

以上の4課題はすでに全症例登録が終了しており、フォローアップ・データ収集を完了し、データ解析を行う。

⑤ びまん性特発性骨増殖症 (担当：松本)：前向きに治療成績を調査中である (症例数 100 例)。

⑥ 脊髄モニタリング (担当：松山)：前向きにデータを収集中であり、アラームポイントの設定を目指す。

⑦ 新たな脊髄症の画像バイオマーカー (拡散テンソルトラクトグラフィ) 研究 (担当：中

村)：前向きに患者基礎データ・画像データを収集中である(症例数100例)。

- ⑧ **骨傷のない頸髄損傷に対する手術タイミングに関する研究**(担当：筑田)：前向き・ランダム化のデザインにて早期・晩期手術群を比較する(症例数100例)
- ⑨ **脊髄症術前後のrs-fMRI研究**(担当：海渡)：頸髄症術前後のrs-fMRIによる脳機能結合変化を検討する(症例数200例)。
- ⑩ **若年発症胸椎OPLLに関する研究**(担当：高畑、池川)：若年発症の胸椎OPLLは重症化することが多く、治療に難渋する靭帯骨化症のサブグループである。ゲノムワイド相関解析によりマーカーを探索し、早期に診断を図ることで治療成績向上を目指す(症例数500例)。
- ⑪ **胸椎OPLLに対するロボットリハビリテーション治療に関する研究**(担当：國府田)：重度の脊髄障害患者に対するロボットを用いたリハビリテーション治療の効果を解析中である。
- ⑫ **FOPの症例登録・医師主導治験**(担当：芳賀、鬼頭、藤原)：FOPの全症例登録を行い、医師主導治験を実施中である。
以上の8課題は症例登録・データ収集中である。

(5) 難病診療体制構築(担当：山崎)

各都道府県の難病診療体制を調査し、難病診療体制構築案を作成する。作成した構築案をもとに各都道府県の担当部署・当該医療機関と調整を行い、体制構築を進める。

C. 研究結果

(1) 診療GLの評価の普及

診療GLの普及度を調査するための調査項目を検討し、アンケート用紙を作成した。これをもとに、日本脊椎脊髄病学会員を対象にアンケート調査を施行し、その結果について令和4年度研究会議にて報告した。また、令和3年4月に開催された第50回日本脊椎脊髄病学会学術集会において脊髄骨化症診療GLの改訂内容についての教育研修講演を行った(座長：山崎正志、講師：川口善治)。また、GLの普及活動の一環として、当該研究班における研究の進捗を雑誌の特集号としてとりまとめた。これと並行して、日本脊椎脊髄病学会として診療GL普及度の大規模調査を計画中である。

(2) 悉皆性の高い症例レジストリ構築

日本整形外科学会全手術症例レジストリの2階部分に脊髄骨化症レジストリを組み込むことに立案し、日本整形外科学会レジストリ委員会に審査を依頼し承認を得た。日本整形外科学会全手術症例レジストリと連携した脊髄骨化症レジストリ登録システムを構築し、令和3年11月よ

り施設限定での仮運用を開始した。令和5年3月までに48例の登録がなされ順調に症例の蓄積を行っており、令和4年度第2回研究会議で症例の傾向について解析結果を報告した。また、令和4年度中にシステム不具合の調節、調査項目の追加も行った。令和5年4月より全研究会議施設において本運用を開始する予定である。

(3) 患者・研究班の双方向性研究

患者・研究班の双方向性研究については、脊髄骨化症研究会議を、令和2年6月26日、11月27日、令和3年6月25日、11月26日には、新型コロナウイルス感染症のためWeb開催、令和4年6月24日および11月11日には、新型コロナウイルスの状況が一定の収束を認めていたため、現地開催とWeb開催のHybrid開催として行い、本研究の進捗状況をオープンな形で配信し、研究協力者、および患者家族会と対面での意見交換を行った。また、研究班・患者双方向性研究の新規課題として、患者・市民参画研究(Patient and Public Involvement:PPI)としての患者視点からの脊髄骨化症患者の痛み痺れの実態調査について研究を行い、令和4年度第2回研究会議にて報告した。さらに、一連の患者会活動が、研究班・患者会との双方向性研究の成功事例としてメディアに取り上げられた。

(4) 多施設研究

新規研究課題

- ① **脊髄骨化症における疼痛の調査・解析**：既存データベースを用い、脊髄骨化症患者における疼痛の実態を調査した。患者が受けている投薬治療の内容、疼痛が日常生活動作や生活の質に与える影響についても解析を行った(症例数200例)
- ② **人工知能を用いた脊髄骨化症の診断研究**：既存の頸椎後縦靭帯骨化症患者CTデータを用いて、AIによる診断のシステムを検討した(症例数500例)

既存データベースを用いた調査・解析を行いエビデンスの蓄積をはかり、英文雑誌へ投稿した。今後は、得られたエビデンスを元に研究プロトコル作成、倫理申請等の作業を進める予定である。

継続研究課題

- ③ **全脊髄CT研究**：CT画像を用いた前向き観察研究(症例数300例)。
- ④ **胸椎OPLL治療成績調査研究**(症例数100例)。
- ⑤ **胸椎OLF治療成績調査研究**(症例数200例)。
- ⑥ **頸椎OPLL手術例前向き症例登録研究**(症例数500例)。
- ⑦ **びまん性特発性骨増殖症**：前向きに治療成績を調査中である(症例数100例)。
- ⑧ **脊髄モニタリング**：前向きにデータを収集中であり、アラームポイントの設定を目指す。
- ⑨ **新たな脊髄症の画像バイオマーカー(拡散テ**

ンソルトラクトグラフィ) 研究：前向きに患者基礎データ・画像データを収集中である(症例数 100 例)。

- ⑩ 骨傷のない頸髄損傷に対する手術タイミングに関する研究：前向き・ランダム化のデザインにて早期・晚期手術群を比較する(症例数 100 例)
- ⑪ 脊髄症術前後の rs-fMRI 研究：頸髄症術前後の rs-fMRI による脳機能結合変化を検討する(症例数 200 例)。また、脊髄症術前後での神経障害性疼痛の変化と脳機能結合の関連性を検討する(症例数 100 例)。
- ⑫ 若年発症胸椎 OPLL に関する研究：若年発症の胸椎 OPLL は重症化することが多く、治療に難渋する靭帯骨化症のサブグループである。ゲノムワイド相関解析によりマーカーを探索し、早期に診断を図ることで治療成績向上を目指す(症例数 500 例)。
- ⑬ 胸椎 OPLL に対するロボットリハビリテーション治療に関する研究：重度の脊髄障害患者に対するロボットを用いたリハビリテーション治療の効果を解析中である。
- ⑭ FOP の症例登録・医師主導治験：FOP の全症例登録を行い、医師主導治験を実施中である。また、別途新規薬物治療についての治験を施行した。

目標症例数未到達の課題については症例登録・データ収集を行った。目標症例数に到達した課題については、データ解析を行いその一部は英文論文として投稿した。今後は目標症例数に到達次第、データ解析を行い、英文論文化、エビデンスの構築を目指す。

(5) 難病診療体制構築

茨城県難病診療拠点病院事業「難病診療に携わる医療従事者に対する研修会」(令和 2 年 12 月 22 日 Web 開催)にて医療従事者向けに講演を行い、啓発活動を行った。また、筑波大学附属病院難病医療センターと連携し、茨城県内での診療体制構築に向けた調査および活動を行った。令和 3 年 9 月 28 日、令和 4 年 9 月 13 日には茨城県難病診療連携拠点病院事業として、骨・関節系疾患ネットワーク専門部会を開催し、茨城県内の医療施設担当医師と診療体制構築について連携の確認を行った。

D. 考察

診療GLを十分に普及させることは難病診療の質の向上に繋がり、難病罹患者がいかなる医療機関を受診しても一定程度のレベルの診断・治療が受けられることが期待される。悉皆性の高い症例レジストリ構築、およびこれを基盤にした多施設研

究を行うことは、診断・治療技術の平準化を通して難病の治療成績向上に寄与しうる。質の高いレジストリを構築し多施設研究を行うことで、将来的な診療GLの改訂に備えることができる。

平成29～31年度の当該前事業において、全国のエキスパートによる多施設研究、特に過去にないサンプル数の前向き手術成績調査が進められた。本研究では、前事業を引き継ぐとともに、さらなる発展を目指す。本研究により脊柱靭帯骨化症およびFOPの診断・治療に関しての質の高いエビデンスが蓄積し、本症に対する普遍的な治療体系の確立が期待される。

脊柱靭帯骨化症および FOP の難病診療体制を構築することにより、一般の病院・診療所を難病罹患者が受診しやすなり、かつ一定水準の診断・診療を受けられる体制が整う。さらに、必要に応じてより高度な医療を提供可能な施設に適切に紹介できる体制が広く整うことが期待される。診療体制構築によるデータ収集の精度向上、診療 GL に基づく一定水準の診断・治療の早期からの提供、高度医療機関への紹介体制の整備は治療成績向上に寄与しうる。

E. 結論

脊柱靭帯骨化症診療ガイドライン (GL) の普及を図りつつ、悉皆性の高い症例レジストリ構築に向けた準備を行い、レジストリ登録システムの運用を開始した。また、これに並行して既存データベースを用いた多施設研究を行い、エビデンスの蓄積をはかった。さらに、脊柱靭帯骨化症および FOP の診療体制構築のための環境整備を進めた。今後は構築したレジストリを基盤にさらなる前向き多施設研究を進め、将来的な診療ガイドラインの改訂に向けた準備を行う予定である。

F. 健康危険情報 なし

G. 研究発表

1.論文発表

別紙「研究成果の刊行に関する一覧表」の通り

H. 知的財産権の出願・登録状況 (予定を含む)

1.特許取得

なし

2.実用新案登録

なし

3.その他

なし

H. 知的財産権の出願・登録状況
(予定を含む。)

1. 特許取得
なし

2. 実用新案登録
なし

1. その他
なし

研究成果の刊行に関する一覧表

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Sakashita K, Kotani T, Sakuma T, Iijima Y, Okuyama K, Akazawa T, Minami S, Ohtori S, Koda M, Yamazaki M.	Risk factors for vertebral bridging in residual adolescent idiopathic scoliosis with thoracolumbar/lumbar curves	J Orthop Sci	22	00301-3.	2022
Sato K, Kotani T, Sakuma T, Iijima Y, Asada T, Akazawa T, Minami S, Ohtori S, Koda M, Yamazaki M.	Prevalence of pleural injury in an extrapleural approach to adolescent idiopathic scoliosis and association of pleural injury with postoperative respiratory function	J Orthop Sci	S09492658 (22)	003220	2022
Lafitte MN, Kadone H, Kubota S, Shimizu Y, Tan CK, Koda M, Hada Y, Sankai Y, Suzuki K, Yamazaki M	Alteration of muscle activity during voluntary rehabilitation training with single-joint Hybrid Assistive Limb (HAL) in patients with shoulder elevation dysfunction from cervical origin.	Front Neurosci	16	817659.	2022
Noguchi H, Koda M, Funayama T, Takahashi H, Miura K, Yamazaki M	Progressive Kyphosis Deformity with Facet Subluxation after Cervical Expansive Laminoplasty: A Case Report	J Orthop Case Rep	12(4)	92-96	2022

Shimizu T, Suda K, Maki S, Koda M, Matsumoto Harmon S, Komatsu M, Ota M, Ushirozako H, Minami A, Takahata M, Iwasaki N, Takahashi H, Yamazaki M	Efficacy of a machine learning -based approach in predicting neurological prognosis of cervi cal spinal cord injury patients following urgent surgery withi n 24 h after injury	J Clin Neuros ci	S0967-5868 (22)	00445-3	2022
Noguchi H, Koda M, Abe T, Funayama T, Takahashi H, Miura K, Mataki K, Kono M, Eto F, Shibao Y, Yamazaki M	Spinal Epidural Lipoma on the Ventral Dura Side and Interv ertebral Foramen Causing Lum bar Radiculopathy.	Case Rep Ort hop	2022	7502552	2022
Sato K, Funayama T, Noguchi H, Asada T, Kono M, Eto F, Shibao Y, Miura K, Kikuchi N, Yoshioka T, Takahashi H, Koda M, Yamazaki M	Efficacy of platelet-rich plasma impregnation for unidirectiona l porous β -tricalcium phosphat e in lateral lumbar interbody f usion: study protocol for a pro spective controlled trial	Trials	23(1)	908	2022
Asada T, Miura K, Koda M, Kadone H, Funayama T, Takahashi H, Noguchi H, Shibao Y, Sato K, Eto F, Mataki K, Yamazaki M	Can Proximal Junctional Kyph osis after Surgery for Adult S pinal Deformity Be Predicted by Preoperative Dynamic Sagit tal Alignment Change with 3D Gait Analysis? A Case-Contr ol Study	J Clin Med	11(19)	5871	2022

Eto F, Inomata K, Sakashita K, Gamada H, Asada T, Sato K, Miura K, Noguchi H, Takahashi H, Funayama T, Koda M, Yamazaki M	Postoperative Changes in Resting State Functional Connectivity and Clinical Scores in Patients With Cervical Myelopathy	World Neurosurg	S1878-8750 (22)	01297-9	2022
Funayama T, Tatsumura M, Fujii K, Ikumi A, Okuwaki S, Shibao Y, Koda M, Yamazaki M	Therapeutic Effects of Conservative Treatment with 2-Week Bed Rest for Osteoporotic Vertebral Fractures: A Prospective Cohort Study. Tsukuba Spine Group.	J Bone Joint Surg Am	104(20)	1785-1795	2022
Noguchi H, Koda M, Funayama T, Takahashi H, Miura K, Eto F, Shibao Y, Sato K, Asada T, Yamazaki M	Surgical treatment for kyphotic deformity after anterior cervical fusion with a severely tortuous vertebral artery: a case report	J Surg Case Rep	2022(8)	rjac363	2022
Miura K, Kadone H, Asada T, Sakashita K, Sunami T, Koda M, Funayama T, Takahashi H, Noguchi H, Sato K, Eto F, Gamada H, Inomata K, Suzuki K, Yamazaki M	Evaluation of dynamic spinal alignment changes and compensation using three-dimensional gait motion analysis for dropped head syndrome	SpineJ	22(12)	1974-1982	2022
Asada T, Koda M, Teramura S, Sugita S, Matsuoka R, Yamazaki M	Cervical Myelopathy due to Odontoid Fracture Induced by Spinal Involvement of Xanthoma Disseminatum: A Case Report	JBJS Case Connect	12(3)		2022

Eto F, Takahashi H, Funayama T, Koda M, Yamazaki M	A Novel Technique for Occipitocervical Fusion with Triple Rod Connection to Prevent Implant Failure	Cureus	8;14(5)	e24821	2022
Funayama T, Noguchi H, Shibao Y, Sato K, Kumagai H, Miura K, Takahashi H, Tatsumura M, Koda M, Yamazaki M	Unidirectional porous beta-tricalcium phosphate as a potential bone regeneration material for infectious bony cavity without debridement in pyogenic spondylitis	J Artif Organs			2022
Yasunaga Y, Koizumi R, Toyoda T, Koda M, Mamizuka N, Sankai Y, Yamazaki M, Miura K	Biofeedback Physical Therapy With the Hybrid Assistive Limb (HAL) Lumbar Type for Chronic Low Back Pain: A Pilot Study	Cureus.	14(3)	e23475	2022
Nakayama K, Kotani T, Kimura H, Osaki M, Ichikawa Y, Sakuma T, Iijima Y, Sakashita K, Sunami T, Asada T, Sato K, Akazawa T, Kishida S, Sasaki Y, Inage K, Shiga Y, Minami S, Ohtori S, Koda M, Yamazaki M	The Optimal Anatomical Position and Threshold Temperature of a Temperature Data Logger for Brace-Wearing Compliance in Patients with Scoliosis	Spine Surg Related Res	6(2)	133-138	2021
Miura K, Koda M, Funayama T, Takahashi H, Noguchi H, Mataki K, Shibao Y, Sato K, Eto F, Kono M, Asada T, Yamazaki M	Surgical Apgar Score and Controlling Nutritional Status Score are significant predictors of major complications after cervical spine surgery	Sci Rep	12(1)	6605	2022

Mataki K, Hara Y, Okano E, Nagashima K, Noguchi H, Shibao Y, Miura K, Takahashi H, Funayama T, Koda M, Yamazaki M	Development of a quantitative method to evaluate pedicle screw loosening after spinal instrumentation using digital tomography	BMC Musculoskeletal Disord	23(1)	358	2022
Fujikawa T, Takahashi S, Shinohara N, Mashima N, Koda M, Takahashi H, Yasunaga Y, Sankai Y, Yamazaki M, Miura K	Early Postoperative Rehabilitation Using the Hybrid Assistive Limb (HAL) Lumbar Type in Patients With Hip Fracture: A Pilot Study	Cureus	14(2)	e22484	2022
Kubota S, Kadone H, Shimizu Y, Koda M, Noguchi H, Takahashi H, Watanabe H, Hada Y, Sankai Y, Yamazaki M	Development of a New Ankle Joint Hybrid Assistive Limb	Medicina (Kaunas)	58(3)	395	2022
Kubota S, Kadone H, Shimizu Y, Koda M, Takahashi H, Miura K, Eto F, Furuya T, Sankai Y, Yamazaki M.	Immediate effects of hybrid assistive limb gait training on lower limb function in a chronic myelopathy patient with postoperative late neurological deterioration	BMC Res Notes	15(1)	89	2022
Saotome K, Matsushita A, Eto F, Shimizu Y, Kubota S, Kadone H, Ikumi A, Marushima A, Masumoto T, Koda M, Takahashi H, Miura K, Matsumura A, Sankai Y, Yamazaki M	Functional magnetic resonance imaging of brain activity during hybrid assistive limb intervention in a chronic spinal cord injury patient with C4 quadriplegia	J Clin Neurosci	99	17-21	2022

Funayama T, Setojima Y, Shibao Y, Noguchi H, Miura K, Eto F, Sato K, Kono M, Asada T, Takahashi H, Tatsumura M, Koda M, Yamazaki M	A Case of Postoperative Recurrent Lumbar Disc Herniation Conservatively Treated with Novel Intradiscal Condoliase Injection	Case Rep Orthop	2022	3656753	2022
Okuwaki S, Funayama T, Ikumi A, Shibao Y, Miura K, Noguchi H, Takahashi H, Koda M, Tatsumura M, Kawamura H, Yamazaki M	Risk factors affecting vertebral collapse and kyphotic progression in postmenopausal osteoporotic vertebral fractures	J Bone Miner Metab	40(2)	301-307	2022
Funayama T, Tsukanishi T, Fujii K, Abe T, Shibao Y, Noguchi H, Miura K, Mataki K, Takahashi H, Koda M, Yamazaki M	Characteristic imaging findings predicting the risk of conservative treatment resistance in fresh osteoporotic vertebral fractures with poor prognostic features on magnetic resonance imaging	J Orthop Sci	27(2)	330-334	2022
Kubota S, Kadone H, Shimizu Y, Abe T, Makihara T, Kubo T, Watanabe H, Marushima A, Koda M, Hada Y, Yamazaki M	Shoulder training using shoulder assistive robot in a patient with shoulder elevation dysfunction: A case report.	J Orthop Sci	27(5)	1154-1158	2022

<p>Nagoshi N, Yoshii T, Egawa S, Sakai K, Kusano K, Tsutsui S, Hirai T, Matsukura Y, Wada K, Katsumi K, Koda M, Kimura A, Furuya T, Maki S, Nishida N, Nagamoto Y, Oshima Y, Ando K, Nakashima H, akahata M, Mori K, Nakajima H, Murata K, Miyagi M, Kaito T, Yamada K, Banno T, Kato S, Ohba T, Inami S, Fujibayashi S, Kato H, Kanno H, Watanabe K, Taneichi H, Imagama S, Kawaguchi Y, Takeshita K, Nakamura M, Matsumoto M, Yamazaki M, Okawa A.</p>	<p>Clinical Indicators of Surgical Outcomes After Laminoplasty for Patients With Cervical Ossification of the posterior Longitudinal Ligament:</p>	<p>A Prospective Multicenter Study</p>	<p>47(15)</p>	<p>10771083</p>	<p>2022</p>
--	--	--	---------------	-----------------	-------------

<p>Hirai T, Yoshii T, Hashimoto J, Ushio S, Mori K, Maki S, Katsumi K, Nagoshi N, Takeuchi K, Furuya T, Watanabe K, Nishida N, Nishimura S, Watanabe K, Kaito T, Kato S, Nagashima K, Koda M, Nakashima H, Imagama S, Murata K, Matsuoka Y, Wada K, Kimura A, Ohba T, Kato H, Watanabe M, Matsuyama Y, Ozawa H, Haro H, Takeshita K, Matsumoto M, Nakamura M, Egawa S, Matsukura Y, Inose H, Okawa A, Yamazaki M, Kawaguchi Y</p>	<p>Clinical Characteristics of Patients with Ossification of the Posterior Longitudinal Ligament and a High OP Index: A Multi-center Cross-Sectional Study (JOSL Study)</p>	<p>J Clin Med</p>	<p>11(13)</p>	<p>3694</p>	<p>2022</p>
---	---	-------------------	---------------	-------------	-------------

<p>Mori K, Yoshii T, Egawa S, Sakai K, Kusano K, Tsutsui S, Hirai T, Matsukura Y, Wada K, Katsumi K, Koda M, Kimura A, Furuya T, Maki S, Nagoshi N, Nishida N, Nagamoto Y, Oshima Y, Ando K, Nakashima H, Takahata M, Nakajima H, Murata K, Miyagi M, Kaito T, Yamada K, Banno T, Kato S, Ohba T, Inami S, Fujibayashi S, Kato H, Kanno H, Taneichi H, Imagama S, Kawaguchi Y, Takeshita K, Matsumoto M, Yamazaki M, Okawa A</p>	<p>Impact of obesity on cervical ossification of the posterior longitudinal ligament: a nationwide prospective study</p>	<p>Sci Rep</p>	<p>12(1)</p>	<p>8884</p>	<p>2022</p>
--	--	----------------	--------------	-------------	-------------

<p>Inoue T, Maki S, Yoshii T, Furuya T, Egawa S, Sakai K, Kusano K, Nakagawa Y, Hirai T, Wada K, Katsumi K, Fujii K, Kimura A, Nagoshi N, Kanchiku T, Nagamoto Y, Oshima Y, Ando K, Takahata M, Mori K, Nakajima H, Murata K, Matsunaga S, Kaito T, Yamada K, Kobayashi S, Kato S, Ohba T, Inami S, Fujibayashi S, Katoh H, Kanno H, Imagama S, Koda M, Kawaguchi Y, Takeshita K, Matsumoto M, htori S, Yamazaki M, Okawa A</p>	<p>Is anterior decompression and fusion more beneficial than laminoplasty for K-line (+) cervical ossification of the posterior longitudinal ligament? An analysis using propensity score matching.; Japanese Multicenter Research Organization for Ossification of the Spinal Ligament</p>	<p>J Neurosurg Spine</p>		<p>1-8</p>	<p>2022</p>
---	---	--------------------------	--	------------	-------------

<p>Nakashima H, Imagama S, Yoshii T, Egawa S, Sakai K, Kusano K, Nakagawa Y, Hirai T, Wada K, Katsumi K, Fujii K, Kimura A, Furuya T, Kanchiku T, Nagamoto Y, Oshima Y, Nagoshi N, Ando K, Takahata M, Mori K, Nakajima H, Murata K, Matsunaga S, Kaito T, Yamada K, Kobayashi S, Kato S, Ohba T, Inami S, Fujibayashi S, Kato H, Kanno H, Li Y, Yatsuya H, Koda M, Kawaguchi Y, Takeshita K, Matsumoto M, Yamazaki M, Okawa A</p>	<p>Comparison of laminoplasty and posterior fusion surgery for cervical ossification of posterior longitudinal ligament.; Japanese Multicenter Research Organization for Ossification of the Spinal Ligament</p>	<p>Sci Rep</p>	<p>12(1)</p>	<p>748</p>	<p>2022</p>
--	--	----------------	--------------	------------	-------------

<p>Yamamoto T, Okada E, Michikawa T, Yoshii T, Yamada T, Watanabe K, Katsumi K, Hiyama A, Watanabe M, Nakagawa Y, Okada M, Endo T, Shiraishi Y, Takeuchi K, Matsunaga S, Maruo K, Sakai K, Kobayashi S, Ohba T, Wada K, Ohya J, Mori K, Tsushima M, Nishimura H, Tsuji T, Koda M, Okawa A, Yamazaki M, Matsumoto M, Watanabe K</p>	<p>The impact of diabetes mellitus on spinal fracture with diffuse idiopathic skeletal hyperostosis: A multicenter retrospective study</p>	<p>J Orthop Sci.</p>	<p>27(3)</p>	<p>582-587</p>	<p>2022</p>
--	--	----------------------	--------------	----------------	-------------

Mori K, Yoshii T, Hirai T, Maki S, Katsumi K, Nagoshi N, Nishimura S, Takeuchi K, Ushio S, Furuya T, Watanabe K, Nishida N, Watanabe K, Kaito T, Kato S, Nagashima K, Koda M, Ito K, Imagama S, Matsuoka Y, Wada K, Kimura A, Ohba T, Kato H, Matsuyama Y, Ozawa H, Haro H, Takeshita K, Watanabe M, Matsumoto M, Nakamura M, Yamazaki M, Okawa A, Kawaguchi Y	The characteristics of the young patients with cervical ossification of the posterior longitudinal ligament of the spine: A multicenter cross-sectional study.	J Orthop Sci	27(4)	760-766	2021
---	--	--------------	-------	---------	------

<p>Maki S, Furuya T, Yoshii T, Egawa S, Sakai K, Kusano K, Nakagawa Y, Hirai T, Wada K, Katsumi K, Fujii K, Kimura A, Nagoshi N, Kanchiku T, Nagamoto Y, Oshima Y, Ando K, Takahata M, Mori K, Nakajima H, Murata K, Matsunaga S, Kaito T, Yamada K, Kobayashi S, Kato S, Ohba T, Inami S, Fujibayashi S, Kato H, Kanno H, Imagama S, Koda M, Kawaguchi Y, Takeshita K, atsumoto M, Ohtori S, Yamazaki M, Okawa A</p>	<p>Machine Learning Approach in Predicting Clinically Significant Improvements After Surgery in Patients with Cervical Ossification of the Posterior Longitudinal Ligament</p>	<p>Spine (Phila Pa 1976)</p>	<p>46(24)</p>	<p>1683-1689</p>	<p>2021</p>
---	--	------------------------------	---------------	------------------	-------------

<p>Hirai T, Yoshii T, Egawa S, Sakai K, Kusano K, Nakagawa Y, Wada K, Katsumi K, Fujii K, Kimura A, Furuya T, Nagoshi N, Kanchiku T, Nagamoto Y, Oshima Y, Ando K, Takahata M, Mori K, Nakajima H, Murata K, Matsunaga S, Kaito T, Yamada K, Kobayashi S, Kato S, Ohba T, Inami S, Fujibayashi S, Kato H, Kanno H, Imagama S, Koda M, Kawaguchi Y, Takeshita K, Matsumoto M, Yamazaki M, Okawa A</p>	<p>Severity of Myelopathy is Closely Associated With Advanced Age and Signal Intensity Change in Cervical Ossification of the Posterior Longitudinal Ligament: A Prospective Nationwide Investigation</p>	<p>Clin Spine Surg</p>	<p>35(1)</p>	<p>E155-E161</p>	<p>2022</p>
<p>Morishita S, Yoshii T, Inose H, Hirai T, Yuasa M, Matsukura Y, Ogawa T, Fushimi K, Okawa A, Fujiwara T.</p>	<p>Comparison of perioperative complications in anterior decompression with fusion and posterior decompression with fusion for thoracic ossification of the posterior longitudinal ligament - a retrospective cohort study using a nationwide inpatient database.</p>	<p>J Orthop Sci.</p>	<p>May;27(3)</p>	<p>600-605</p>	<p>2022</p>
<p>Sakai K, Yoshii T, Arai Y, Hirai T, Torigoe I, Inose H, Tomori M, Sakaki K, Matsukura Y, Okawa A.</p>	<p>Impact of preoperative cervical sagittal alignment for cervical myelopathy caused by ossification of the posterior longitudinal ligament on surgical treatment.</p>	<p>J Orthop Sci.</p>	<p>Nov;27(6)</p>	<p>1208-1214</p>	<p>2022</p>

<p>Ogawa T, Yoshii T, Oyama J, Sugimura N, Akada T, Sugino T, Hashimoto M, Morishita S, Takahashi T, Motoyoshi T, Oyaizu T, Yamada T, Onuma H, Hirai T, Inose H, Nakajima Y, Okawa A.</p>	<p>Detecting ossification of the posterior longitudinal ligament on plain radiographs using a deep convolutional neural network: a pilot study.</p>	<p>Spine J</p>	<p>Jun;22(6)</p>	<p>934-940</p>	<p>2022</p>
<p>Mori K, Yoshii T, Egawa S, Sakai K, Kusano K, Tsutsui S, Hirai T, Matsukura Y, Wada K, Katsumi K, Koda M, Kimura A, Furuya T, Maki S, Nagoshi N, Nishida N, Nagamoto Y, Oshima Y, Ando K, Nakashima H, Takahata M, Nakajima H, Murata K, Miyagi M, Kaito T, Yamada K, Banno T, Kato S, Ohba T, Inami S, Fujibayashi S, Katoh H, Kanno H, Taneichi H, Imagama S, Kawaguchi Y, Takeshita K, Matsumoto M, Yamazaki M, Okawa A.</p>	<p>Impact of obesity on cervical ossification of the posterior longitudinal ligament: a nationwide prospective study.</p>	<p>Sci Rep.</p>	<p>May 25;12 (1)</p>	<p>8884</p>	<p>2022</p>

Morishita S, Yoshii T, Inose H, Hirai T, Matsukura Y, Ogawa T, Fushimi K, Katayanagi J, Jinno T, Okawa A.	Perioperative Complications of Anterior Decompression with Fusion in Degenerative Cervical Myelopathy-A Comparative Study between Ossification of Posterior Longitudinal Ligament and Cervical Spondylotic Myelopathy Using a Nationwide Inpatient Database.	J Clin Med.	Jun 13;11(12)	3398	2022
Sakai K, Yoshii T, Arai Y, Hirai T, Torigoe I, Inose H, Tomori M, Sakaki K, Yuasa M, Yamada T, Matsukura Y, Oyaizu T, Morishita S, Okawa A.	A comparative study of surgical outcomes between anterior cervical discectomy with fusion and selective laminoplasty for cervical spondylotic myelopathy.	J Orthop Sci.	Nov;27(6)	1228-1233	2022
Yoshizawa A, Nakagawa K, Yoshimi K, Hashimoto M, Aritaki K, Ishii M, Yamaguchi K, Nakane A, Kawabata A, Hirai T, Yoshii T, Ikeda M, Okawa A, Tohara H.	Analysis of swallowing function after anterior/posterior surgery for cervical degenerative disorders and factors related to the occurrence of postoperative dysphagia.	Spine J.	Dec 17	S1529-9430(22)01073-7	2022

Yamamoto T, Okada E, Michikawa T, Yoshii T, Yamada T, Watanabe K, Katsumi K, Hiyama A, Watanabe M, Nakagawa Y, Okada M, Endo T, Shiraishi Y, Takeuchi K, Matsunaga S, Maruo K, Sakai K, Kobayashi S, Ohba T, Wada K, Ohya J, Mori K, Tsushima M, Nishimura H, Tsuji T, Koda M, Okawa A, Yamazaki M, Matsumoto M, Watanabe K.	The impact of diabetes mellitus on spinal fracture with diffuse idiopathic skeletal hyperostosis: A multicenter retrospective study.	J Orthop Sci.	27(3)	582-587	2022
---	--	---------------	-------	---------	------

<p>Nagoshi N, Yoshii T, Egawa S, Sakai K, Kusano K, Tsutsui S, Hirai T, Matsukura Y, ada K, Katsumi K, Koda M, Kimura A, Furuya T, Maki S, Nishida N, Nagamoto Y, Oshima Y, Ando K, Nakashima H, Takahata M, Mori K, Nakajima H, Murata K, Miyagi M, Kaito T, Yamada K, Banno T, Kato S, Ohba T, Inami S, Fujibayashi S, Kato H, Kanno H, Watanabe K, Taneichi H, Imagama S, Kawaguchi Y, Takeshita K, Nakamura M, Matsumoto M, Yamazaki M, Okawa A</p>	<p>Clinical Indicators of Surgical Outcomes after Laminoplasty for Patients With Cervical Ossification of the Posterior Longitudinal Ligament: A Prospective Multicenter Study.</p>	<p>Spine</p>	<p>47(15)</p>	<p>1077-1083</p>	<p>2022</p>
<p>Tung NTC, Yahara Y, Yasuda T, Seki S, Suzuki K, Watanabe K, Makino H, Kamei K, Mori K, Kawaguchi Y.</p>	<p>Morphological characteristics of DISH in patients with OPLL and its association with high-sensitivity CRP: inflammatory DISH.</p>	<p>Rheumatology</p>	<p>61</p>	<p>3981–3988</p>	<p>2022</p>

Tung NTC, Yahara Y, Yasuda T, Seki S, Suzuki K, Watanabe K, Makino H, Kamei K, Mori K, Kawaguchi Y.	Association of inflammation, ectopic bone formation, and sacroiliac joint variation in ossification of the posterior longitudinal ligament	J Clinical Medicine	11		2022
Kawaguchi Y, Kitajima I, Yasuda T, Seki S, Suzuki K, Makino H, Ujihara Y, Ueno T, Canh Tung NT, Yahara Y.	Serum Periostin Level Reflects Progression of Ossification of the Posterior Longitudinal Ligament.	J Bone Joint Surg, Am open access	7	e21.00111	2022
Yoshida G, Ushirozako H, Imagama S, Kobayashi K, Ando K, Ando M, Kawabata S, Yamada K, Kanchiku T, Fujiwara Y, Taniguchi S, Iwasaki H, Shigematsu H, Takatani T, Tadokoro N, Takahashi M, Wada K, Yamamoto N, Funaba M, Yasuda A, Hashimoto J, Morito S, Tani T, Matsuyama Y.	Ranscranial Motor-evoked Potential Alert After Supine-to-Prone Position Change During Thoracic Ossification in Posterior Longitudinal Ligament Surgery: A Prospective Multicenter Study of the Monitoring Committee of the Japanese Society for Spine Surgery and Related Research.	SPINE	Jul 15;47(14)	1018-1026	2022

Yoshida G, Ushirozako H, Hasegawa T, Yamato Y, Yasuda T, Banno T, Arima H, Oe S, Mihara Y, Yamada T, Ide K, Watanabe Y, Ushio T, Matsuyama Y.	Selective Angiography to Detect Anterior Spinal Artery Stenosis in Thoracic Ossification of the Posterior Longitudinal Ligament.	Asian Spine Journal	Jun;16(3)	334-342	2022
Shigematsu H, Yoshida G, Morito S, Funaba M, Tadokoro N, Machino M, Kobayashi K, Ando M, Kawabata S, Yamada K, Kanchiku T, Fujiwara Y, Taniguchi S, Iwasaki H, Takahashi M, Wada K, Yamamoto N, Yasuda A, Ushirozako H, Hashimoto J, Ando K, Matsuyama Y, Imagama S.	urrent Trends in Intraoperative Spinal Cord Monitoring: A Survey Analysis among Japanese Expert Spine Surgeons.	Spine Surg Relat Res	Oct 13;7(1)	26-35	2022

<p>Funaba M, Kanchiku T, Kobayashi K, Yoshida G, Machino M, Yamada K, Shigematsu H, Tadokoro N, Ushirozako H, Takahashi M, Yamamoto N, Morito S, Kawabata S, Fujiwara Y, Ando M, Taniguchi S, Iwasaki H, Wada K, Yasuda A, Hashimoto J, Takatani T, Ando K, Matsuyama Y, Imagama S.</p>	<p>The Utility of Transcranial Stimulated Motor-Evoked Potential Alerts in Cervical Spine Surgery Varies Based on Preoperative Motor Status.</p>	<p>SPINE</p>	<p>Dec 1;47(23)</p>	<p>1659-1668</p>	<p>2022</p>
<p>Wada K, Imagama S, Matsuyama Y, Yoshida G, Ando K, Kobayashi K, Machino M, Kawabata S, Iwasaki H, Funaba M, Kanchiku T, Yamada K, Fujiwara Y, Shigematsu H, Taniguchi S, Ando M, Takahashi M, Ushirozako H, Tadokoro N, Morito S, Yamamoto N, Yasuda A, Hashimoto J, Takatani T, Tani T, Kumagai G, Asari T, Nitobe Y, Ishibashi Y.</p>	<p>Comparison of intraoperative neuromonitoring accuracies and procedures associated with alarms in anterior versus posterior fusion for cervical spinal disorders: A prospective multi-institutional cohort study.</p>	<p>Medicine</p>	<p>Dec 9;101(49)</p>	<p>e31846</p>	<p>2022</p>

Eto T, Aizawa T, Kanno H, Hashimoto K, Itoi E, Ozawa H.	Several pathologies cause delayed postoperative paralysis following posterior decompression and spinal fusion for thoracic myelopathy caused by ossification of the posterior longitudinal ligament.	J Orthop Sci.	27(3)	725-733	2022
Hashimoto K, Takahashi K, Onoki T, Kanno H, Morozumi N, Yamazaki S, Yahata K, Aizawa T.	Destructive Spondyloarthropathy due to Congenital Insensitivity to Pain with Anhidrosis: A Case Report of Long-Term Follow-Up.	Tohoku J Exp Med.	258(2)	91-95	2022
Kanno H, Handa K, Murakami T, Aizawa T, Ozawa H.	Chaperone-Mediated Autophagy in Neurodegenerative Diseases and Acute Neurological Insults in the Central Nervous System.	Cells.	11(7)	1205	2022
Kanno H, Onoda Y, Hashimoto K, Aizawa T, Ozawa H.	Innovation of Surgical Techniques for Screw Fixation in Patients with Osteoporotic Spine.	J Clin Med.	11(9)	2577	2022
Kanno H, Onoda Y, Hashimoto K, Aizawa T, Ozawa H.	Reinforcement of Percutaneous Pedicle Screw Fixation with Hydroxyapatite Granules in Patients with Osteoporotic Spine: Biomechanical Performance and Clinical Outcomes.	Medicina (Kaunas).	58(5)	579	2022
Kusakabe T, Aizawa T, Kasama F, Nakamura T, Sekiguchi A, Hoshikawa T, Koizumi Y.	Surgical management of facet cysts in the thoracic spine: Radiological manifestations and results of fenestration.	J Orthop Sci.	27(5)	995-1001	2022
Sanaka K, Hashimoto K, Kurosawa D, Murakami E, Ozawa H, Takahashi K, Onoki T, Aizawa T.	The psoas major muscle is essential for bipedal walking - An analysis using a novel upright bipedal-walking android model.	Gait Posture.	94	15-18	2022

Sato Y, Hashimoto K, Matsuda M, Onoki T, Kamimura M, Takahashi K, Onoda Y, Chiba D, Mori Y, Kanno H, Yamamoto N, Aizawa T.	A modified minimally invasive surgery for thoracic pyogenic spondylitis: Percutaneous pedicle screw fixation in combination with a vertebral debridement in a separate posterolateral approach-A case report.	Clin Case Rep.	10(12)	e6710	2022
Takahashi K, Ogawa S, Isefuku S, Hashimoto K, Aizawa T.	Post-laminectomy cervical flexion myelopathy and its possible pathomechanism: A case report.	J Orthop Sci.	S0949-2658 (22)	00122-1.	2022

<p>Yokogawa N, Kato S, Sasagawa T, Hayashi H, Tsuchiya H, Ando K, Nakashima H, Segi N, Funayama T, Eto F, Yamaji A, Nori S, Yamane J, Furuya T, Yunde A, Nakajima H, Yamada T, Hasegawa T, Terashima Y, Hirota R, Suzuki H, Imajo Y, Ikegami S, Uehara M, Tonomura H, Sakata M, Hashimoto K, Onoda Y, Kawaguchi K, Haruta Y, Suzuki N, Kato K, Uei H, Sawada H, Nakanishi K, Misaki K, Terai H, Tamai K, Shirasawa E, Inoue G, Kakutani K, Kakiuchi Y, Kiyasu K, Tominaga H, Tokumoto H, Iizuka Y, Takasawa E, Akeda K, Takegami N, Funao H, Oshima Y, Kaito T, Sakai D, Yoshii T, Ohba T, Otsuki B, Seki S, Miyazaki M, Ishihara M, Okada S, Imagama S, Watanabe K.</p>	<p>Differences in clinical characteristics of cervical spine injuries in older adults by external causes: a multicenter study of 1512 cases.</p>	<p>Sci Rep</p>	<p>12(1)</p>	<p>15867</p>	<p>2022</p>
--	--	----------------	--------------	--------------	-------------

<p>Hirota R, Terashima Y, Ohnishi H, Yamashita T, Yokogawa N, Sasagawa T, Ando K, Nakashima H, Segi N, Funayama T, Eto F, Yamaji A, Watanabe K, Yamane J, Takeda K, Furuya T, Yunde A, Nakajima H, Yamada T, Hasegawa T, Suzuki H, Imajo Y, Ikegami S, Uehara M, Tonomura H, Sakata M, Hashimoto K, Onoda Y, Kawaguchi K, Haruta Y, Suzuki N, Kato K, Uei H, Sawada H, Nakanishi K, Misaki K, Terai H, Tamai K, Shirasawa E, Inoue G, Kakutani K, Kakiuchi Y, Kiyasu K, Tominaga H, Tokumoto H, Iizuka Y, Takasawa E, Akeda K, Takegami N, Funao H, Oshima Y, Kaito T, Sakai D, Yoshii T, Ohba T, Otsuki B, Seki S, Miyazaki M, Ishihara M, Okada S, Imagama S, Kato S.</p>	<p>Prognostic Factors for Respiratory Dysfunction for Cervical Spinal Cord Injury and/or Cervical Fractures in Elderly Patients: A Multicenter Survey.</p>	<p>Global Spine J.</p>	<p>Online ahead of print.</p>	<p>Online ahead of print.</p>	<p>2022</p>
---	--	------------------------	-------------------------------	-------------------------------	-------------

<p>Uehara M, Ikegami S, Takizawa T, Oba H, Yokogawa N, Sasagawa T, Ando K, Nakashima H, Segi N, Funayama T, Eto F, Yamaji A, Watanabe K, Nori S, Takeda K, Furuya T, Yunde A, Nakajima H, Yamada T, Hasegawa T, Terashima Y, Hirota R, Suzuki H, Imajo Y, Tonomura H, Sakata M, Hashimoto K, Onoda Y, Kawaguchi K, Haruta Y, Suzuki N, Kato K, Uei H, Sawada H, Nakanishi K, Misaki K, Terai H, Tamai K, Shirasawa E, Inoue G, Kakutani K, Kakiuchi Y, Kiyasu K, Tominaga H, Tokumoto H, Iizuka Y, Takasawa E, Akeda K, Takegami N, Funao H, Oshima Y, Kaito T, Sakai D, Yoshii T, Otsuki B, Seki S, Miyazaki M, Ishihara M, Okada S, Imagama S, Kato S.</p>	<p>Factors Affecting the Waiting Time from Injury to Surgery in Elderly Patients with a Cervical Spine Injury: A Japanese Multicenter Survey.</p>	<p>World Neurosurg.</p>	<p>166</p>	<p>e815-e822</p>	<p>2022</p>
--	---	-------------------------	------------	------------------	-------------

Watanabe M, Chikuda H, Fujiwara Y, et al	Japanese Orthopaedic Association (JOA) Clinical practice guidelines on the Management of Cervical Spondylotic Myelopathy,2020 - Secondary publication	J Orthop Sci	Jan;28(1):1-45.		2023
Oda Y, Takigawa T, Ito Y, Misawa H, Tetsunaga T, Uotani K, Ozaki T,	Mechanical Study of Various Pedicle Screw Systems including Percutaneous Pedicle Screw in Trauma Treatment	Medicina (Kaunas).	58(5)	565	2022
Tsuji H, Tetsunaga T, Tetsunaga T, Misawa H, Oda Y, Takao S, Nishida K, Ozaki T,	Evaluation of SARC-F and SARC-CalF for sarcopenia screening in patients with chronic musculoskeletal pain: A prospective cross-sectional study	Medicine (Baltimore)	101(29)	e29568	2022
Tsuji H, Tetsunaga T, Tetsunaga T, Misawa H, Oda Y, Takao S, Nishida K, Ozaki T,	Factors influencing caregiver burden in chronic pain patients: A retrospective study	Medicine (Baltimore)	101(39)	e30802	2022
Tsuji H, Tetsunaga T, Misawa H, Nishida K, Ozaki T,	Association of phase angle with sarcopenia in chronic musculoskeletal pain patients: a retrospective study	J Orthop Surg Res	18(1)	87	2023
Saito H, Yayama T, Mori K, Kumagai K, Fujikawa H, Chosei Y, Imai S.	Increased Cellular Expression of Interleukin-6 in Patients With Ossification of the Posterior Longitudinal Ligament.	Spine (Phila Pa 1976)	15;48(6)	E78-E86	2023
Endo T, Takahata M, Fujita R, Koike Y, Suzuki R, Hasegawa Y, Murakami T, Ishii M, Yamada K, Sudo H, Iwasaki N.	Strong relationship between dyslipidemia and the ectopic ossification of the spinal ligaments.	Sci Rep.	12(1)	22617	2022

Hisada Y, Endo T, Koike Y, Kanayama M, Suzuki R, Fujita R, Yamada K, Iwata A, Hasebe H, Sudo H, Iwasaki N, Takahata M.	Distinct progression pattern of ossification of the posterior longitudinal ligament of the thoracic spine versus the cervical spine: a longitudinal whole-spine CT study	J Neurosurg Spine	4	1-8	2022
Endo T, Imagama S, Kato S, Kaito T, Sakai H, Ikegawa S, Kawaguchi Y, Kanayama M, Hisada Y, Koike Y, Ando K, Kobayashi K, Oda I, Okada K, Takagi R, Iwasaki N, Takahata M.	Association Between Vitamin A Intake and Disease Severity in Early-Onset Heterotopic Ossification of the Posterior Longitudinal Ligament of the Spine	Global Spine J	12(8)	1770-1780	2022
Takahata M, Endo T, Koike Y, Abumi K, Suda K, Fujita R, Murakami T, Sudo H, Yamada K, Ohnishi T, Ura K, Ukeba D, Iwasaki N.	Long-Term Clinical Course of Patients After Decompression and Posterior Instrumented Fusion Surgery for Thoracic Ossification of the Posterior Longitudinal Ligament: An Average Follow-Up of 18 years	Global Spine J		219256822211355 48	2022
Nakabachi K, Endo T, Takahata M, Fujita R, Koike Y, Suzuki R, Hasegawa Y, Murakami T, Yamada K, Sudo H, Terkawi MA, Kadoya K, Iwasaki N.	Lumbar ossification of the ligamentum flavum reflects a strong ossification tendency of the entire spinal ligament	Sci Rep	13(1)	638	2023

Endo T, Takahata M, Koike Y, Fujita R, Suzuki R, Hisada Y, Hasegawa Y, Suzuki H, Yamada K, Iwata A, Sudo H, Yoneoka D, Iwasaki N.	Association between obesity and ossification of spinal ligaments in 622 asymptomatic subjects: a cross-sectional study	J Bone Miner Metab	40(2)	337-347	2022
Yokogawa N, Kato S, Sasagawa T, et al.	Differences in clinical characteristics of cervical spine injuries in older adults by external causes: a multicenter study of 1512 cases.	Sci Rep	12(1)	15867	2022
Doi T, Ohashi S, Ohtomo N, Tozawa K, Nakarai H, Yoshida Y, Ito Y, Sakamoto R, Nakajima K, Nagata K, Okamoto N, Nakamoto H, Kato S, Taniguchi Y, Matsubayashi Y, Tanaka S, Oshima Y.	Evaluation of bone strength using finite-element analysis in patients with ossification of the posterior longitudinal ligament.	Spine J	22(8)	1399-1407	2022
Katsumi K, Watanabe K, Yamazaki A, Hirano T, Ohashi M, Mizouchi T, Sato M, Sekimoto H, Izumi T, Shibuya Y, Kawashima H.	Predictive biomarkers of ossification progression and bone metabolism dynamics in patients with cervical ossification of the posterior longitudinal ligament	European Spine Journal	In press		2023
Asari T, Wada K, Kumagai G, Sasaki E, Okano R, Oyama T, Tsukuda M, Ota S, Ishibashi Y	Usefulness of digital tomosynthesis in diagnosing cervical ossification of the posterior longitudinal ligament: a comparative study with other imaging modalities.	Eur Spine J			2022

Wada K, Imagama S, Matsuyama Y, Yoshida G, Ando K, Kobayashi K, Machino M, Kawabata S, Iwasaki H, Funaba M, Kanchiku T, Yamada K, Fujiwara Y, Shigematsu H, Taniguchi S, Ando M, Takahashi M, Ushirozako H, Tadokoro N, Morito S, Yamamoto N, Yasuda A, Hashimoto J, Takatani T, Tani T, Kumagai G, Asari T, Nitobe Y, Ishibashi Y.	Comparison of intraoperative neuromonitoring accuracies and procedures associated with alarms in anterior versus posterior fusion for cervical spinal disorders. A prospective multi-institutional cohort study.	Medicine	101	49	2022
Kitade M, Nakajima H, Tsujioka T, Noriki S, Mori T, Kiyono Y, Okazawa H, Matsumine A	Evaluation of (R)-[¹¹ C]PK11195 PET/MRI for spinal cord-related neuropathic pain in patients with cervical spinal disorders	J Clin Med	12(1)	116	2022
Nakajima H, Watanabe S, Honjoh K, Kubota A, Matsuo H, Naruse H, Matsumine A	Prognostic factors for the postoperative improvement of spinal cord-related neuropathic pain in patients with degenerative cervical myelopathy	Spine Surg Relat Res	6(6)	610-616	2022
Nakajima H, Watanabe S, Honjoh K, Kubota A, Matsumine A	Symptom-based pharmacotherapy for neuropathic pain related to spinal disorders: results from a patient-based assessment	Sci Rep	12(1)	7192	2022

Nakajima H, Yokogawa N, Sasagawa T, Ando K, Segi N, Watanabe K, Nori S, Watanabe S, Honjoh K, Funayama T, Eto F, Terashima Y, Hirota R, Furuya T, Yamada T, Inoue G, Kaito T, Kato S, JASA Study Group	Prognostic factors for cervical spinal cord injury without major bone injury in elderly patients	J Neurotrauma	39(9-10)	658-666	2022
Nakajima H, Watanabe S, Honjoh K, Kubota A, Takeura N, Matsumine A	Symptom-based characteristics and treatment efficacy of neuropathic pain related to spinal disorders	J Orthop Sci	27(6)	1222-1227	2022
Nakajima H, Honjoh K, Watanabe S, Kubota A, Matsumine A	Risk factors and prevention of C5 palsy after anterior cervical decompression and fusion: similarity of the pathomechanism with that after a posterior approach	Clin Spine Surg	35(1)	E274-E279	2022
Shimizu T, Koda M, Abe T, Asada T, Sato K, Shibao Y, Kono M, Eto F, Miura K, Mataki K, Noguchi H, Takahashi H, Funayama T, Yamazaki M	Paravertebral foramen screw fixation for posterior cervical spine surgery: clinical case series	J Neurosurg Spine			2021

Takahashi H, Koda M, Funayama T, Noguchi H, Miura K, Mataki K, Shibao Y, Eto F, Kono M, Sato K, Asada T, Okuwaki S, Shimizu T, Ikumi A, Fujii K, Shiga Y, Inage K, Eguchi Y, Orita S, Saito J, Aoki Y, Ohtori S, Yamazaki M	Continuous local antibiotic per fusion for patients with surgical site infection after instrumented spinal surgery; a novel technique to retain the implants	J Clin Neurosci	93	70-74	2021
Asada T, Koda M, Funayama T, Takahashi H, Noguchi H, Miura K, Mataki K, Yamazaki M	Imaging-based diagnosis of epiconus syndrome from the distance of the lesion to where the spinal cord terminates not from the disc level: a case series	Cureus	13(9)	e17708	2021
Kubota S, Kadone H, Shimizu Y, Takahashi H, Koda M, Miura K, Watanabe H, Suzuki K, Hada Y, Sankai Y, Yamazaki M	Robotic shoulder rehabilitation with the hybrid assistive limb in a patient with delayed recovery after postoperative C5 palsy: a case report	Front Neurol	14(12)	676352	2021
Miura K, Kadone H, Asada T, Koda M, Funayama T, Takahashi H, Noguchi H, Mataki K, Shibao Y, Sato K, Eto F, Kono M, Suzuki K, Yamazaki M	The fatty degeneration of the lumbar erector spinae muscles affects dynamic spinal compensation ability during gait in adult spinal deformity	Sci Rep	11(1)	18088	2021

Yasunaga Y, Miura K, Koda M, Funayama T, Takahashi H, Noguchi H, Mataki K, Asada T, Wada K, Sankai Y, Yamazaki M	Exercise therapy using the lumbar-type hybrid assistive limb ameliorates locomotive function after lumbar fusion surgery in an elderly patient	Case Rep Orthop		1996509	2021
Miura K, Koda M, Funayama T, Takahashi H, Yamazaki M	Occipital screw placement using a navigation system for a pathological odontoid fracture with a dural venous sinus variation	Cureus	13(7)	e16610	2021
Soma Y, Kubota S, Kadone H, Shimizu Y, Takahashi H, Hada Y, Koda M, Sankai Y, Yamazaki M	Hybrid assistive limb functional treatment for a patient with chronic incomplete cervical spinal cord injury	Int Med Case Rep J	14	413-420	2021
Miura M, Maki S, Miura K, Takahashi H, Miyagi M, Inoue G, Murata K, Konishi T, Furuya T, Koda M, Takaso M, Endo K, Ohtori S, Yamazaki M	Automated detection of cervical ossification of the posterior longitudinal ligament in plain lateral radiographs of the cervical spine using a convolutional neural network	Sci Rep	11(1)	12702	2021
Miura K, Koda M, Tamaki K, Ishida M, Marushima A, Funayama T, Takahashi H, Noguchi H, Mataki K, Yasunaga Y, Kawamoto H, Sankai Y, Matsumura A, Yamazaki M	Exercise training using hybrid assistive limb (HAL) lumbar type for locomotive syndrome: a pilot study	BMC Musculoskelet Disord	22(1)	533	2021

Gamada H, Koda M, Shina I, Asada T, Eto F, Kono M, Shibao Y, Mataki K, Miura K, Noguchi H, Takahashi H, Funayama T, Abe T, Yamazaki M	What trajectory is safe for double penetrating endplate screw posterior spinal fusion surgery in the thoracolumbar region?	World Neurosurg	151	E972-978	2021
Kubota S, Kadone H, Shimizu Y, Koda M, Miura K, Takahashi H, Watanabe H, Marushima A, Hada Y, Sankai Y, Yamazaki M	Adjustment effect during shoulder abduction training with the Hybrid Assistive Limb in a patient with postoperative C5 palsy	J Clin Neurosci	88	197-204	2021
Shimizu T, Koda M, Abe T, Shibao Y, Kono M, Eto F, Miura K, Mataki K, Noguchi H, Takahashi H, Funayama T, Yamazaki M	Correlation between osteoarthritis of the atlantoaxial facet joint and a high-riding vertebral artery	BMC Musculoskelet Disord	22(1)	406	2021

Takahashi H, Aoki Y, Inoue M, Saito J, Nakajima A, Sonobe M, Akatsu Y, Koyama K, Shiga Y, Inage K, Eguchi Y, Orita S, Maki S, Furuya T, Akazawa T, Abe T, Funayama T, Noguchi H, Miura K, Mataki K, Shibao Y, Eto F, Kono M, Koda M, Yamazaki M	Ohtori S, Nakagawa K. Characteristics of relief and residual low back pain after discectomy in patients with lumbar disc herniation: analysis using a detailed visual analog scale	BMC Musculoskeletal Disord	22(1)	167	2021
Mataki K, Koda M, Funayama T, Takahashi H, Yamazaki M	Suden transient intraoperative hypotension during the use of the cantilever technique for correction of adult spinal deformity	Cureus	13(3)	e13835	2021
Shibao Y, Koda M, Abe T, Mataki K, Miura K, Noguchi H, Takahashi H, Funayama T, Yamazaki M	Accidental anterior longitudinal ligament rupture during lateral lumbar interbody fusion disclosed after posterior corrective fusion surgery resulting in local hyperlordosis	J Rural Med	16(2)	111-114	2021
Funayama T, Tsukanishi T, Fujii K, Abe T, Shibao Y, Noguchi H, Miura K, Mataki K, Takahashi H, Koda M, Yamazaki M	Characteristic imaging findings predicting the risk of conservative treatment resistance in fresh osteoporotic vertebral fractures with poor prognostic features on magnetic resonance imaging	J Orthop Sci			2021

Shibao Y, Koda M, Nakayama K, Asada T, Sato K, Kono M, Eto F, Mataki K, Kumagai H, Nagashima K, Miura K, Noguchi H, Takahashi H, Funayama T, Abe T, Yamazaki M	A case of cardiac arrest during C1 laminectomy for irreducible atlantoaxial subluxation	Case Report		6691426	2021
Funayama T, Abe T, Noguchi H, Miura K, Mataki K, Takahashi H, Koda M, Yamazaki M	Severe, rigid cervical kyphotic deformity associated with SAPHO syndrome successfully treated with three-stage correction surgery combined with C7 vertebral column resection: a technical case report	Spine Deform	9(1)	285-292	2021
Sakai K, Hirai T, Arai Y, Maehara H, Torigoe I, Inose H, Tomori M, Sakaki K, Yuasa M, Matsukura Y, Oyaizu T, Morishita S, Yoshii T, Okawa A.	Laminar Closure In Double-door Laminoplasty for Cervical Spondylotic Myelopathy with Nonkyphotic Alignment.	Spine (Phila Pa 1976)	46(15)	999-1006	2021
Sakai K, Yoshii T, Arai Y, Hirai T, Torigoe I, Inose H, Tomori M, Sakaki K, Yuasa M, Yamada T, Matsukura Y, Oyaizu T, Morishita S, Okawa A	A Prospective Cohort Study of Dysphagia After Subaxial Cervical Spine Surgery.	Spine (Phila Pa 1976)	46(8)	492-498	2021

Inose H, Hirai T, Yoshii T, Kimura A, Takeshita K, Inoue H, Maekawa A, Endo K, Miyamoto T, Furuya T, Nakamura A, Mori K, Kanbara S, Imagama S, Seki S, Matsunaga S, Okawa A.	Predictors for quality of life improvement after surgery for degenerative cervical myelopathy: a prospective multi-center study.	Health Qual Life Outcomes	19(1)	150	2021
Morishita S, Yoshii T, Inose H, Hirai T, Yuasa M, Matsukura Y, Ogawa T, Fushimi K, Okawa A, Fujiwara T.	Comparison of perioperative complications in anterior decompression with fusion and posterior decompression with fusion for thoracic ossification of the posterior longitudinal ligament -a retrospective cohort study using a nationwide inpatient database.	J Orthop Sci.	S0949-2658 (21) 00127-5		2021
Sakai K, Yoshii T, Arai Y, Hirai T, Torigoe I, Inose H, Tomori M, Sakaki K, Yuasa M, Yamada T, Matsukura Y, Oyaizu T, Morishita S, Okawa A.	A comparative study of surgical outcomes between anterior cervical discectomy with fusion and selective laminoplasty for cervical spondylotic myelopathy.	J Orthop Sci.	S0949-2658 (21) 00284-0		2021
Sakai K, Yoshii T, Arai Y, Hirai T, Torigoe I, Inose H, Tomori M, Sakaki K, Matsukura Y, Okawa A.	Impact of preoperative cervical sagittal alignment for cervical myelopathy caused by ossification of the posterior longitudinal ligament on surgical treatment.	J Orthop Sci.	S0949-2658 (21) 00278-5		2021

Morishita S, Yoshii T, Inose H, Hirai T, Yuasa M, Matsukura Y, Ogawa T, Fushimi K, Okawa A, Fujiwara T.	Comparison of Perioperative Complications in Anterior Decompression With Fusion and Posterior Decompression With Fusion for Cervical Spondylotic Myelopathy: Propensity Score Matching Analysis Using a Nationwide Inpatient Database.	Clin Spine Surg.	34(7)	E425-E431	2021
Hirai T, Yoshii T, Sakai K, Inose H, Yuasa M, Yamada T, Matsukura Y, Ushio S, Morishita S, Egawa S, Onuma H, Kobayashi Y, Utagawa K, Hashimoto J, Kawabata A, Tanaka T, Motoyoshi T, Takahashi T, Hashimoto M, Sakaeda K, Kato T, Arai Y, Kawabata S, Okawa A.	Anterior Cervical Corpectomy with Fusion versus Anterior Hybrid Fusion Surgery for Patients with Severe Ossification of the Posterior Longitudinal Ligament Involving Three or More Levels: A Retrospective Comparative Study.	J Clin Med.	10(22)	5315	2021
Ushio S, Yoshii T, Kawabata A, Yamada T, Taniyama T, Hirai T, Inose H, Yuasa M, Sakai K, Torigoe I, Tomori M, Arai Y, Shindo S, Mizuno K, Otani K, Nakai O, Okawa A.	Prognostic factors for neurological outcome after anterior decompression and fusion for proximal-type cervical spondylotic myelopathy-A retrospective analysis of 77 cases.	J Orthop Sci.	26(5)	733-738	2021

Sakai K, Yoshii T, Arai Y, Hirai T, Torigoe I, Inose H, Tomori M, Sakaki K, Yuasa M, Yamada T, Matsukura Y, Oyaizu T, Morishita S, Okawa A.	K-Line Tilt is a Predictor of Postoperative Kyphotic Deformity After Laminoplasty for Cervical Myelopathy Caused by Ossification of the Posterior Longitudinal Ligament.	Global Spine J.			2021
Ogawa T, Yoshii T, Oyama J, Sugimura N, Akada T, Sugino T, Hashimoto M, Morishita S, Takahashi T, Motoyoshi T, Oyaizu T, Yamada T, Onuma H, Hirai T, Inose H, Nakajima Y, Okawa A.	Detecting ossification of the posterior longitudinal ligament on plain radiographs using a deep convolutional neural network: a pilot study.	Spine J.	S1529-9430 (22) 00007-9		2022
Okada E, Ishihara S, Azuma K, Michikawa T, Suzuki S, Tsuji O, Nori S, Nagoshi N, Yagi M, Takayama M, Tsuji T, Fujita N, Nakamura M, Matsumoto M, Watanabe K	Metabolic Syndrome is a Predisposing Factor for Diffuse Idiopathic Skeletal Hyperostosis	Neurospine	18(1)	109-116	2021
Fujimori T, Nakajima N, Sugiura T, Ikegami D, Sakaura H, Kaito T, Iwasaki M	Epidemiology of symptomatic ossification of the posterior longitudinal ligament: a nationwide registry survey	J Spine Surg	7(4)	485-494	2021

Kawaguchi Y, Kitajima I, Yasuda T, Seki S, Suzuki K, Makino H, Ujihara Y, Ueno T, Canh Tung NT, Yahara Y	Serum Periostin Level Reflects Progression of Ossification of the Posterior Longitudinal Ligament.	JBJS Open Access	Feb 4;7(1)	e21.00111	2022
Shiraishi Y, Kimura A, Kimura H, Ohmori T, Takahashi M, Takeshita K.	Deletion of inflammasome adaptor protein ASC enhances functional recovery after spinal cord injury in mice.	J Orthop Sci.	26(3)	487-493	2021
Kobayashi K, Imagama S, Ando K, Yoshida G, Ando M, Kawabata S, Yamada K, Kanchiku T, Fujiwara Y, Taniguchi S, Iwasaki H, Shigematsu H, Tadokoro N, Takahashi M, Wada K, Yamamoto N, Funaba M, Yasuda A, Ushirozako H, Hashimoto J, Morito S, Takatani N, Tani T, Matsuyama Y.	Characteristics of Cases with Poor Transcranial Motor-evoked Potentials Baseline Waveform Derivation in Spine Surgery: A Prospective Multicenter Study of the Monitoring Committee of the Japanese Society for Spine Surgery and Related Research.	Spine	Nov 15;46(22)	E1211-E1219	2021

<p>Takahashi M, Imagama S, Kobayashi K, Yamada K, Yoshida G, Yamamoto N, Ando M, Kawabata S, Kanchiku T, Fujiwara Y, Taniguchi S, Iwasaki H, Wada K, Shigematsu H, Tadokoro N, Ushirozako H, Funaba M, Yasuda A, Ando K, Hashimoto J, Morito S, Takatani T, Tani T, Matsuyama Y.</p>	<p>Validity of the Alarm Point in Intraoperative Neurophysiological Monitoring of the Spinal Cord by the Monitoring Working Group of the Japanese Society for Spine Surgery and Related Research: A Prospective Multicenter Cohort Study of 1934 Cases.</p>	<p>Spine</p>	<p>Oct 15;46(20)</p>	<p>E1069-E1076.</p>	<p>2021</p>
<p>Funaba M, Kanchiku T, Yoshida G, Imagama S, Kawabata S, Fujiwara Y, Ando M, Yamada K, Taniguchi S, Iwasaki H, Tadokoro N, Takahashi M, Wada K, Yamamoto N, Shigematsu H, Kobayashi K, Yasuda A, Ushirozako H, Ando K, Hashimoto J, Morito S, Takatani T, Tani T, Matsuyama Y.</p>	<p>Efficacy of Intraoperative Neuro-monitoring Using Transcranial Motor-Evoked Potentials for Degenerative Cervical Myelopathy: A Prospective Multicenter Study by the Monitoring Committee of the Japanese Society for Spine Surgery and Related Research.</p>	<p>Spine</p>	<p>Jan 1;47(1)</p>	<p>E27-E37.</p>	<p>2022</p>

<p>Kobayashi K, Imagama S, Yoshida G, Ando M, Kawabata S, Yamada K, Kanchiku T, Fujiwara Y, Taniguchi S, Iwasaki H, Tadokoro N, Takahashi M, Wada K, Yamamoto N, Shigematsu H, Funaba M, Yasuda A, Kobayashi S, Ushirozako H, Tani T, Matsuyama Y.</p>	<p>Effects of Preoperative Motor Status on Intraoperative Motor-evoked Potential Monitoring for High-risk Spinal Surgery: A Prospective Multicenter Study.</p>	<p>Spine</p>	<p>Jun 15;46(12)</p>	<p>E694-E700.</p>	<p>2021</p>
<p>Kobayashi K, Ando K, Yoshida G, Ando M, Kawabata S, Yamada K, Kanchiku T, Fujiwara Y, Taniguchi S, Iwasaki H, Shigematsu H, Tadokoro N, Takahashi M, Wada K, Yamamoto N, Funaba M, Yasuda A, Ushirozako H, Hashimoto J, Morito S, Takatani T, Tani T, Matsuyama Y, Imagama S.</p>	<p>Characteristics of Tc-MEP Waveforms in Spine Surgery for Patients with Severe Obesity.</p>	<p>Spine</p>	<p>Dec 15;46(24)</p>	<p>1738-1747.</p>	<p>2021</p>

Shigematsu H, Yoshida G, Kobayashi K, Imagama S, Ando M, Kawabata S, Yamada K, Kanchiku T, Fujiwara Y, Taniguchi S, Iwasaki H, Tadokoro N, Takahashi M, Wada K, Yamamoto N, Funaba M, Yasuda A, Ushirozako H, Tani T, Matsuyama Y.	Understanding the effect of non-surgical factors in a transcranial motor-evoked potential alert: A retrospective cohort study.	J Orthop Sci.	Sep;26(5)	739-743	2021
Kanno H, Aizawa T, Hashimoto K, Itoi E, Ozawa H	Anterior decompression through a posterior approach for thoracic myelopathy caused by ossification of the posterior longitudinal ligament: A novel concept in anterior decompression and technical notes with the preliminary outcomes.	J Neurosurg Spine	24	1-11	2021
Aizawa T, Hashimoto K, Kanno H, Handa K, Takahashi K, Onoki T, Itoi E, Ozawa H	Retrospective comparison of the surgical results for patients with thoracic myelopathy caused by ossification of the posterior longitudinal ligament: Posterior decompression with instrumented spinal fusion versus modified anterior decompression through a posterior approach.	J Orthop Sci		Online ahead of print	2021
Hashimoto K, Tanaka Y, Tsubakino T, Hoshikawa T, Nakagawa T, Inawashiro T, Takahashi K, Suda M, Aizawa T	Imaging diagnosis of lumbar foraminal stenosis in the fifth lumbar nerve root: reliability and reproducibility of T1-weighted three-dimensional lumbar MRI	J Spine Surg	7(4)	502-509	2021

Ishikawa Y, Ohashi M, Hirano T, Matsuda M, Akabane T, Kanno H, Hashimoto K, Handa K, Aizawa T, Suzuki T, Shimamura Y, Watanabe K	Mid- to long-term outcomes after resection of thoracic dumbbell tumors managed by laminectomy and unilateral total facetectomy without instrumented fusion	Global Spine J		Online ahead of print	2021
Yamaya S, Tezuka F, Sugiura K, Takeuchi M, Manabe H, Morimoto M, Yamashita K, Takata Y, Sakai T, Maeda T, Sairyō K.	Risk Factor for Additional Intravenous Medication during Transforaminal Full-endoscopic Lumbar Discectomy under Local Anesthesia.	Neurol Med Chir	61(3)	236-242	2021
Kusakabe T, Aizawa T, Kasama F, Nakamura T, Sekiguchi A, Hoshikawa T, Koizumi Y	Surgical management of facet cysts in the thoracic spine: Radiological manifestations and results of fenestration	J Orthop Sci		Online ahead of print	2021
Kurosawa D, Murakami E, Aizawa T, Watanabe T	Surgical Outcomes of Patients with Sacroiliac Joint Pain: An Analysis of Patients with Poor Results Regarding Activities of Daily Living	Spine Surg Related Res	5(3)	189-195	2021
Kusakabe T, Nakamura T, Morozumi N, Kasama F, Matsuya S, Onoki T, Aizawa T	Facet cysts in the subaxial cervical spine: Case series focused on radiological and histopathological findings with a scoping review	J Orthop Sci		Online ahead of print	2022
Sanaka K, Hashimoto K, Kurosawa D, Murakami E, Ozawa H, Takahashi K, Onoki T, Aizawa T	The psoas major muscle is essential for bipedal walking - An analysis using a novel upright bipedal-walking android model	Gait Posture		Online ahead of print	2022

Watanabe N, Takigawa T, Uotani K, Oda Y, Misawa H, Tanaka M, Ozaki T.	Three-Dimensional Analysis of the Ideal Entry Point for Sacral Alar Iliac Screws.	Asian Spine J.			2022
Kajiki Y, Tsuji H, Misawa H, Nakahara R, Tetsunaga T, Yamane K, Oda Y, Takao S, Ozaki T.	Psoas muscle index predicts osteoporosis and fracture risk in individuals with degenerative spinal disease.	Nutrition.			2022
Tsuji H, Tetsunaga T, Tetsunaga T, Misawa H, Nishida K, Ozaki T.	Cognitive factors associated with locomotive syndrome in chronic pain patients: A retrospective study.	J Orthop Sci.	26(5)	896-901	2021
Hirota Chikuda & OSCIS investigators	Effect of Early vs Delayed Surgical Treatment on Motor Recovery in Incomplete Cervical Spinal Cord Injury With Preexisting Cervical Stenosis A Randomized Clinical Trial	JAMA Network Open	1;4(11)	e2133604.	2021
Otomo N, Funao H, Yamanouchi K Isogai N, Ishii K.	Computed tomography-based navigation system in current spine surgery: A narrative review	Medicina	58	241	2022
Kanji Mori	The Essence of Clinical Practice Guidelines for Ossification of Spinal Ligaments, 2019: 7. Treatment of Thoracic OLF.	Spine Surg Related Res.	27	336-338	2021
Endo T, Koike Y, Hisada Y, Fujita R, Suzuki R, Tanaka M, Tsujiimoto T, Shimamura Y, Hasegawa Y, Kanayama M, Yamada K, Iwata A, Sudo H, Ishii M, Iwasaki N, Takahata M.	Aggravation of Ossified Ligamentum Flavum Lesion Is Associated With the Degree of Obesity.	Global Spine J.		21925682211031514	2021

Endo T, Koike Y, Miyoshi H, Hisada Y, Fujita R, Suzuki R, Tanaka M, Tsujimoto T, Shimamura Y, Hasegawa Y, Kanayama M, Hashimoto T, Oha F, Noro N, Komano K, Ishii M, Ito YM, Iwasaki N, Takahata M.	Close association between non-alcoholic fatty liver disease and ossification of the posterior longitudinal ligament of the spine.	Sci Rep	11(1)	17412	2021
Tsujimoto T, Endo T, Menjo Y, Kanayama M, Oda I, Suda K, Fujita R, Koike Y, Hisada Y, Iwasaki N, Takahata M.	Exceptional Conditions for Favorable Neurological Recovery After Laminoplasty in Cases with Cervical Myelopathy Caused by K-line (-) Ossification of Posterior Longitudinal Ligament.	Spine	46(15)	990-998	2021
Suzuki R, Koike Y, Ota M, Endo T, Hisada Y, Tsujimoto T, Kanayama M, Ito YM, Sudo H, Iwata A, Yamada K, Iwasaki N, Takahata M.	Thrombocytopenia Associated with Unrecognized Non-Alcoholic Fatty Liver Disease Is an Independent Predictor of Perioperative Significant Blood Loss in Cervical Laminoplasty.	World Neurosurg.	155	e797-e804.	2021

Doi T, Ohtomo N, Oguchi F, Tozawa K, Nakarai H, Nakajima K, Sakamoto R, Okamoto N, Nakamoto H, Kato S, Taniguchi Y, Matsubayashi Y, Oka H, Matsudaira K, Tanaka S, Oshima Y.	Association Between Deep Posterior Cervical Paraspinal Muscle Morphology and Clinical Features in Patients With Cervical Ossification of the Posterior Longitudinal Ligament.	Global Spine J		Online ahead of print.	2021
Funaba M, Imajo Y, Suzuki H, Nishida N,	The associations between radiological and neurological findings of degenerative cervical myelopathy: radiological analysis based on kinematic CT myelography and evoked potentials of the spinal cord.	Journal of Neurosurgery; Spine	35	308-319	2021
Funaba M, Imajo Y, Suzuki H, Nishida N,	Impact of various MRI signal intensity changes on radiological parameters, the neurological status, and surgical outcomes in degenerative cervical myelopathy.	Clinical Neurology and Neurosurgery	207	106802	2021
Nakajima H, Watanabe S, Honjoh K, Kubota A, Matsumine A.	Pathomechanism and prevention of further surgery after posterior decompression for lumbar spinal canal stenosis in patients with diffuse idiopathic skeletal hyperostosis.	Spine J.	21(6)	955-962	2021
Kimura, A. Takeshita, K. Inoue, H. Inose, H. Yoshii, T. Maekawa, A. Endo K. Okawa, A.	The 5-question Geriatric Locomotive Function Scale predicts postoperative fall risk in patients undergoing surgery for degenerative cervical myelopathy.	Journal of Orthopaedic Science	26(5)	779-785	2021
Inose, H. Yoshii, T. Kimura, A. Takeshita, K. Inoue, H. Maekawa, A. Endo K. Okawa, A	Predictors of falls in patients with degenerative cervical myelopathy: a prospective multi-institutional study. Spine,	Spine,	46(15)	1007-101	2021

Murata, K. Endo, K. Aihara, T. Suzuki, H. Matsuoka, Y. Nishimura, H. Yamamoto, K	The impact of sagittal imbalance on walking in patients with lumbar spinal canal stenosis	Journal of Orthopaedic Surgery	29(2)	23094990211010522	2021
Murata K, Endo K, Aihara T, Suzuki H, Sawaji Y, Matsuoka Y, Nishimura H, Takamatsu T, Konishi T, Maekawa A, Yamauchi H, Kanazawa K, Endo H, Tsuji H, Inoue S, Fukushima N, Kikuchi H, Sato H, Yamamoto K	Artificial intelligence for the detection of vertebral fractures on plain spinal radiography.	Sci Rep	10(1)	20031	2021
Kobayashi K, Okada E, Yosii T, Nishimura H, Okawa A, Matsumoto M, Imagama S	Risk factors for delayed diagnosis of spinal fracture associated with diffuse idiopathic skeletal hyperostosis: A nationwide multiinstitution survey	J Orthop Sci	26(6)	968-973	2021
Ezaki S, Kadone H, Kubota S, Abe T, Shimizu Y, Tan CK, Miura K, Hada Y, Sankai Y, Koda M, Suzuki K, Yamazaki M.	Analysis of Gait Motion Changes by Intervention Using Robot Suit Hybrid Assistive Limb (HAL) in Myelopathy Patients After Decompression Surgery for Ossification of Posterior Longitudinal Ligament.	Front Neurobot		In press	2020
Funayama T, Fujii K, Abe T, Kumagai H, Nagashima K, Miura K, Noguchi H, Mataki K, Shibao Y, Koda M, Yamazaki M.	Spontaneous symptomatic lumbar intervertebral pseudoarthrosis associated with diffuse idiopathic skeletal hyperostosis treated with a combined posterior fusion: a case report and review of literature.	J Spine Surg	6(3)	626-630	2020

Furuya T, Maki S, Miyamoto T, Okimatsu S, Shiga Y, Inage K, Orita S, Eguchi Y, Koda M, Yamazaki M, Ohtori S.	Mid-term Surgical Outcome of Posterior Decompression With Instrumented Fusion in Patients With K-line (-) Type Cervical Ossification of the Posterior Longitudinal Ligament With a 5-Year Minimum Follow-up.	Clin Spine Surg	33(9)	333-338	2020
Kadone H, Miura K, Kubota S, Abe T, Shimizu Y, Hada Y, Suzuki K, Sankai Y, Koda M, Yamazaki M.	Dropped Head Syndrome Attenuation by Hybrid Assistive Limb: A Preliminary Study of Three Cases on Cervical Alignment during Walking.	Medicina (Kaunas)	56(6)	291	2020
Kadone H, Kubota S, Abe T, Noguchi H, Miura K, Koda M, Shimizu Y, Hada Y, Sankai Y, Suzuki K, Yamazaki M.	Muscular Activity Modulation During Post-operative Walking With Hybrid Assistive Limb (HAL) in a Patient With Thoracic Myelopathy Due to Ossification of Posterior Longitudinal Ligament: A Case Report.	Front Neurol	11	102	2020
Miura K, Kadone H, Koda M, Abe T, Funayama T, Noguchi H, Mataki K, Nagashima K, Kumagai H, Shibao Y, Suzuki K, Yamazaki M.	Thoracic kyphosis and pelvic anteversion in patients with adult spinal deformity increase while walking: analyses of dynamic alignment change using a three-dimensional gait motion analysis system.	Eur Spine J	29(4)	840-848	2020
Mataki K, Koda M, Shibao Y, Kumagai H, Nagashima K, Miura K, Noguchi H, Funayama T, Abe T, Yamazaki M.	New methods for diagnosing lumbar foraminal stenosis using dynamic digital tomosynthesis radiculography.	J Clin Neurosci	77	106-109	2020

Miura K, Koda M, Abe T, Kono M, Eto F, Kumagai H, Nagashima K, Fujii K, Noguchi H, Funayama T, Yamazaki M.	Comparison of clinical results of decompression/fusion surgery for paralysis caused by metastatic spinal tumors of unknown versus known origin.	J Rural Med	15(4)	189-193	2020
Miura K, Koda M, Abe T, Funayama T, Noguchi H, Kumagai H, Nagashima K, Mataki K, Shibao Y, Yamazaki M.	Thoracic myelopathy caused by calcification of the ligamentum flavum.	J Rural Med	15(2)	65-67	2020
Miura K, Koda M, Funayama T, Takahashi H, Yamazaki M.	Sarcopenic dysphagia after occipito-cervical fusion surgery in an elderly patient with high-cervical myelopathy caused by retro-odontoid pseudotumor: a case report.	Cureus	12(12)	E11881	2020
Saito J, Koda M, Furuya T, Maki S, Ijima Y, Kitamura M, Miyamoto T, Orita S, Inage K, Hasue F, Fujiyoshi T, Kamiya K, Ikeda Y, Nakajima F, Hashimoto M, Noguchi H, Takahashi H, Yamazaki M, Ohtori S.	Segmental motion at the peak of the ossification foci is independent risk factor except for mal-alignment and thick ossification foci for poor outcome after laminoplasty for cervical ossification of the posterior longitudinal ligament: analyses in patients with positive K-line, lordotic alignment and lower canal occupying ratio.	J Orthop Surg Res	15(1)	407	2020

<p>Sakamoto T, Takahashi H, Saito J, Matsuzawa Y, Aoki Y, Nakajima A, Sonobe M, Akatsu Y, Yamada M, Akiyama Y, Iwai T, Yanagisawa K, Shiga Y, Inage K, Orita S, Eguchi Y, Maki S, Furuya T, Akazawa T, Koda M, Yamazaki M, Ohtori S, Nakagawa K.</p>	<p>Surgical treatment for spinal tuberculosis without elevation of inflammatory biomarkers at the initial visit mimicking spinal metastasis.</p>	<p>Case Rep Orthop</p>		<p>8873170</p>	<p>2020</p>
<p>Sato K, Kumagai H, Funayama T, Yoshioka T, Shibao Y, Mataki K, Nagashima K, Miura K, Noguchi H, Koda M, Yamazaki M.</p>	<p>Posterolateral lumbar spine fusion with unidirectional porous beta-tricalcium phosphate in a canine model.</p>	<p>J Artif Organs</p>	<p>23(4)</p>	<p>365-370</p>	<p>2020</p>
<p>Takahashi H, Aoki Y, Saito J, Nakajima A, Sonobe M, Akatsu Y, Taniguchi S, Yamada M, Koyama K, Akiyama Y, Shiga Y, Inage K, Orita S, Eguchi Y, Maki S, Furuya T, Akazawa T, Koda M, Yamazaki M, Ohtori S, Nakagawa K.</p>	<p>Time course of changes in serum oxidative stress markers to predict outcomes for surgical treatment of lumbar degenerative disorders.</p>	<p>Oxid Med Cell Longev</p>		<p>5649767</p>	<p>2020</p>

<p>Takahashi H, Aoki Y, Taniguchi S, Nakajima A, Sonobe M, Akatsu Y, Saito J, Yamada M, Shiga Y, Inage K, Orita S, Eguchi Y, Maki S, Furuya T, Akazawa T, Koda M, Yamazaki M, Ohtori S, Nakagawa K.</p>	<p>Delayed surgical site infection after posterior cervical instrumented surgery in a patient with atopic dermatitis: a case report.</p>	<p>J Rural Med</p>	<p>15(3)</p>	<p>124-129</p>	<p>2020</p>
<p>Yamamoto K, Takahashi H, Saito J, Aoki Y, Nakajima A, Sonobe M, Akatsu Y, Yamada M, Koyama K, Shiga Y, Inage K, Orita S, Eguchi Y, Maki S, Furuya T, Akazawa T, Koda M, Yamazaki M, Ohtori S, Nakagawa K.</p>	<p>Surgical treatment for central sleep apnea due to occipitocervical compression myelopathy in a patient with Klippel-Feil syndrome: a case report.</p>	<p>World Neurosurg</p>	<p>141</p>	<p>232-235</p>	<p>2020</p>
<p>Yoshii T, Tomizawa S, Hirai T, Inose H, Yamada T, Sakai K, Ushio S, Egawa S, Yuasa M, Kato T, Kawabata S, Arai Y, Okawa A.</p>	<p>Surgical Outcomes in Selective Laminectomy and Conventional Double-Door Laminoplasty for Cervical Spondylotic Myelopathy.</p>	<p>Orthopedics</p>	<p>43(4)</p>	<p>e311-e315</p>	<p>2020</p>

Hirai T, Yoshii T, Ushio S, Mori K, Maki S, Katsumi K, Nagoshi N, Takeuchi K,	Clinical characteristics in patients with ossification of the posterior longitudinal ligament: A prospective multi-institutional cross-sectional study.	Sci Rep	10(1)	5532	2020
Kawabata A, Hirai T, Tohara R, Yuasa M, Inose H, Koyanagi H, Sato S, Utagawa K, Hashimoto J, Okawa A, Yoshii T.	Surgical stabilization of spinal metastasis in diffuse idiopathic skeletal hyperostosis ("Mets-on-DISH"): Two case reports.	Medicine (Baltimore).	99(22)	E20397	2020
Yoshii T, Morishita S, Inose H, Yuasa M, Hirai T, Okawa A, Fushimi K, Fujiwara T.	Comparison of Perioperative Complications in Anterior Decompression With Fusion and Posterior Decompression With Fusion for Cervical Ossification of the Posterior Longitudinal Ligament: Propensity Score Matching Analysis Using a Nation-Wide Inpatient Database.	Spine	45(16)	E1006-1012	2020
Sakai K, Hirai T, Arai Y, Maehara H, Torigoe I, Inose H, Tomori M, Sakaki K, Yuasa M, Matsukura Y, Oyaizu T, Morishita S, Yoshii T, Okawa A.	Laminar Closure in Double-Door Laminoplasty for Cervical Spondylotic Myelopathy with Non-Kyphotic Alignment.	Spine (Phila Pa 1976).			2021

<p>Hirai T, Yoshii T, Egawa S, Sakai K, Kusano K, Nakagawa Y, Wada K, Katsumi K, Fujii K, Kimura A, Furuya T, Nagoshi N, Kanchiku T, Nagamoto Y, Oshima Y, Ando K, Takahata M, Mori K, Nakajima H, Murata K, Matsunaga S, Kaito T, Yamada K, Kobayashi S, Kato S, Ohba T, Inami S, Fujibayashi S, Kato H, Kanno H, Imagama S, Koda M, Kawaguchi Y, Takeshita K, Matsumoto M, Yamazaki M, Okawa A.</p>	<p>Severity of Myelopathy is Closely Associated With Advanced Age and Signal Intensity Change in Cervical Ossification of the Posterior Longitudinal Ligament: A Prospective Nationwide Investigation.</p>	<p>Clin Spine Surg.</p>			<p>2021</p>
---	--	-------------------------	--	--	-------------

Katoh H, Okada E, Yoshii T, Yamada T, Watanabe K, Katsumi K, Hiyama A, Nakagawa Y, Okada M, Endo T, Shiraishi Y, Takeuchi K, Matsunaga S, Maruo K, Sakai K, Kobayashi S, Ohba T, Wada K, Ohya J, Mori K, Tsushima M, Nishimura H, Tsuji T, Watanabe K, Matsumoto M, Okawa A, Watanabe M	A Comparison of Cervical and Thoracolumbar Fractures Associated with Diffuse Idiopathic Skeletal Hyperostosis—A Nationwide Multicenter Study.	Journal of Clinical Medicine,	9	208	2020
Kushioka J, Takenaka S, Makino T, Sakai Y, Kashii M, Iwasaki M, Yoshikawa H, Kaito T	Risk factors for in-hospital mortality after spine surgery: a matched case-control study using a multicenter database	Spine J	20 (3)	321-328	2020
Yoshii T, Egawa S, Hirai T, Kaito T, Mori K, Koda M, Chikuda H, Hasegawa T, Imagama S, Yoshida M, Iwasaki M, Okawa A, Kawaguchi Y	A systematic review and meta-analysis comparing anterior decompression with fusion and posterior laminoplasty for cervical ossification of the posterior longitudinal ligament	J Orthop Sci	25	58-65	2020
Matsumoto T, Yamashita T, Okuda S, Maeno T, Nagamoto Y, Iwasaki M.	A detailed clinical course leading to hypoxic ischemic encephalopathy after anterior cervical spine surgery. A case report.	JBJS Case Connect	10 (3)	e20	2020

<p>Kawaguchi Y, Imagama S, Iwasaki M, Kaito T, Koda M, Chikuda H, Hasegawa T, Mori K, Yoshii T,</p> <p>2019 Clinical Practice Guideline for Ossification of Spinal Ligaments working group</p>	<p>Japanese Orthopaedic Association (JOA) clinical practice guidelines on the management of ossification of the spinal ligament, 2019</p>	<p>J Orthop Sci</p>	<p>in press</p>		<p>2020</p>
<p>Nagamoto Y, Iwasaki M, Okuda S, Matsumoto T, Sugiura T, Takahashi Y, Furuya M</p>	<p>Anterior selective stabilization combined with laminoplasty for cervical myelopathy due to massive ossification of the posterior longitudinal ligament: report of early outcomes in 14 patients</p>	<p>J Neurosurg: Spine</p>	<p>13</p>	<p>1-7</p>	<p>2020</p>
<p>Kimura A et al.</p>	<p>Effectiveness of Surgical Treatment for Degenerative Cervical Myelopathy in Preventing Falls and Fall-related Neurological Deterioration: A Prospective Multi-institutional Study</p>	<p>Spine</p>	<p>45 (11)</p>	<p>E631-E638</p>	<p>2020</p>
<p>Kobayashi K, Imagama S, Yoshida G, Ando M, Kawabata S, Yamada K, Kanchiku T, Fujiwara Y, Taniguchi S, Iwasaki H, Tadokoro N, Takahashi M, Wada K, Yamamoto N, Shigematsu H, Funaba M, Yasuda A, Ushirozako H, Tani T, Matsuyama Y.</p>	<p>Efficacy of Intraoperative Intervention Following Transcranial Motor-evoked Potentials Alert During Posterior Decompression and Fusion Surgery for Thoracic Ossification of the Posterior Longitudinal Ligament: A Prospective Multicenter Study of the Monitoring Committee of the Japanese Society for Spine Surgery and Related Research</p>	<p>SPINE</p>	<p>15;46(4)</p>	<p>268-276</p>	<p>2021</p>

Shigematsu H, Yoshida G, Kobayashi K, Imagama S, Ando M, Kawabata S, Yamada K, Kanchiku T, Fujiwara Y, Taniguchi S, Iwasaki H, Tadokoro N, Takahashi M, Wada K, Yamamoto N, Funaba M, Yasuda A, Ushirozako H, Tani T, Matsuyama Y,	Understanding the effect of non-surgical factors in a transcranial motor-evoked potential alert: A prospective cohort study	J Orthop Sci	Aug 17	30197-4	2020
Murata K, et al.	Relationship between cervical and global sagittal balance in patients with dropped head syndrome	European Spine Journal	29	413-419	2020
Aihara T, et al.	Five-year Reoperation Rates and Causes for Reoperations Following Lumbar Microendoscopic Discectomy and Decompression	Spine	45	71-77	2020
Murata K, et al.	Artificial intelligence for the detection of vertebral fractures on plain spinal radiography	Scientific Reports	10	20031	2020
Konishi T, et al.	Global sagittal spinal alignment at cervical flexion in patients with dropped head syndrome	Journal of Orthopaedic Surgery	28	epub	2020
Kimura A, et al.	Effectiveness of Surgical Treatment for Degenerative Cervical Myelopathy in Preventing Falls and Fall-related Neurological Deterioration	Spine	45	631-638	2020
Aihara T, et al.	Long-term Outcomes Following Lumbar Microendoscopic Discectomy and Microendoscopic Decompression: Minimum 10-year Follow-up Evaluation Performed Using a Patient-based Outcome Measure	Journal of Neurological Surgery Part A	81	163-169	2020
Inose H, et al.	Comparison of Clinical and Radiographic Outcomes of Laminoplasty, Anterior Decompression With Fusion, and Posterior Decompression With Fusion for Degenerative Cervical Myelopathy	Spine	45	1342-1346	2020

Inose H, et al.	Predictors associated with neurological recovery after anterior decompression with fusion for degenerative cervical myelopathy	BMC surgery	21	14	2021
Quian W, et al.	Cervical sagittal alignment in patients with dropped head syndrome	J Orthop Sci	29	epub	2021
Kimura A, et al.	The 5-question Geriatric Locomotive Function Scale predicts postoperative fall risk in patients undergoing surgery for degenerative cervical myelopathy	J Orthop Sci	epub	epub	2020
Nishimura H, et al.	Risk factors of dysphagia in patients with ossification of the anterior longitudinal ligament	J Orthop Sci	28	epub	2020
Kusakabe T, et al.	Mode of onset of dropped head syndrome and efficacy of conservative treatment	J Orthop Sci	28	epub	2020
Tateiwa T, et al.	Pelvic tilt after total hip arthroplasty in patients with osteoarthritis of the hip	J Orthop Sci	28	epub	2020
Chikasawa Y, et al.	Safety and blood loss in spinal surgery for haemophiliacs: Case series of Japanese haemophiliacs	Haemophilia	27	e143-e146	2021
Kudo Y, et al.	Impact of Spinopelvic sagittal alignment on the surgical outcomes of dropped head syndrome: a multi-center study	BMC Musculoskeletal Disorders	21	382	2020
Kurosawa D, Murakami E, Aizawa T, Watanabe T, Yabe Y	Criteria for Identifying Technically Difficult Cases when Performing Sacroiliac Intraarticular Injections Based on the Grade of Sacroiliac Arthrogram	Pain Med	21(10)	2105-2110	2020
Koakutsu T, Aizawa T, Sasaki M, Sekiguchi A, Morozumi N, Ishii Y, Kokubun S, Hashimoto K, Kasama F, Tanaka Y, Sato T, Itoi E, Yamazaki S	Anterior Decompression and Fusion Versus Laminoplasty for Cervical Myelopathy Caused by Soft Disk Herniation: A Long-term Prospective Multicenter Study	Clin Spine Surg	33(10)	E478-485	2020

Koakutsu T, Aizawa T, Itoi E	Accurate and Minimally Invasive Cervical Pedicle Screw Insertion Procedure Using the Bone Biopsy Needle as Drill Guide	Spine Surg Relat Res	4(4)	358-364	2020
Aizawa T, Kokubun S, Kusakabe T, Ozawa H, Tanaka Y, Hoshikawa T, Hashimoto K, Kanno H, Morozumi N, Koizumi Y, Kawahara C, Sato T, Hyodo H, Ogawa S, Murakami E, Itoi E	Rate of spinal surgery in a rapidly aging society: the 27-year changes in Miyagi prefecture, Japan	J Neurosurg Sci	64(6)	525-530	2020
Aizawa T, Eto T, Hashimoto K, Kanno H, Itoi E, Ozawa H	Surgical results of nonambulatory patients caused by ossification of the posterior longitudinal ligaments in the thoracic spine: retrospective comparative study between posterior decompression and instrumented spinal fusion versus anterior decompression through a posterior approach	J Neurosurg Spine	Online ahead of print		2020
Toyohara R, Kurosawa D, Hammer N, Werner M, Honda K, Sekiguchi Y, Izumi SI, Murakami E, Ozawa H, Ohashi T	Finite element analysis of load transition on sacroiliac joint during bipedal walking.	Sci Rep	13	13683	2020
Handa K, Kanno H, Matsuda M, Sugaya T, Murakami T, Prudnikova M, Ozawa H, Itoi E	Chaperone-mediated autophagy after spinal cord injury	J Neurotrauma	37(15)	1687-1695	2020
Kanno H, Ozawa H, Handa H, Murakami T, Itoi E	Changes in expression of receptor-interacting Protein Kinase 1 in secondary neural tissue damage following spinal cord injury	Neurosci Insights		doi: 10.1177/2633105520906402.	2020

Matsuda M, Kanno H, Sugaya T, Yamaya S, Yahata K, Handa K, Shindo T, Shimokawa H, Ozawa H, Itoi E	Low-energy extracorporeal shock wave therapy promotes BDNF expression and improves functional recovery after spinal cord injury in rats	Exp Neurol	Epub	doi: 10.1016/j.expneurol.2020.113251.	2020
Fujimori J, Kikuchi H, Kameyama M, Haryu S, Sato K, Sasaki T, Ozawa H, Murata T, Nakashima I	A case of overshunting-associated myelopathy that developed 27 years after placement of a ventriculoperitoneal shunt	Neurol Clin Neurosci	Epub	https://doi.org/10.1111/ncn3.12491	2021
Kanno H, Aizawa T, Hashimoto K, Itoi E	Novel augmentation technique of percutaneous pedicle screw fixation using hydroxyapatite granules in the osteoporotic lumbar spine: a cadaveric biomechanical analysis	Eur Spine J	30(1)	71-78	2021
Aizawa T, Hashimoto K, Kanno H, Handa K, Takahashi K, Onoki T, Itoi E, Ozawa H	Retrospective comparison of the surgical results for patients with thoracic myelopathy caused by ossification of the posterior longitudinal ligament: Posterior decompression with instrumented spinal fusion versus modified anterior decompression through a posterior approach	J Orthop Sci	Online ahead of print		2021
Tsuji H, Misawa H, Takigawa T, Tetsunaga T, Yamane K, Oda Y, Ozaki T.	Quantification of patellar tendon reflex using portable mechanomyography and electromyography devices.	Sci Rep	11(1)	2284	2021
Tetsunaga T, Tetsunaga T, Nishida K, Misawa H, Takigawa T, Yamane K, Tsuji H, Takei Y, Ozaki T.	Short-term outcomes of mirogabalin in patients with peripheral neuropathic pain: a retrospective study	J Orthop Surg Res.	15(1)	191	2020

Tsuji H, Tetsunaga T, Tetsunaga T, Misawa H, Nishida K, Ozaki T.	Cognitive factors associated with locomotive syndrome in chronic pain patients: A retrospective study.	J Orthop Sci.			2020
Miyagi M, Saito W, Imura T, Nakazawa T, Shirasawa E, Kawakubo A, Uchida K, Akazawa T, Inage K, Ohtori S, Inoue G, Takaso M.	Body Composition in Japanese Girls with Adolescent Idiopathic Scoliosis.	Spine Surg Relat Res.	5(2)	68-74	2020
Inoue G, Uchida K, Miyagi M, Saito W, Nakazawa T, Imura T, Shirasawa E,	Occupational Characteristics of Low Back Pain Among Standing Workers in a Japanese Manufacturing Company.	Workplace Health Saf.	68(1)	13-23	2020
Namba T, Ueno M, Inoue G, Imura T, Saito W, Nakazawa T, Miyagi M, Shirasawa E, Takahashi O, Takaso M.	Prediction tool for high risk of surgical site infection in spinal surgery.	Infect Control Hosp Epidemiol.		1-6	2020
Saito W, Inoue G, Shirasawa E, Imura T, Nakazawa T, Miyagi M, Uchida K, Matsuda H, Akazawa T, Takaso M.	Risk factors associated with prolonged intensive care unit stay after posterior spinal fusion for Duchenne muscular dystrophy.	J Orthop Sci.		S0949-2658(20)30085-3.	2020
Inoue G, Uchida K, Fukushima K, Uchiyama K, Nakazawa T, Aikawa J, Matsuura T, Miyagi M, Takahira N, Takaso M.	Experience of an Orthopaedic Surgery Department Early During the COVID-19 Outbreak in Japan Including Real-Time Polymerase Chain Reaction Assay Results for SARS-CoV-2.	Cureus.	12(10)	E11140	2020

Yokozekei Y, Uchida K, Miyagi M, Murata K, Koyama T, Kuroda A, Kawakubo A, Nanri Y Inoue G, Takaso M.	Short-Term Impact of Staying Home on Bone Health in Patients With Osteoporosis During a State of Emergency Declaration Due to COVID-19 in Kanagawa, Japan.	Cureus.	12(9)	E10278	2020
Ishiwata S, Iizuka H, Sonoda H, Tsunoda D, Tajika Y, Chikuda H, Koibuchi N, Shimokawa N.	Upregulated miR-224-5p suppresses osteoblast differentiation by increasing the expression of Pai-1 in the lumbar spine of a rat model of congenital kyphoscoliosis.	Mol Cell Biochem	475(1-2)	53-62	2020
Ishiwata S, Iizuka Y, Shitara H, Mieda T, Takasawa E, Tsunoda D, Kakuta Y, Honda A, Ito S, Inomata K, Sasaki T, Hamano N, Tajika T, Chikuda H.	The Association Between the Rotator Cuff Status and the Severity and Recovery of Weakness in the Shoulder Abductor Strength in a Case of Proximal Type Cervical Spondylotic Amyotrophy.	Global Spine J		2192568220980441	2020
Honda A, Iizuka Y, Mieda T, Sonoda H, Ishiwata S, Kakuta Y, Tsunoda D, Takasawa E, Tajika T, Koshi H, Chikuda H.	Paraplegia due to Thoracic Mobile Schwannoma after Myelography.	Case Rep Orthop		6709819	2020
Yoshii T, Egawa S, Chikuda H, Wakao N, Furuya T, Kanchiku T, Nagoshi N, Fujiwara Y, Yoshida M, Taguchi T, Watanabe M.	Comparison of anterior decompression with fusion and posterior decompression with fusion for cervical spondylotic myelopathy-A systematic review and meta-analysis.	J Orthop Sci	25 (6)	938-945	2020

Yoshii T, Egawa S, Chikuda H, Wakao N, Furuya T, Kanchiku T, Nagoshi N, Fujiwara Y, Yoshida M, Taguchi T, Watanabe M	A systematic review and meta-analysis comparing anterior de compression with fusion and posterior laminoplasty for cervical spondylotic myelopathy.	J Orthop Sci	26 (1)	116-122	2020
Takenaka S, Kan S, Seymour B, Makino T, Sakai Y, Kushioka J, Tanaka H, Watanabe Y, Shibata M, Yoshikawa H, Kaito T	Resting-state Amplitude of Low-frequency Fluctuation is a Potentially Useful Prognostic Functional Biomarker in Cervical Myelopathy	Clin Orthop Relat Res	478(7)	1667-1680	2020
Endo T, Imagama S, Kato S, Kaito T, Sakai H, Kegawa S, Kawaguchi Y, Kanayama M, Hisada Y, Koike Y, Ando K, Kobayashi K, Oda I, Okada K, Akagi R, Iwasaki N, Takahata M.	Association Between Vitamin A Intake and Disease Severity in Early-Onset Heterotopic Ossification of the Posterior Longitudinal Ligament of the Spine.	Global Spine J.			2021
Tsujimoto T, Endo T, Menjo Y, Kanayama M, Oda I, Suda K, Fujita R, Koike Y, Hisada Y, Iwasaki N, Takahata M.	Exceptional Conditions for Favorable Neurological Recovery After Laminoplasty in Cases With Cervical Myelopathy Caused by K-line (-) Ossification of Posterior Longitudinal Ligament.	Spine			2021

Doi T, Ohtomo N, Oguchi F, Tozawa K, Nakarai H, Nakajima K, Sakamoto R, Okamoto N, Nakamoto H, Kato S, Taniguchi Y, Matsubayashi Y, Oka H, Matsudaira K, Tanaka S, Oshima Y.	Risk factors for progression of ossification of the posterior longitudinal ligament in asymptomatic subjects.	Global Spine J			Online ahead of print
Ichikawa N, Kumagai G, Wada K, et al.	Coagulation, vascular morphology, and vasculogenesis in spinal ligament ossification model mice.	Spine			2020
Nakajima H, Watanabe S, Honjoh K, Okawa A, Matsumoto M, Matsumine A.	Expression analysis of susceptibility genes for ossification of the posterior longitudinal ligament of the cervical spine in human OPLL-related tissues and a spinal hyperostotic mouse (ttw/ttw).	Spine (Phila Pa 1976)	45 (22)	E1460-E1468	2020
Sugita D, Nakajima H, Kokubo Y, Takeura N, Yayama T, Matsumine A.	Cyclic tensile strain facilitates ossification of the cervical posterior longitudinal ligament via increased Indian hedgehog signaling.	Scientific Reports	10 (1)	7231	2020
Nakajima H, Honjoh K, Watanabe S, Kubota A, Matsumine A.	Distribution and polarization of microglia and macrophages at injured sites and the lumbar enlargement after spinal cord injury.	Neuroscience Letters	737	135152	2020

Pignolo RJ, Cheung K, Kile S, Fitzpatrick MA, De Cunto C, AlMukaddam M, Hsiao EC, Baujat G, Delai P, Eekhoff EMW, Di Rocco M, Grunwald Z, Haga N, Keen R, Levi B, Morhart R, Scott C, Sherman A, Zhang K, Kaplan FS	Self-reported baseline phenotypes from the International Fibrodysplasia Ossificans Progressiva (FOP) Association Global Registry	Bone	134	115274	2020
Haga N, Nakashima Y, Kitoh H, Kamizono J, Katagiri T, Saijo H, Tsukamoto S, Shinoda Y, Sawada R, Nakahara Y.	Fibrodysplasia ossificans progressiva: Review and research activities in Japan.	Pediatr Int	62	3-13	2020
Mishima K, Kitoh H, Matsushita M, Nagata T, Nishida Y, Takahashi Y, Ishiguro N	Lower limb pain following allogeneic hematological stem cell transplantation in Japanese children	J Orthop Sci	25	682-687	2020
Matsushita M, Mishima K, Yamashita S, Haga N, Fujiwara S, Ozono K, Kubota T, Kitaoka T, Ishiguro N, Kitoh H	Impact of fracture characteristics and disease-specific complications on health-related quality of life in osteogenesis imperfecta	J Bone Miner Metab	38	109-116	2020
Kaneko H, Kitoh H, Mishima K, Matsushita M, Hattori T, Noritake K, Ishiguro N, Yoshihashi Y,	Comparison of surgical and nonsurgical containment methods for patients with Legg-Calvé-Perthes disease of the onset ages between 6.0 and 8.0 years: Salter osteotomy versus non-weight-bearing hip flexion-abduction brace	J Pediatr Orthop B	29	542-549	2020

Nagata T, Matsushita M, Mishima K, Kamiya Y, Kato K, Toyama M, Ogi T, Ishiguro N, Kitoh H	Severe achondroplasia due to de novo variants in the transmembrane domain of FGFR3 on the same allele: A case report	Mol Genet Genomic Med	8	Ee148	2020
Kitoh H, Matsushita M, Mishima K, Nagata T, Kamiya Y, Ueda K, Kuwatsuka Y, Morikawa H, Nakai Y, Ishiguro N	Pharmacokinetics and safety after once and twice a day doses of meclizine hydrochloride administered to children with achondroplasia	PLoS One	15	e0229639	2020
Kaneko H, Kitoh H	Response to ‘Surgical and non surgical containment methods for patients with Legg-Calvé-Perthes disease of the onset ages between 6.0 and 8.0 years provided similar congruency of the hip’ submitted to Letter to the Editor	J Pediatr Orthop	29	618-619	2020
Amano N, Kitoh H, Narumi S, Nishimura G, Hasegawa T	A novel NPR2 mutation (p.Arg388Gln) in a patient with Acromesomelic Dysplasia, type Maroteaux	Clin Pediatr Endocrinol	29	99-103	2020
Matsushita M, Kitoh H, Mishima K, Nagata T, Kamiya Y, Kaneko H, Hattori T, Ishiguro N	A retrospective comparative study of corrective osteotomy for tibial deformities with the multiaxial correction fixator and the circular fixator	J Clin Orthop Trauma	11	621-625	2020
Mano H, Fujiwara S, Takamura K, Kitoh H, Takayama S, Ogata T, Haga N	Treatment approaches for congenital transverse limb deficiency: Data analysis from an epidemiological national survey in Japan	J Orthop Sci			
Kaneko S, Matsushita M, Mishima K, Takegami Y, Imagama S, Kitoh H	Effect of periosteal reaction on longitudinal bone growth in a mouse model of achondroplasia	Bone Reports	13	100708	2020
Kitoh H	Clinical aspects and current therapeutic approaches for FOP	Biomedicines	8	325	2020

Mishima K, Mizuno S, Matsushita M, Nagata T, Kamiya Y, Kitoh H	Legg-Calve-Perthes disease in a patient with Bardet-Biedl syndrome -A case report of a novel MKKS/BBS6 mutation	Clin Case Rep	00	1-6	2020
Kaneko H, Kitoh H, Iwata K, Mishima K, Matsushita M, Hattori T	Gradual reduction using overhead traction for developmental dysplasia of the hip after walking age: 30-year retrospective study	Int J Pediatr Orthop	62	12-17	2020
Sawamura K, Mishima K, Matsushita M, Kamiya Y, Kitoh H	Neglected unstable slipped capital femoral epiphysis: A case report	Acta Scientif Orthopaedics	3	87-90	2020
Matsushita M, Mishima K, Nagata T, Kamiya Y, Imagama S, Kitoh H	Asfotase alfa has a limited effect in improving the bowed limbs in perinatal benign hypophosphatasia: A case report	Clin Pediatr Endocrinol	30	53-56	2021

研究成果の刊行に関する一覧表

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
岩崎 幹季	頰椎症性脊髄症	脊椎脊髄	35(4)	198-207	2022
長本 行隆	頰椎の動き	脊椎脊髄	35(8)	525-534	2022
長本 行隆, 高橋佳史, 奥田 眞也, 松本 富哉, 古家 雅之, 岩崎 幹季	S2 alar iliac スクリューの折損ならびに セットスクリューの脱転をきたした 3 例	Journal of Spine Research	13(10)	1157-62	2022
富田 貴裕, 松本 富哉, 長本 行隆, 奥田 眞也, 高橋 佳史, 古家 雅之, 岩崎 幹季	術中脊髄モニタリングの使用により腰椎 Pedicle subtraction osteotomy 併用矯正固定術後の重篤な神経麻痺を回避できた 1 例	臨床整形外科	57(11)	1273-77	2022
松谷重恒, 小澤浩司, 佐野徳久, 石塚正人, 峯岸英絵, 千葉晋平, 加藤慶彦, 国分正一	腰椎変性すべり症における椎間構成要素の年代間での比較検討.	J Spine Res.	13(5)	752-757	2022
今釜史郎	嚙状型胸髄圧迫病変に対する RASPA 法 (大塚変法) の know-how	整形災害外科	66	114-119	2023
海渡貴司 武中章太	脊椎疾患における機能的結合	臨床神経科学	60巻6号	787-790	2022
武中章太, 海渡貴司.	脳安静時 fMRI を用いた頰髄症の予後予測	脊椎脊髄ジャーナル	35巻9号	715-721	2022
前田 麟, 新村 和也, 出村 諭, 加藤 仁志, 長谷 賢, 土屋 弘行	DISH を伴う多発脊椎骨折において偽関節や術後の骨折により多数回の手術を要した 1 例	中部日本整形 外科災害外科学会雑誌	65巻2号	219-220	2022

松本富哉、 奥田眞也、 長本行隆、 高橋佳史、 古家雅之、 道場隆博、 上塚学、 岩崎幹季	頌椎前方手術後の椎体前面軟部 組織腫脹は抜管前に予測できる	J Spine Res	12(9)	1102- 1109	2021
岩崎幹季	上肢臨床症候から診た局在診断 と鑑別診断	脊椎脊髄	34(6)	351-358	2021
今釜史郎	脊柱靱帯骨化症～胸椎後縦靱帯 骨化症手術と診療ガイドライン の策定にあたって～	東海関節	13	33-37	2021
勝見敬一、 平井高志、 吉井俊貴、 名越慈人、 西村空也、 森幹士、 竹内一裕、 牧聡、 中村雅也、 松本守雄、 大川淳、 川口善治	脊柱靱帯骨化の広がりが頌椎機 能に与える影響 —全国多施設前向き調査・JOSL CT study—	J Spine Res	12	1087-93	2021
勝見敬一、 渡辺慶、 平野徹、 大橋正幸、 山崎昭義、 溝内龍樹、 石川裕也、 佐藤雅之、 和泉智博、 川島寛之	頌椎後縦靱帯骨化症の骨化進展 と骨代謝動態の解析	J Spine Res	12	1167-73	2021
山崎正志、 久保田茂希、 門根秀樹、 清水如代、 六崎裕高、 國府田正雄	整形外科疾患に対するロボット スーツ HAL を用いた機能再生治 療.	MB Med Reha	256	32-38	2020

藤由 崇之, 北村 充広, 小田切 琢磨, 蓮江 文男, 神谷 光史郎, 牧 聡, 古矢 丈雄, 大鳥 精司, 国府田 正雄, 山崎 正志, 小西 宏昭.	Dynamic K-line(+/-/+)型 OPLL に対する椎弓形成術 vs 後方除圧 局所固定術 傾向スコアマッ チングを用いた解析.	Journal of Sp ine Research	11(10)	1163- 1168	2020
岡田 英次郎, 渡邊航太, 松本守雄	びまん性特発性骨増殖症と強直 性脊椎炎の鑑別.	関節外科	39	432-439	2020
岡田 英次郎, 渡邊航太, 松本守雄	高齢者のびまん性特発性骨増殖 症を合併した脊椎損傷の現状と 治療.	脊椎脊髄ジャ ーナール	33	635-640	2020
岡田 英次郎, 松本守雄	脊椎脊髄疾患に対する分類・評 価法】(第2章)胸椎・胸腰椎 胸椎後縦靭帯骨化症の骨化形態 分類.	脊椎脊髄ジャ ーナール	33	312-315	2020
岡田 英次郎, 松本守雄	【脊柱靭帯骨化症 UP TO DATE】 びまん性特発性骨増殖症に伴っ た脊椎損傷	脊椎脊髄ジャ ーナール	33	133-137	2020
安藤 圭, 今釜史郎, 石黒 直樹, 松山 幸弘 松本守雄, 川口善治, 大川 淳, 日本医療研究 開発機構 (AMED)	【脊柱靭帯骨化症 UP TO DATE】 胸椎黄色靭帯骨化症に対する手 術治療.	脊椎脊髄ジャ ーナール	33	139-143	2020
今釜史郎, 安藤 圭, 小林和克, 中島宏彰, 石黒直樹, 松山幸弘, 松本守雄, 川口善治, 大川 淳	【脊柱靭帯骨化症 UP TO DATE】 胸椎後縦靭帯骨化症の手術治療	脊椎脊髄ジャ ーナール	33	119-125	2020
今釜史郎	胸椎後縦靭帯骨化症の手術治療 —2 期的 strategy—	整形災害外科	63	868-873	2020

今釜史郎	胸椎後縦靱帯骨化症の手術治療 ー最近の進歩	脊椎脊髄ジャーナル	33	119-125	2020
森 幹士	全脊椎 CT 大規模多施設研究による重度頸椎 OPLL 症例の特徴ー厚労科研脊椎靱帯骨化症研究班・JOSL studyー	J. Spine Res.	11	805-810	2020
和田簡一郎, 熊谷玄太郎, 工藤整, 他	頸椎後縦靱帯骨化の有無が頸椎機能へ及ぼす影響ー地域一般住民における縦断調査ー	J Spine Res	11	835-841	2020
芳賀信彦	小児希少疾患のリハビリテーション診療	Jpn J Rehabil Med	57(4)	334-339	2020
芳賀信彦	成人後を見据えた小児骨系統疾患の診療	日整会誌	94(4)	248-254	2020

研究成果の刊行に関する一覧表

書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
Ishii K, Isogai N, Funao H.	Navigation-Guided Spinal Fusion - MIS Fusion and Reconstruction in Complex Spine Disease and Deformity	Jin-Sung Kim, Roger Härtl, Michael Y. Wang and Adrian Elmi Terander	Technical Advances in Minimally Invasive Spine Surgery: 2D and 3D Navigation, Endoscopy, Robotics, and Augmented and Virtual Reality	Springer Nature	USA	2022	
Nagamoto Y, Iwasaki M	Surgical indications and choice of surgical procedure for cervical ossification of the longitudinal ligament	Okawa A, Matsumoto M, Iwasaki M, Kawaguchi Y	OPLL Ossification of the Posterior Longitudinal Ligament. Third edition	Springer Nature	Singapore	2020	167-174
Ozawa H, Tanaka Y, Aizawa T, Kanno H, Kokubun S	Posterior Osteotomy and Reconstruction for Osteoprotic Vertebral Collapse	Chen, Po-quang; Lin, Ruey-mo; Tsai, Keh-sung	Osteoporosis Of The Spine: Asian Perspectives.	World Scientific	Singapore	2021	582-590
Maeda S, Kawamura I, Tominaga H, Taniguchi N	Histopathological Features of Ossification of Posterior Longitudinal Ligament	Atsushi Okawa	OPLL/Ossification of the Posterior Longitudinal Ligament. 3 rd edition	Springer Nature Singapore	Singapore	2020	39-46
Kato S	Circumferential decompression through posterior approach for thoracic OPLL: technique and complications	Okawa A., Matsumoto M., Iwasaki M., Kawaguchi Y. (eds)	OPLL	Springer	Singapore	2020	235-242
Katsumi K, Hirano T, Watanabe K, Izumi T, Ohashi M, Mizouchi T, Endo N	Three-dimensional imaging of cervical ossification of the posterior longitudinal ligament	Okawa A, Matsumoto M, Kawaguchi Y	OPLL book 3rd Edition	Springer	Singapore	2020	119-128

研究成果の刊行に関する一覧表

書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
岩崎 幹季			脊椎脊髄病学第3版	金原出版	東京	2022	
小坪知明, 小野田祥人, 相澤俊峰	Ⅲ 検査・診断: 4 新しい手法による診断: プレセプシンの術後感染症診断における有用性.	安達伸生	別冊整形外科	南江堂	東京	2022	103-107
今釜史郎	嚙状型胸髄圧迫病変 (胸椎椎間板ヘルニアや胸椎後縦靭帯骨化症など) に対する後方進入脊髄前方除圧術	石井 賢	整形外科医のための脊椎のアドバンスト手術	日本医事新報社	日本	2022	174-191
岡田英次朗, 渡辺航太, 松本守雄	DISHを合併した脊椎骨折の治療	松本守雄	整形外科科学レビュー	総合医学社	東京	2021	21-26
鬼頭浩史	骨系統疾患、代謝性骨疾患	土屋弘行	今日の整形外科治療指針	医学書院	東京	2021	244-247
筑田博隆	高齢者歯突起骨折の現状と治療	正木国弘, 井形高明, 松村光博, 他	脊椎脊髄ジャーナル	三輪書店			33巻6号 Page 621-626
筑田博隆	腰部脊柱管狭窄症と変形性脊椎症 周術期リハビリテーションの留意点	宮野佐年・水間正澄	MEDICAL REHABILITATION	全日本病院出版会			249号 Page 35-41
鬼頭浩史	骨形成不全症	水口雅ら	今日の小児治療指針17版	医学書院	東京	2020	794

学会発表(海外)

1. Yamazaki M. Robotic shoulder rehabilitation with hybrid assistive limb (HAL) in patients with postoperative C5 palsy and cervical spondylotic amyotrophy. DKOU 2022: the German Congress of Orthopaedics and Traumatology, Berlin, Germany.
2. Toshitaka Yoshii. Surgical treatment of cervical OPLL-Current evidence. The 66th Annual Congress of the Korean Orthopaedic Association. 2022.10.14 Seoul, Korea (Hybrid)
3. He Z , Nguyen TCT, Yasuda T, Seki S, Suzuki K, Watanabe K, Makino H ,Futakawa H, Kamei K, Kawaguchi Y. Assessment of cervical myelopathy risk in OPLL patients with spinal cord compression based on segmental dynamic versus static factors. 13th Cervical Spine Research Society in Yokohama. 10-11, March 2023.
4. 2. He Z , Nguyen TCT, Yasuda T, Seki S, Suzuki K, Watanabe K, Makino H ,Futakawa H, Kamei K, Kawaguchi Y. High sensitivity IL17 levels affect morphological characteristics of DISH in OPLL patients and osteoclast characterization. 13th Cervical Spine Research Society in Yokohama. 10-11, March 2023.
5. Kanji Mori, Takafumi Yayama, Shinji Imai. PERIOPERATIVE COMPLICATIONS IN OBESE PATIENTS WITH OSSIFICATION OF THE THORACIC SPINAL LIGAMENTS. APSS 2022, 6, 10-12, India.
6. Kanji Mori, Toshitaka Yoshii, Satoru Egawa, Masao Koda, Takeo Furuya, Katsushi Takeshita, Morio Matsumoto, Shiro Imagama, Atsushi Okawa, Masashi Yamazaki. Japanese Multicenter Research Organization for Ossification of the Spinal Ligament. Impact of obesity on cervical ossification of the posterior longitudinal ligament: a nationwide prospective study. 13th CSRS-AP 2023, 3, 9-11. Yokohama.
7. Takashi Hirai. Clinical and radiologic evidences in cervical compressive diseases. 13rd CSRS-AP.2023.3.11
8. Maki S, Yoshii T, Furuya T, Egawa S, Sakai K, Hirai T, Katsumi K, Kimura A, Imagama S, Koda M, Takeshita K, Matsumoto M, Yamazaki M, Okawa A. Machine learning approach in predicting clinically significant improvements after surgery in patients with cervical ossification of the posterior longitudinal ligament. CSRS-AP 2022. Abstract Book p.211.
9. Inoue T, Maki S, Furuya T, Olimatsu S, Yunde A, Miura M, Shiratani Y, Nagashima Y, Maruyama J, Ohtori S. Differences in risk factors for loss of cervical lordosis after multiple segment laminoplasty for cervical spondylotic myelopathy and ossification of the posterior longitudinal ligament. 13th CSRS-AP 2023. Apstract p.109
10. Kawaguchi Y. Periostin reflects progression of ossified lesion in patients with ossification of the posterior longitudinal ligament. Cervical Spine Research Society Asia Pacific section, Peking, 2021.3.24

11. Kawaguchi Y. Recent findings for the pathophysiology and background factors of OPLL. Cervical Spine Research Society European section, Web, 2021.9.29 (invited lecture)
12. Kawaguchi Y. Ossification of the posterior longitudinal ligament. Pathology and treatment. Turkey, Izmir, Web, 2021.9.30 (invited lecture)
13. Miyagi M et al. Spine Across the Sea 2021 シンポジウム
14. Kanji Mori, Toshitaka Yoshii, Takashi Hirai, Jun Hashimoto, Narihito Nagoshi, Kazuhiro Takeuchi, Keiichi Katsumi, Satoshi Maki, Masaya Nakamura, Morio Matsumoto, Atsushi Okawa & Yoshiharu Kawaguchi. The characteristics of the young patients with cervical ossification of the posterior longitudinal ligament of the spine: a multicenter cross-sectional study APSS-APPOS 2021 Kobe 2021, 6, 9-12
15. Hideki SAITO, Takafumi YAYAMA, Kanji MORI, Kosuke KUMAGAI, Masahiro KITAGAWA, Shinji IMAI. Cytokine changes cultured cells harvested from cervical spine of patients with ossification of the posterior longitudinal ligament. APSS-APPOS 2021 Kobe 2021, 6, 9-12
16. Yokogawa N, Kato S, et al. Anterior spinal cord decompression via a posterolateral approach for thoracic ossification of the posterior longitudinal ligament. Annual Meeting of the American Academy of Orthopedic Surgeons (AAOS) 2021.8.31-9.3 San Diego
17. Kitoh H. Raising clinical suspicion of skeletal dysplasia: The application of gene panel testing to facilitate early diagnosis, Case study sharing from Japan. BioMarin Expert Meeting. 2021.5.8 (web)
18. Takeo Furuya et al. Is cervical posterior fixation effective for neck pain? APSS-APPOS 2021, June 9-12, 2021 Kobe
19. Kawabata A, Hirai T, Yoshii T, Inose H, Yuasa M, Onuma H, Ushio S, Okawa A. Identification of Predictive Factors for Mechanical Complications after Adult Spinal Deformity Surgery; A MultiInstitutional Retrospective Study. ICORS 2019. 2019.6.19 Montreal
20. Watanabe S, Nakajima H, Honjoh K, Takahashi A, Kubota A, Matsumine A. Expression analysis of susceptibility genes for ossification of the posterior longitudinal ligament. Cervical Spine Research Society Annual Meeting (2020.12) web 開催 【2nd Best Basic Science Award】
21. Nakajima H, Watanabe S, Honjoh K, Matsumine A. Risk factors and countermeasures for prevention of postoperative C5 palsy after cervical open-door laminoplasty. Cervical Spine Research Society Annual Meeting(2020.12) web 開催
22. Takahashi H, Saito J, Aoki Y, Nakajima A, Sonobe M, Akatsu Y, Yamada M, Akiyama Y, Yanagisawa K, Maki S, Furuya T, Koda M, Yamazaki M, Ohtori S, Nakagawa K. Time course changes of serum oxidative stress marker levels in patients after surgery for compression myelopathy: an observational study. 2020 Sep, The 59th ISCoS Annual Meeting, Virtual Meeting (口頭).

学会発表(国内)

1. 山崎正志.トランスレーショナルリサーチから展開する新たな脊椎脊髄疾患治療-脊髄再生およびロボットリハビリテーションを中心に-.第 51 回日本脊椎脊髄病学会学術集会,2022 年 4 月,横浜,口頭.
2. 奥脇駿,船山徹,加藤仁志,安藤圭,渡辺航太,古矢丈雄,中嶋秀明,長谷川智彦,寺島嘉紀,鈴木秀典,池上章太,外村仁,橋本功,川口謙一,鈴木伸幸,山崎正志.頰椎後縦靱帯骨化症を有する高齢者頰椎・頰髄損傷の特徴と現況-JASA 多施設共同研究-.第 51 回日本脊椎脊髄病学会学術集会,2022 年 4 月,横浜,口頭.
3. 船山徹,辰村正紀,藤井賢吾,奥脇駿,柴尾洋介,江藤文彦,長島克弥,野口裕史,三浦紘世,河野衛,佐藤康介,朝田智之,高橋宏,國府田正雄,山崎正志.新鮮骨粗鬆症性椎体骨折に対する初期 2 週間の入院安静による治療効果-最適な保存治療法確立に向けた前向き研究-.第 51 回日本脊椎脊髄病学会学術集会,2022 年 4 月,横浜,口頭.
4. 高岡宏光,江口和,小曾根英,寺村晋,武田拓時,北川恭太,佐井光一,瀬戸嶋祐輔,濱邊祐一,柴橋慶多,折田純久,稲毛一秀,志賀康浩,高相晶士,山崎正志,大鳥精司.日本外傷データバンクを用いて胸腰椎損傷と胸腰椎脱臼骨折の臨床像の比較検討.第 51 回日本脊椎脊髄病学会学術集会,2022 年 4 月,横浜,口頭.
5. 奥脇駿,船山徹,柴尾洋介,辰村正紀,長島克弥,野口裕史,三浦紘世,高橋宏,國府田正雄,山崎正志.骨粗鬆症性椎体骨折の受傷後の椎体圧潰および局所後弯の進行に影響する因子の検討.第 51 回日本脊椎脊髄病学会学術集会,2022 年 4 月,横浜,口頭.
6. 照屋翔太郎,辰村正紀,小出知輝,山路章啓,江藤文彦,長島克弥,竹内陽介,船山徹,山崎正志.転移性脊椎腫瘍に対する骨修飾薬の使用による薬剤関連性顎骨壊死の発生頻度.第 51 回日本脊椎脊髄病学会学術集会,2022 年 4 月,横浜,口頭.
7. 藤井賢吾,小川佳士,船山徹,加藤仁志,安藤圭,渡辺航太,古矢丈雄,中嶋秀明,長谷川智彦,寺島嘉紀,鈴木秀典,池上章太,外村仁,橋本功,川口謙一,山崎正志.高齢者頰椎・頰髄損傷患者において、前方手術を要した症例に関する検討-JASA 多施設共同研究-.第 51 回日本脊椎脊髄病学会学術集会,2022 年 4 月,横浜,口頭.
8. 朝田智之,三浦紘世,門根秀樹,國府田正雄,佐藤康介,河野衛,江藤文彦,柴尾洋介,野口裕史,高橋宏,船山徹,山崎正志.術前三次元歩行解析により Proximal Junctional Kyphosis の予測は可能か.第 51 回日本脊椎脊髄病学会学術集会,2022 年 4 月,横浜.口頭.
9. 名越慈人,吉井俊貴,江川聡,坂井頭一郎,國府田正雄,古矢丈雄,渡辺航太,竹下克志,松本守雄,今釜史郎,大川淳,山崎正志.頰椎後縦靱帯骨化症に対する椎弓形成術後の治療成績に影響をおよぼす因子の検討-JOACMEQ を用いた多変量解析による評価-.第 51 回日本脊椎脊髄病学会学術集会,2022 年 4 月,横浜,口頭.
10. 松倉遊,吉井俊貴,江川聡,猪瀬弘之,平井高志,坂井頭一郎,草野和生,國府田正雄,古矢丈雄,今釜史郎,名越慈人,川口善治,竹下克志,松本守雄,山崎正志,大川淳.罹病期間に着目した頰椎後縦靱帯骨化症に対する手術成績の多施設前向き調査.第 51 回日本脊椎脊髄病学会学術集会,2022 年 4 月,横浜,口頭.

会学術集会,2022年4月,横浜,口頭.

11. 山路晃啓,辰村正紀,小出知輝,照屋翔太郎,長島克弥,竹内陽介,江藤文彦,船山徹,山崎正志,高齢者伸延型脊椎外傷に対する経皮的椎弓根スクリューを使用した後方インストゥルメンテーションの治療成績.第51回日本脊椎脊髄病学会学術集会,2022年4月,横浜,ポスター.
12. 椎名逸雄,水町隆雄,三浦紘世,猪股兼人,國府田正雄,菅谷郁夫,山崎正志.患者適合型三次元ガイドを用いた S2 Alar-liac(S2Al)スクリュー挿入における誤差検証-スーパーインポーズ法による術前プランニングとの比較-.第51回日本脊椎脊髄病学会学術集会,2022年4月,横浜,ポスター.
13. 猪股兼人,椎名逸雄,朝田智之,蒲田久典,水町隆雄,國府田正雄,山崎正志.びまん性特発性骨増殖症を伴う椎体骨折の後方固定術における screw 選択.第51回日本脊椎脊髄病学会学術集会,2022年4月,横浜,口頭.
14. 江川聡,吉井俊貴,國府田正雄,古矢丈雄,木村敦,竹下克志,松本守雄,川口善治,今釜史郎,大川淳,山崎正志.頰椎後縦靭帯骨化症に対する前方除圧固定術の合併症-AMED・厚労科研究研究班 多施設前向き調査研究-.第51回日本脊椎脊髄病学会学術集会,2022年4月,横浜,口頭.
15. 吉井俊貴,江川聡,坂井頭一郎,草野和生,國府田正雄,名越慈人,今釜史郎,古矢丈雄,川口善治,竹下克志,松本守雄,山崎正志,大川淳.頰椎後縦靭帯骨化症に対する前方除圧固定術,椎弓形成術の手術成績-多施設前向き研究(propensity score mathing analysis)-.第51回日本脊椎脊髄病学会学術集会,2022年4月,横浜,口頭.
16. 國府田正雄,船山徹,高橋宏,野口裕史,三浦紘世,柴尾洋介,江藤文彦,佐藤康介,河野衛,朝田智之,山崎正志.Muse細胞を用いた脊髄損傷に対する脊髄再生医療.第51回日本脊椎脊髄病学会学術集会,2022年4月,横浜,口頭.
17. 坂下孝太郎,小谷俊明,佐久間毅,中山敬太,飯島靖,角南貴大,赤澤努,南昌平,大鳥精司,山崎正志.思春期特発性側弯症の椎体数の variation と肋骨形態の関係性.第51回日本脊椎脊髄病学会学術集会,2022年4月,横浜,口頭.
18. 奥脇駿,小谷俊明,中山敬太,佐久間毅,飯島靖,奥山晃平,赤澤努,南昌平,大鳥精司,山崎正志.異なる学校検診システム地域からの側弯症手術患者の特徴-客観的検査法の有無における比較-.第51回日本脊椎脊髄病学会学術集会,2022年4月,横浜,口頭.
19. 小方陽介,相野谷武士,箱岩篤生,山崎正志.腰椎後方椎体間固定術における罹患椎体間高の変化が隣接椎間に与える影響.第51回日本脊椎脊髄病学会学術集会,2022年4月,横浜,口頭.
20. 柴尾洋介,國府田正雄,石川博,朝田智之,佐藤康介,江藤文彦,河野衛,三浦紘世,野口裕史,高橋宏,船山徹,山崎正志.ヒト歯周組織由来間葉系幹細胞から作製したバイオナーブの移植によるラットの脊髄再生促進.第51回日本脊椎脊髄病学会学術集会,2022年4月,横浜,口頭.

21. 河野衛,國府田正雄,朝田智之,佐藤康介,江藤文彦,柴尾洋介,三浦紘世,野口裕史,船山徹,高橋宏,山崎正志. 歯肉上皮下層由来神経幹細胞由来オリゴデンドロサイト前駆細胞移植のラット脊髄損傷モデルに対する有効性の検討.第 51 回日本脊椎脊髄病学会学術集会,2022 年 4 月,横浜,口頭.
22. 長島克弥,小出知輝,山路晃啓,照屋翔太郎,竹内陽介,辰村正紀,江藤文彦,船山徹,山崎正志. 頸椎椎弓形成術後の頸胸椎移行部すべり症の発生頻度とその特徴.第 51 回日本脊椎脊髄病学会学術集会,2022 年 4 月,横浜,口頭
23. 佐藤康介,國府田正雄,朝田智之,河野衛,江藤文彦,柴尾洋介,三浦紘世,野口裕史,高橋宏,船山徹,山崎正志.全脊椎矢状アライメント不良では頸椎伸筋群の脂肪変性が頸椎矢状面アライメントを不良にする.第 51 回日本脊椎脊髄病学会学術集会,2022 年 4 月,横浜,ポスター.
24. 小出知輝,辰村正紀,山路晃啓,照屋翔太郎,長島克弥,竹内陽介,江藤文彦,船山徹,山崎正志. 腰椎後方進入椎体間固定術(TLIF)における椎体高位別の術後 1 年での骨癒合率について.第 51 回日本脊椎脊髄病学会学術集会,2022 年 4 月,横浜,ポスター.
25. 蒲田久典,辰村正紀,奥脇駿,船山徹,山崎正志.第 5 腰椎分離症の骨癒合における潜在性二分脊椎の影響.第 51 回日本脊椎脊髄病学会学術集会,2022 年 4 月,横浜,口演.
26. 蒲田久典,辰村正紀,奥脇駿,國府田正雄,山崎正志.腰椎分離症の骨癒合率予測スコアリングシステムの妥当性の検討.第 51 回日本脊椎脊髄病学会学術集会,2022 年 4 月,横浜,口頭.
27. 三浦紘世,朝田智之,門根秀樹,河野衛,江藤文彦,佐藤康介,柴尾洋介,野口裕史,高橋宏,船山徹,國府田正雄,山崎正志.首下がり症候群における三次元歩行動作解析による歩行時脊椎矢状面バランスと単純 X 線によるアライメントとの関連.第 51 回日本脊椎脊髄病学会学術集会,2022 年 4 月,横浜,口頭.
28. 蒲田久典,朝田智之,廣瀬史,中川司,山崎正志.脆弱性 H 型仙骨骨折に対する Sacroiliac rod fixation の臨床成績.第 51 回日本脊椎脊髄病学会学術集会,2022 年 4 月,横浜,口頭.
29. 山崎正志,國府田正雄,高橋宏,種市洋.脊柱靭帯骨化症レジストリの構築と今後の展望.第 95 回日本整形外科学会学術総会,2022 年 5 月,神戸,口頭.
30. 古矢丈雄,牧聡,沖松翔,井上嵩基,弓手惇史,三浦正敬,白谷悠貴,折田純久,國府田正雄,山崎正志,大鳥精司.頸椎後方手術頸部痛を改善するか.第 95 回日本整形外科学会学術総会,2022 年 5 月,神戸,ポスター.
31. 三浦紘世,朝田智之,佐藤康介,河野衛,江藤文彦,柴尾洋介,野口裕史,高橋宏,船山徹,國府田正雄,山崎正志.CONUT スコアでの術前の栄養障害は圧迫性頸髄症の術後主要合併症の発生と関連する.第 95 回日本整形外科学会学術総会,2022 年 5 月,神戸,ポスター.
32. 都丸洋平,亀ヶ谷真琴,西須孝,塚越祐太,鎌田浩史,山崎正志.小児における COVID-19 に伴う活動量変化と下肢疲労骨折の関連.第 95 回日本整形外科学会学術総会,2022 年 5 月,神戸,ポスター.

33. 菊池直哉,金森章浩,門根秀樹,奥野孝祐,兵頭康次郎,山崎正志.新たな下肢機能軸と歩行時下肢キネティクスの関係.第 95 回日本整形外科学会学術総会,2022 年 5 月,神戸,ポスター.
34. 鎌田浩史,木村美緒,都丸洋平,中川将吾,塚越祐太,俣木優輝,竹内亮子,山崎正志.Web 問診票を用いた市内統一小中学校運動器検診.第 95 回日本整形外科学会学術総会,2022 年 5 月,神戸,ポスター.
35. 朝田智之,三浦紘世,國府田正雄,門根秀樹,船山徹,高橋宏,野口裕史,柴尾洋介,江藤文彦,河野衛,山崎正志.術前三次元歩行解析による proximal junctional kyphosis のリスク因子の予測.第 95 回日本整形外科学会学術総会,2022 年 5 月,神戸,ポスター.
36. 名越慈人,吉井俊貴,江川聡,坂井顕一郎,國府田正雄,古矢丈雄,竹下克志,松本守雄,今釜史郎,大川淳,山崎正志.頰椎後縦靭帯骨化症に対する椎弓形成術後の治療成績に影響を及ぼす因子の検討-JOACMEQ を用いた多変量解析による評価-.第 95 回日本整形外科学会学術総会,2022 年 5 月,ポスター.
37. 國府田正雄,久保田茂希,船山徹,高橋宏,野口裕史,三浦紘世,柴尾洋介,佐藤康介,朝田智之,江藤文彦,河野衛,清水如代,山崎正志.脊髄再生医療と Hybrid Assisted Limb(HAL®)を用いたロボットリハビリテーション.第 95 回日本整形外科学会学術総会,2022 年 5 月,神戸,口頭.
38. 吉井俊貴,江川聡,坂井顕一郎,竹下克志,今釜史郎,古矢丈雄,國府田正雄,川口善治,松本守雄,山崎正志,大川淳.頰椎 OPLL 手術療法最新のエビデンス-AMED・厚労科研多施設前向き研究より-.第 95 回日本整形外科学会学術総会,2022 年 5 月,神戸,口頭.
39. 古矢丈雄,牧聡,國府田正雄,山崎正志,大鳥精司.頰椎後縦靭帯骨化症-保存療法に関するエビデンス-.第 95 回日本整形外科学会学術総会,2022 年 5 月,神戸,口頭.
40. 清水如代,門根秀樹,久保田茂希,三浦紘世,國府田正雄,羽田康司,山崎正志.脊髄損傷完全四肢麻痺・対麻痺者に対する随意的麻痺肢訓練-装着型サイボーグ HAL を用いて-.第 95 回日本整形外科学会学術総会,2022 年 5 月,神戸,口頭.
41. 北川恭太,高岡宏光,小曾根英,寺村晋,武田拓時,佐井光一,瀬戸嶋祐輔,濱邊祐一,高相晶士,山崎正志,大鳥精司.日本外傷データベースから考察する頰髄損傷を有する頰椎損傷の臨床像.第 95 回日本整形外科学会学術総会,2022 年 5 月,神戸,口頭.
42. 野口裕史,荒川義弘,小柳知義,國府田正雄,山崎正志.医療機器開発のための脊椎手術動画を用いた online 臨床現場実習の試み.第 95 回日本整形外科学会学術総会,2022 年 5 月,神戸,ポスター.
43. 森幹士,吉井俊貴,江川聡,坂井顕一郎,國府田正雄,古矢丈雄,竹下克志,松本守雄,今釜史郎,大川淳,山崎正志.大規模多施設前向き研究による肥満が頰椎 OPLL 手術治療に及ぼす影響の調査.第 95 回日本整形外科学会学術総会,2022 年 5 月,神戸,口頭.
44. 國府田正雄,船山徹,高橋宏,野口裕史,三浦紘世,柴尾洋介,佐藤康介,朝田智之,江藤文彦,河野衛,古矢丈雄,牧聡,折田純久,稲毛一秀,大鳥精司,山崎正志.第 8 頰椎神経根障害による

- 下垂指の診断と治療.第 95 回日本整形外科学会学術総会,2022 年 5 月,神戸,口頭.
45. 江崎聖桜,門根秀樹,三浦紘世,朝田智之,船山徹,國府田正雄,山崎正志.単一ビデオカメラ映像を用いた歩行時脊椎アライメント評価のための検討:三次元動作計測との比較.第 95 回日本整形外科学会学術総会,2022 年 5 月,神戸,ポスター.
 46. 辰村正紀,蒲田久典,奥脇駿,江藤文彦,長島克弥,塚越祐太,竹内陽介,船山徹,万本健生,平野篤,山崎正志.発育期腰椎分離症と潜在性二分脊椎の関連性.第 95 回日本整形外科学会学術総会.2022 年 5 月,神戸,口頭.
 47. 三浦紘世,朝田智之,門根秀樹,河野衛,江藤文彦,柴尾洋介,野口裕史,高橋宏,船山徹,國府田正雄,山崎正志.首下がり症候群における三次元歩行動作解析による歩行時脊椎矢状面バランスとアライメントとの関連.第 95 回日本整形外科学会学術総会,2022 年 5 月,神戸,口頭.
 48. 久保田茂希,門根秀樹,清水如代,國府田正雄,羽田康司,山崎正志.術後 C5 麻痺に対する肩関節 HAL を使用した肩関節リハビリテーション.第 95 回日本整形外科学会学術総会,2022 年 5 月,神戸,ポスター.
 49. 奥脇駿,船山徹,柴尾洋介,辰村正紀,井汲彰,長島克弥,野口裕史,三浦紘世,高橋宏,國府田正雄,山崎正志,骨粗鬆症性椎体骨折の受傷後の椎体圧潰および局所後弯の進行に影響する因子の検討.第 95 回日本整形外科学会学術総会,2022 年 5 月,神戸,口頭.
 50. 船山徹,辰村正紀,藤井賢吾,奥脇駿,柴尾洋介,江藤文彦,井汲彰,野口裕史,高橋宏,國府田正雄,山崎正志.新鮮骨粗鬆症性椎体骨折に対する初期 2 週間の入院安静による保存治療は椎体圧潰抑制効果があり手術治療移行例を減少できる.第 95 回日本整形外科学会学術総会,2022 年 5 月,神戸,口頭.
 51. 國府田正雄,吉井俊貴,江川聡,平井高志,中川幸洋,和田簡一郎,勝見敬一,木村敦,古矢丈雄,大川淳,山崎正志.頸椎後縦靭帯骨化症術後頸部悪化に関連する因子の検討:多施設前向き手術レジストリの解析.第 95 回日本整形外科学会学術総会,2022 年 5 月,神戸,口頭.
 52. 江藤文彦,朝田智之,佐藤康介,柴尾洋介,三浦紘世,野口裕史,高橋宏,船山徹,國府田正雄,山崎正志.圧迫性頸髄症患者における脳機能結合と臨床スコアの術後変化.第 37 回日本整形外科学会基礎学術集会,2022 年 10 月,宮崎,口頭.
 53. 國府田正雄,花岡英紀,古矢丈雄,高橋宏,山崎正志.脊椎外科のトランスレーショナルリサーチ:脊髄損傷.第 37 回日本整形外科学会基礎学術集会,2022 年 10 月,宮崎,口頭.
 54. 清水知明,牧聡,須田浩太,松本聡子,小松幹,太田昌博,三浪明男,高畑雅彦,岩崎倫政,國府田正雄,山崎正志.AI を用いた頸髄損傷術後予後予測モデルの構築.第 37 回日本整形外科学会基礎学術集会,2022 年 10 月,宮崎,口頭.
 55. 三浦紘世,朝田智之,佐藤康介,江藤文彦,柴尾洋介,野口裕史,高橋宏,船山徹,國府田正雄,山崎正志.圧迫性頸髄症における CONUT スコアを用いた術前の栄養評価と術後主要合併症発生との関連.第 37 回日本整形外科学会基礎学術集会,2022 年 10 月,宮崎,ポスター.
 56. 岡野英里子,野口裕史,十時靖和,松本佑啓,柳澤洋平,六崎裕高,山崎正志.Tomosynthesis を

- 用いた頸椎椎弓根 screw のゆるみ検出のための計測基準点の検討.第 37 回日本整形外科学会基礎学術集会,2022 年 10 月,宮崎,ポスター.
57. 門根秀樹,江崎聖桜,三浦紘世,朝田智之,船山徹,國府田正雄,山崎正志.単一ビデオカメラ映像を用いた歩行時脊椎アライメント推定の検討:三次元動作計測の比較.第 37 回日本整形外科学会基礎学術集会,2022 年 10 月,宮崎,ポスター.
 58. 三浦紘世,朝田智之,門根秀樹,江藤文彦,柴尾洋介,野口裕史,高橋宏,船山徹,國府田正雄,山崎正志.首下がり症候群における歩行時の脊椎アライメント変化と筋活動の解析.第 37 回日本整形外科学会基礎学術集会,2022 年 10 月,宮崎,口頭.
 59. 俣木優輝,六崎裕高,鎌田浩史,竹内亮子,高橋一史,吉川憲一,黒田真由美,古関一則,山崎正志.重度脳性麻痺患者に対するロボットスーツ HAL 単関節タイプを使用した膝伸展運動前後での立ち上がり動作の変化.第 37 回日本整形外科学会基礎学術集会,2022 年 10 月,宮崎,口頭.
 60. 清水如代,門根秀樹,俣木優輝,渡慶次香代,羽田康司,山崎正志.起立着座支援移動機器 Qolo-脊髄損傷下肢機能障害者に対する起立着座訓練の実施可能性-.第 37 回日本整形外科学会基礎学術集会,2022 年 10 月,宮崎,口頭.
 61. 高橋宏,鈴木健嗣,西野衆文,柴尾洋介,野口裕史,金森章浩,吉岡友和,菊池直哉,野澤大輔,三島初,山崎正志.自動運転モビリティを用いた運動器障害患者の自動搬送-医療 MaaS の実現に向けた第 1 歩-.第 37 回日本整形外科学会基礎学術集会,2022 年 10 月,宮崎,口頭.
 62. 國府田正雄,古矢丈雄,花岡英紀,牧聡,高橋宏,山崎正志.脊髄損傷に対する治験・臨床試験の問題点.第 57 回日本脊髄障害医学会,2022 年 11 月,横浜,口頭.
 63. 望月真人,門田領,相庭温臣,古矢丈雄,國府田正雄,山崎正志.頸椎後縦靱帯骨化症 (OPLL) に対する前方除圧固定術の詳細とその極意.第 31 回日本脊椎インストゥルメンテーション学会,2022 年 11 月,大阪,口頭.
 64. 椎名逸雄,三浦紘世,船山徹,水町隆雄,中川隆嶺,池田麗美,江藤文彦,猪股兼人,國府田正雄,菅谷郁夫,山崎正志. S2AI スクリュー挿入における患者適合型三次元ガイドの有用性.第 31 回日本脊椎インストゥルメンテーション学会,2022 年 11 月,大阪,口頭.
 65. 三浦紘世,朝田智之,坂下孝太郎,江藤文彦,野口裕史,高橋宏,船山徹,國府田正雄,山崎正志.首下がり症候群の矯正手術と三次元歩行動作解析を用いたバイオメカニクスの分析.第 31 回日本脊椎インストゥルメンテーション学会,2022 年 11 月,大阪,口頭.
 66. 高橋拓也,吉井俊貴,森幹士,平井高志,山崎正志,大川淳. DISH と AS における脊椎骨盤の癒合、架橋の特徴-厚労科研脊柱靱帯骨化症研究班・多施設研究-.第 31 回日本脊椎インストゥルメンテーション学会,2022 年 11 月,大阪,口頭.
 67. 佐藤康介,船山徹,野口裕史,熊谷洋,朝田智之,江藤文彦,三浦紘世,高橋宏,國府田正雄,山崎正志.頸椎前方固定における配向連通孔 β -TCP 人工骨の早期モデリング.第 31 回日本脊椎インストゥルメンテーション学会,2022 年 11 月,大阪,口頭.
 68. 高橋宏,國府田正雄,船山徹,野口裕史,三浦紘世,江藤文彦,佐藤康介,朝田智之,猪股兼人,坂

- 下孝太郎,山崎正志. 成人脊柱変形に対する脊椎後方固定術におけるヒトトロンビン含有ゼラチン使用吸収性局所止血材 (サージフロー) の有用性. 第 31 回日本脊椎インストゥルメンテーション学会,2022 年 11 月,大阪,口頭.
69. 奥脇俊,小谷俊明,佐久間毅,飯島靖,大山秀平,岩田秀平,赤澤努,南昌平,大鳥精司,山崎正志. 全脊椎 2 方向レントゲン画像を用いた術後頂椎 rotation の計測-逆三角関数 arctan を使った定量評価-.第 31 回日本脊椎インストゥルメンテーション学会,2022 年 11 月,大阪,口頭.
70. 江川聡,吉井俊貴,國府田正雄,古矢丈雄,木村敦,竹下克志,松本守雄,川口善治,今釜史郎,大川淳,山崎正志. 頰椎後縦靭帯骨化症に対する手術療法の C5 麻痺についての検討 AMED・厚労科研研究班多施設前向き調査研究. 第 31 回日本脊椎インストゥルメンテーション学会,2022 年 11 月,大阪,口頭.
71. 松倉遊,吉井俊貴,江川聡,平井高志,坂井顕一郎,國府田正雄,今釜史郎,竹下克志,松本守雄,山崎正志,大川淳. 罹病期間に着目した頰椎後縦靭帯骨化症に対する手術成績の多施設前向き調査. 第 31 回日本脊椎インストゥルメンテーション学会,2022 年 11 月,大阪,口頭.
72. 猪股兼人,高橋宏,國府田正雄,船山徹,野口裕史,三浦紘世,江藤文彦,佐藤康介,朝田智之,蒲田久典,山崎正志. 重度頰椎後弯症に対する前後合併矯正固定術後の上気道合併症. 第 31 回日本脊椎インストゥルメンテーション学会,2022 年 11 月,大阪,口頭.
73. 辰村正紀,小出知輝,山路晃啓,長島克弥,竹内陽介,江藤文彦,船山徹,山崎正志. 仙腸関節強直症例に対する L5/S 単椎間 PLIF における術後椎体間癒合率. 第 31 回日本脊椎インストゥルメンテーション学会,2022 年 11 月,大阪,口頭.
74. 中川隆嶺,椎名逸雄,水町隆雄,國府田正雄,山崎正志. 超高齢者に対する経皮的椎体形成術の周術期合併症の調査. 第 31 回日本脊椎インストゥルメンテーション学会,2022 年 11 月,大阪,口頭.
75. 蒲田久典,船山徹,中川隆嶺,奥脇駿,柴尾洋介,椎名逸雄,水町隆雄,國府田正雄,山崎正志. 胸腰椎化膿性脊椎炎に対する低侵襲後方インストゥルメンテーション後の椎体間骨癒合形態. 第 31 回日本脊椎インストゥルメンテーション学会,2022 年 11 月,大阪,口頭.
76. 江藤文彦,高橋宏,朝田智之,佐藤康介,三浦紘世,野口裕史,船山徹,國府田正雄,山崎正志. 後頭骨頰椎固定術におけるアディショナルロッドを用いたインプラント補強. 第 31 回日本脊椎インストゥルメンテーション学会,2022 年 11 月,大阪,口頭.
77. 長島克弥,辰村正紀,竹内正紀,山路晃啓,奥脇駿,江藤文彦,船山徹,山崎正志. 棘突起と棘間靭帯を温存した腰椎後方椎体間固定術後の頭側隣接椎間障害-5 年以上経過例での傾向スコアマッチングを用いた検討-.第 31 回日本脊椎インストゥルメンテーション学会,2022 年 11 月,大阪,口頭.
78. 船山徹,朝田智之,柴尾洋介,江藤文彦,佐藤康介,三浦紘世,野口裕史,高橋宏,辰村正紀,國府田正雄,山崎正志. 頰椎後縦靭帯骨化症に対する椎弓形成術後の多椎間椎弓骨癒合によ

- り遅発性に生じた頸胸移行部脊髄症の2例. 第31回日本脊椎インストゥルメンテーション学会,2022年11月,大阪,口頭.
79. 野口裕史,國府田正雄,船山徹,高橋宏,三浦紘世,江藤文彦,朝田智之,佐藤康介,猪俣兼人,蒲田久典,山崎正志. **Bendin** を用いた頸椎長範囲後方除圧固定術の経験. 第31回日本脊椎インストゥルメンテーション学会,2022年11月,大阪,ポスター.
80. 奥脇駿,辰村正紀,蒲田久典,長島克弥,江藤文彦,竹内陽介,船山徹,山崎正志. 腰椎分離症偽関節症例における **smiley face rod** 法の治療成績-術前分離部間隙に着目した比較-第31回日本脊椎インストゥルメンテーション学会,2022年11月,大阪,ポスター.
81. 丸山隼太郎,古矢丈雄,牧聡,井上嵩基,弓出惇史,三浦正敬,白谷悠貴,永嶋優樹,國府田正雄,山崎正志,大鳥精司. 胸椎後縦靭帯骨化症に対する後方除圧固定術の長期成績. 第31回日本脊椎インストゥルメンテーション学会,2022年11月,大阪,ポスター.
82. 俣木健太郎,國府田正雄,塚西敏則,山崎正志. 頸椎回旋位時に意識消失を呈した頸椎椎間板ヘルニアの1例. 第31回日本脊椎インストゥルメンテーション学会,2022年11月,大阪,ポスター.
83. 安藤美帆,船山徹,朝田智之,坂下孝太郎,江藤文彦,三浦紘世,野口裕史,高橋宏,國府田正雄,山崎正志. 頸部運動性チックに合併した環軸椎亜脱臼の一例. 第31回日本脊椎インストゥルメンテーション学会,2022年11月,大阪,ポスター.
84. 山路晃啓,辰村正紀,蒲田久典,長島克弥,竹内陽介,江藤文彦,船山徹,山崎正志. 腰椎分離症に対する **smiley face rod** 法~骨癒合後に抜釘を行った症例の術後成績~第31回日本脊椎インストゥルメンテーション学会,2022年11月,大阪,ポスター.
85. 平井 高志, 吉井 俊貴, 西村 空也, 名越 慈人, 森 幹士, 竹内 一裕, 勝見 敬一, 牧聡, 大川 淳, 川口善治「大規模多施設前向き調査による頸椎 OPLL 患者におけるびまん性特発性骨増殖症の腰痛・頸部痛の特徴」第51回 日本脊椎脊髄病学会学術集会 2022年4月21日
86. 牛尾 修太, 進藤 重雄, 大谷 和之, 草野 和生, 三宅 論彦, 山田 剛史, 中井 修, 吉井 俊貴, 大川 淳「胸椎後縦靭帯骨化症に対する前方除圧・骨化浮上術の手術成績と予後因子についての検討」第51回 日本脊椎脊髄病学会学術集会 2022年4月21日
87. 森下 真伍, 吉井 俊貴, 猪瀬 弘之, 平井 高志, 松倉 遊, 伏見 清秀, 片柳 順也, 神野 哲也, 大川 淳, 藤原 武男「頸椎後縦靭帯骨化症、頸椎症性脊髄症に対する椎弓形成術における周術期合併症調査」第51回 日本脊椎脊髄病学会学術集会 2022年4月21日
88. 森下 真伍, 吉井 俊貴, 猪瀬 弘之, 平井 高志, 湯浅 将人, 松倉 遊, 伏見 清秀, 片柳 順也, 神野 哲也, 大川 淳, 藤原 武男「頸椎変性疾患における椎弓形成術の周術期合併症 全国規模入院データベースを用いた後縦靭帯骨化症と頸椎症性脊髄症の比較研究」第95回 日本整形外科学会学術総会 2022年5月19日
89. 平井 高志, 川口 善治, 吉井 俊貴, 大川 淳「脊柱靭帯骨化症-最新のエビデンス-」全

脊柱CTによるOPLL含めた骨化分布のエビデンスと症状との関連」第95回日本整形外科学会学術総会2022年5月20日

90. 橋本 淳, 川端 茂徳, 田中 雄太, 東川 尚人, 足立 善昭, 渡部 泰士, 石田 洸樹, 上中 沙衿, 山本 輔, 江川 聡, 松倉 遊, 平井 高志, 猪瀬 弘之, 吉井 俊貴, 大川 淳「脊磁図による脊髄・神経根障害診断」第37回日本生体磁気学会大会2022年6月14日
91. 吉井 俊貴「脊柱靱帯骨化症患者レジストリを利活用したエビデンスの構築—AMED研究—」令和4年度第1回OPLL班会議2022年6月24日
92. 平井 高志「全脊柱CT研究 骨化病巣の縦断的検証 脊柱靱帯骨化症に関する調査研究」令和4年度第1回OPLL班会議2022年6月24日
93. 平井 高志「頰椎症と頰椎後縦靱帯骨化に関わる現在までのエビデンス」Pain Expert Meeting2022年7月8日
94. 平井 高志「頰椎症と頰椎後縦靱帯骨化症に関わる現在までのエビデンス」第1回Nagoya Spine Education Seminar 2022年8月4日
95. 平井 高志「脊柱靱帯骨化症の治療と取り組み」星整会(東海大学)学術集会2022年9月3日
96. 吉井 俊貴「患者レジストリを利活用した脊柱靱帯骨化症の臨床研究 AMED研究」令和4年度第2回OPLL班会議2022年11月11日
97. 吉井 俊貴「びまん性特発性骨増殖症(DISH)の画像所見、臨床的特徴について—強直性脊椎炎との類似点、相違点—」脊椎関節炎 難病班会議2022年11月23日
98. 橋本 淳, 川端 茂徳, 吉井 俊貴, 歌川 蔵人, 江川 聡, 松倉 遊, 山田 賢太郎, 平井 高志, 猪瀬 弘之, 大川 淳「脊髄術中モニタリング 周術期に生じる麻痺を予防するための対策」第52回日本臨床神経生理学会学術大会2022年11月24日
99. 橋本淳, 川端茂徳, 吉井俊貴, 歌川蔵人, 江川聡, 松倉遊, 山田賢太郎, 平井高志, 猪瀬弘之, 大川淳「頰椎後縦靱帯骨化症における自発筋電図」第8回日本脳脊髄術中モニタリング研究会2023年2月19日
100. 名越慈人, 渡辺航太, 中村雅也, 松本守雄 : 糖尿病は頰椎後縦靱帯骨化症の手術成績に影響を与えるか?—アジア多施設研究. 第23回 圧迫性脊髄症研究会(2022年1月22日 Web開催)
101. 尾崎正大, 鈴木悟士, 高橋洋平, 海苔 聡, 辻 収彦, 名越慈人, 八木 満, 松本守雄, 中村雅也, 渡辺航太 : びまん性特発性骨増殖症を伴った腰部脊柱管狭窄症に対する後方椎体間固定術の治療成績. 第51回日本脊椎脊髄病学会学術集会(2022年4月21-23日 横浜)
102. 名越慈人, 吉井俊貴, 江川 聡, 坂井 顕一郎, 國府田 正雄, 古矢丈雄, 渡辺航太, 竹下克志, 松本守雄, 今征史郎, 大川 淳, 山崎正志 : 頰椎後縦靱帯骨化症に対する椎弓形成術後の治療成績に影響をおよぼす因子 の検討 —JOACMEQ を用いた多変量解析

- による評価— 第 51 回日本脊椎脊髄病学会学術集会 (2022 年 4 月 21-23 日 横浜)
103. 尾崎正大, 鈴木悟士, 高橋洋平, 海苔 聡, 辻 収彦, 名越慈人, 八木 満, 松本守雄, 中村雅也, 渡辺航太 : びまん性特発性骨増殖症を伴った腰部脊柱管狭窄症に対する後方椎体間固定術の治療成績. 第 30 回 日本腰痛学会 (2022 年 10 月 21-22 日 盛岡)
 104. 尾崎正大, 鈴木悟士, 高橋洋平, 辻 収彦, 名越慈人, 八木 満, 松本守雄, 中村雅也, 渡辺航太 : びまん性特発性骨増殖症を伴った腰部脊柱管狭窄症に対する後方椎体間固定術の治療成績. 第 31 回 日本脊椎インストゥルメンテーション学会 (2022 年 11 月 25-26 日 大阪)
 105. 長本行隆, 奥田真也, 松本富哉, 他. 当院の手術部位感染の 15 年間の動向. 第 51 回日本脊椎脊髄病学会 (2022 年 4 月横浜)
 106. 長本行隆, 奥田真也, 松本富哉, 他. 矢状面アライメント不良例に対する PLIF の中期成績. 第 51 回日本脊椎脊髄病学会 (2022 年 4 月横浜)
 107. 松本富哉, 奥田真也, 長本行隆, 他. 頸椎前方術後レントゲンの軟部組織腫脹と喉頭ファイバー所見との関係-C3PSTS が咽頭後壁腫脹を反映する-. 第 51 回日本脊椎脊髄病学会 (2022 年 4 月横浜)
 108. 高橋佳史, 奥田真也, 長本行隆, 他. 腰椎椎間板ヘルニアに対するコンドリアーゼ治療の短期成績. 第 51 回日本脊椎脊髄病学会 (2022 年 4 月横浜)
 109. 古家雅之, 奥田真也, 長本行隆, 他. 術前腰椎 CT を活用した簡便な骨粗鬆症判定の試み. 第 51 回日本脊椎脊髄病学会 (2022 年 4 月横浜)
 110. 奥田真也, 長本行隆, 松本富哉, 他. 80 歳以上の高齢者における PLIF の課題. 第 51 回日本脊椎脊髄病学会 (2022 年 4 月横浜)
 111. 岩崎幹季. 側弯症手術の歴史と未来への課題. 第 95 回日本整形外科学会(2022 年 5 月神戸)
 112. 古家雅之, 奥田真也, 長本行隆, 他. 術前腰椎 CT を活用した簡便な骨粗鬆症判定の試み. 第 24 回日本骨粗鬆症学会 (2022 年 9 月大阪)
 113. 西岡勇登, 古家雅之, 長本行隆, 他. 頸椎脱臼骨折に対する後方固定後に四肢麻痺を呈し緊急除圧を要した 1 例. 第 139 回中部日本整形外科災害外科学会(2022 年 9 月大阪)
 114. 長本行隆, 松本富哉, 高橋佳史, 他. 複数ロッドで補強を行った成人脊柱変形手術におけるインプラント折損について. 第 56 回日本側弯症学会 (2022 年 11 月浦安)
 115. 高橋佳史, 長本行隆, 松本富哉, 他. 成人期に手術を行った胸椎に主カーブを持つ特発性側弯症患者の SRS-22 を用いた治療成績. 第 56 回日本側弯症学会 (2022 年 11 月浦安)
 116. 長本行隆, 松本富哉, 高橋佳史, 他. 脊椎インプラント手術後の手術部位感染—当院 15 年間の動向—. 第 31 回日本脊椎インストゥルメンテーション学会 (2022 年 11 月大阪)
 117. 高橋雅人, 小林和克, 吉田 剛, 重松英樹, 船場真裕, 森戸伸治, 町野正明, 山本直也,

安藤宗治、川端茂徳、山田 圭、岩崎 博、谷口慎一郎、寒竹 司、藤原 靖、和田簡一郎、安藤 圭、田所伸朗、後迫宏紀、安田明正、橋本 淳、高谷恒範、谷 俊一、松山幸弘、今釜史郎：脊髄モニタリング False negative の検討—多機関共同研究 日本脊椎脊髄病学会脊髄モニタリングワーキンググループ 5,272 例の解析—。第 95 回日本整形外科学会学術総会。2022 年 5 月 19-22 日。神戸

118. 高橋雅人、小林和克、吉田 剛、重松英樹、船場真裕、森戸伸治、町野正明、山本直也、安藤宗治、川端茂徳、山田 圭、岩崎 博、谷口慎一郎、寒竹 司、藤原 靖、和田簡一郎、安藤 圭、田所伸朗、後迫宏紀、安田明正、橋本 淳、高谷恒範、谷 俊一、松山幸弘、今釜史郎：脊髄モニタリング False negative の検討—多機関共同研究 日本脊椎脊髄病学会脊髄モニタリングワーキンググループ 5,272 例の解析—。第 51 回日本脊椎脊髄病学会学術集会。2022 年 4 月 21-23 日。横浜。
119. 高橋雅人、小林和克、吉田 剛、重松英樹、船場真裕、森戸伸治、町野正明、山本直也、安藤宗治、川端茂徳、山田 圭、岩崎 博、谷口慎一郎、寒竹 司、藤原 靖、和田簡一郎、安藤 圭、田所伸朗、後迫宏紀、安田明正、橋本 淳、高谷恒範、谷 俊一、松山幸弘、今釜史郎：脊髄モニタリング False negative の検討—多機関共同研究 日本脊椎脊髄病学会脊髄モニタリングワーキンググループ 5,272 例の解析—。第 43 回日本脊髄機能診断学会学術大会。2022 年 2 月 5 日。大阪 (Web)。
120. 船場真裕 寒竹司 小林 和克 吉田剛 町野正明 山田圭 重松英樹 高橋雅人 田所伸朗 山本直也 森戸伸治 川端茂徳 藤原靖 安藤宗治 谷口 慎一郎 岩崎博 和田簡一郎 安田明正 後迫宏紀 橋本淳 高谷恒範 安藤圭 松山幸弘 今釜史郎 術前高度麻痺症例は MEP による脊髄モニタリングの有用性が向上する～頸椎手術 2476 例からの JSSR モニタリング WG 多施設研究～ 第 51 回日本脊椎脊髄病学会 2022 年 4 月 21-23 日横浜
121. 船場真裕 寒竹司 小林 和克 吉田剛 町野正明 山田圭 重松英樹 高橋雅人 田所伸朗 山本直也 森戸伸治 川端茂徳 藤原靖 安藤宗治 谷口 慎一郎 岩崎博 和田簡一郎 安田明正 後迫宏紀 橋本淳 高谷恒範 安藤圭 松山幸弘 今釜史郎 術前筋力低下症例は MEP による脊髄モニタリングの有用性が高い～JSSR モニタリング委員会による胸椎手術 1156 例の前向き検討～ 第 44 回脊髄機能診断学会 2023 年 2 月 4 日奈良
122. 大伴直央，船尾陽生，出浦健太郎，磯貝宜広，加藤修三，笹生豊，江幡重人，石井賢. DASH (disability of the arm, shoulder, and hand) は頸椎手術の上肢機能評価に有効か？ 第51回日本脊椎脊髄病学会学術集会 (2022年4月21日-23日 横浜)
123. 船尾陽生，出浦健太郎，山之内健人，藤田成人，大伴直央，磯貝宜広，笹生豊，江幡重人，石井賢. 頸椎術前患者における上肢機能障害に関連したADL制限 -DASHを用いた解析-. 厚生労働省科学研究費補助金難治性疾患政策研究事業【脊柱靱帯骨化症に関する調査研究】日本医療研究開発機構研究費難治性疾患実用化研究事業【脊柱靱帯骨

化症の治療指針策定および手術治療の質を高めるための大規模多施設研究】【後縦靭帯骨化症に対する骨化制御機構の解明と治療法開発に関する研究】令和4年度第2回合同班会議 (2022年11月11日 ハイブリッド開催)

124. 船尾陽生, 井川達也, 磯貝宜広, 笹生豊, 江幡重人, 石井賢. 先行随伴性姿勢調節機能障害は頸椎症性脊髄症における転倒リスクの一因か? 第12回国際医療福祉大学学会学術大会 (2022年8月28日 大川キャンパス, ハイブリッド開催)
125. 船尾陽生, 出浦健太郎, 山之内健人, 藤田成人, 大伴直央, 磯貝宜広, 笹生豊, 江幡重人, 石井賢. DASH questionnaireを用いた頸椎症性脊髄症の上肢機能障害による日常動作制限の解析 第37回日本整形外科学会基礎学術集会 (2022年10月13-14日 宮崎)
126. 正本 和誉, 藤林 俊介 他 びまん性特発性骨増殖症(DISH)合併脊椎外傷の手術治療成績 第51回日本脊椎脊髄病学会 2022.4.21-23 (横浜)
127. 今釜 史郎 139回中部日本整形外科災害外科学会・学術集会、2022年10月28-29日、大阪市難治性脊椎脊髄疾患の治療と神経障害性疼痛 疫学研究を含めて(会議録)、中部日本整形外科災害外科学会雑誌 (0008-9443) 65巻 秋季学会 Page104(2022.10)WA2647 0093<Pre 医中誌>
128. 今釜 史郎, 安藤 圭, 中島 宏彰, 町野 正明, 伊藤 定之, 世木 直喜, 富田 浩之, 山口 英敏, 小清水 宏行, 大内田 隼, 森下 和明, 大石 遼太郎、難治性脊椎脊髄疾患への挑戦 胸椎後縦靭帯骨化症手術への挑戦(会議録)、Journal of Spine Research(1884-7137)13巻3号 Page621(2022.03)、W906480917<Pre 医中誌> 第51回日本脊椎脊髄病学会学術集会、2022年4月21-23日、横浜市
129. 伊藤 定之, 安藤 圭, 中島 宏彰, 町野 正明, 小田 昌宏, 世木 直喜, 富田 浩之, 小清水 宏行, 大内田 隼, 森下 和明, 大石 遼太郎, 森 健策, 今釜 史郎、人工知能を用いた頸椎後縦靭帯骨化症術後合併症予測モデルの開発(会議録)、Journal of Spine Research(1884-7137)13巻3号 Page468(2022.03)、W906480621<Pre 医中誌> 第51回日本脊椎脊髄病学会学術集会、2022年4月21-23日、横浜市
130. 今釜 史郎, 中島 宏彰, 町野 正明, 伊藤 定之, 世木 直喜, 富田 浩之, 小清水 宏行, 大内田 隼, 大石 遼太郎, 森下 和明, 宮入 祐一, 森田 圭則, 山内 一平、胸椎後縦靭帯骨化症に対する後方除圧固定術の長期成績 固定尾側の画像評価(会議録)、安藤 圭(名古屋大学 整形), Journal of Spine Research(1884-7137)13巻3号 Page458(2022.03) W906480601<Pre 医中誌>第51回日本脊椎脊髄病学会学術集会、2022年4月21-23日、横浜市
131. 今釜 史郎、嚙状型胸髄圧迫病変に対する後方進入脊髄前方除圧術(RASPA法) 脊髄に愛護的な超音波手術器(会議録)、Journal of Spine Research(1884-7137)13巻3号、Page449(2022.03)W906480584<Pre 医中誌> 51回日本脊椎脊髄病学会学術集会、2022年4月21-23日、横浜市
132. 重松 英樹(奈良県立医科大学 整形), 町野 正明, 小林 和克, 吉田 剛, 船場 真裕, 森戸

- 真治, 高橋 雅人, 藤原 靖, 谷口 慎一郎, 岩崎 博, 田所 伸朗, 和田 簡一郎, 山本 直也, 後迫 宏紀, 松山 幸弘, 今釜 史郎, どの脊椎脊髄手術に対し脊髄モニタリングは必要とされるか? JSSR モニタリング WG 主導アンケート調査(会議録), *Journal of Spine Research*(1884-7137)13 卷 3 号 Page156(2022.03)、W906480019<Pre 医中誌> 第 51 回日本脊椎脊髄病学会学術集会、2022 年 4 月 21-23 日、横浜市
133. 町野 正明, 小林 和克, 吉田 剛, 船場 真裕, 森戸 真治, 高橋 雅人, 藤原 靖, 谷口 慎一郎, 岩崎 博, 田所 伸朗, 和田 簡一郎, 山本 直也, 後迫 宏紀, 松山 幸弘, 今釜 史郎, 国内術中脊髄モニタリングの実態 JSSR モニタリング WG 主導アンケート調査(会議録)、重松 英樹(奈良県立医科大学 整形), *Journal of Spine Research*(1884-7137)13 卷 3 号 Page155(2022.03)、W906480018<Pre 医中誌> 第 51 回日本脊椎脊髄病学会学術集会、2022 年 4 月 21-23 日、横浜市
134. 伊藤 定之, 安藤 圭, 中島 宏彰, 町野 正明, 小田 昌宏, 世木 直喜, 富田 浩之, 小清水 宏行, 大内田 隼, 森 健策, 今釜 史郎, Deep learning を用いた単純 X 線画像での胸椎後縦靭帯骨化症自動診断システムの開発、*日本整形外科学会雑誌*(0021-5325)96 卷 3 号 Page S1184(2022.03)、W323201300<Pre 医中誌> 第 95 回日本整形外科学会学術総会、2022 年 5 月 19-22 日、神戸市
135. 富田 浩之, 安藤 圭, 世木 直喜, 加藤 仁志, 船山 徹, 渡邊 航太, 古矢 丈雄, 中嶋 秀明, 長谷川 智彦, 寺島 嘉紀, 今釜 史郎, びまん性特発性骨増殖症を有する高齢者頸椎・頸髄損傷の特徴 JASA 主導多施設共同研究、*日本整形外科学会雑誌*(0021-5325)96 卷 3 号 Page S1047(2022.03)、W323201027<Pre 医中誌> 第 95 回日本整形外科学会学術総会、2022 年 5 月 19-22 日、神戸市
136. 安藤 圭, 今釜 史郎, 中島 宏彰, 町野 正明, 伊藤 定之, 世木 直喜, 富田 浩之, 小清水 宏行, 大内田 隼, 森下 和明, 大石 遼太郎, 胸椎後縦靭帯骨化症に対する後方除圧固定術の長期成績、*日本整形外科学会雑誌*(0021-5325)96 卷 3 号 Page S1047(2022.03)、W323201026<Pre 医中誌> 第 95 回日本整形外科学会学術総会、2022 年 5 月 19-22 日、神戸市
137. 今釜 史郎, 安藤 圭, 中島 宏彰, 町野 正明, 伊藤 定之, 世木 直喜, 富田 浩之, 山口 英敏, 小清水 宏行, 大内田 隼, 森下 和明, 大石 遼太郎, 脊柱靭帯骨化症-最新のエビデンス- 胸椎靭帯骨化症手術 最新のエビデンス、*日本整形外科学会雑誌*(0021-5325)96 卷 2 号 Page S451(2022.03)、W317180847<Pre 医中誌> 第 95 回日本整形外科学会学術総会、2022 年 5 月 19-22 日、神戸市
138. 吉井 俊貴(東京医科歯科大学 大学院整形), 江川 聡, 坂井 颯一郎, 竹下 克志, 今釜 史郎, 古矢 丈雄, 國府田 正雄, 川口 善治, 松本 守雄, 山崎 正志, 大川 淳, 脊柱靭帯骨化症-最新のエビデンス- 頸椎 OPLL 手術療法 最新のエビデンス AMED・厚労科研 多施設前向き研究より、*日本整形外科学会雑誌*(0021-5325)96 卷 2 号 Page S449(2022.03)、W317180843<Pre 医中誌> 95 回日本整形外科学会学術総会、2022 年 5

月 19-22 日、神戸市

139. 金村 徳相(JA 愛知県厚生連江南厚生病院 整形), 上田 明希, 有馬 秀幸, 山田 浩司, 今釜 史郎, 吉井 俊貴, 大鳥 精司, 筑田 博隆, 渡辺 雅彦, 松山 幸弘, 種市 洋、整形外科領域のレジストリーの現況と今後の展望-手術安全性の向上を目指して- 脊椎関連レジストリーの現状と今後の展望 日本整形外科学会雑誌(0021-5325)96 巻 2 号 Page S340(2022.03)、W317180653<Pre 医中誌> 第 95 回日本整形外科学会学術総会、2022 年 5 月 19-22 日、神戸市
140. 名越 慈人(慶応義塾大学 整形), 吉井 俊貴, 江川 聡, 坂井 颯一郎, 國府田 正雄, 古矢 丈雄, 竹下 克志, 松本 守雄, 今釜 史郎, 大川 淳, 山崎 正志、頸椎後縦靭帯骨化症に対する椎弓形成術後の治療成績に影響を及ぼす因子の検討 JOACMEQ を用いた多変量解析による評価、日本整形外科学会雑誌(0021-5325)96 巻 2 号 Page S230(2022.03)、W317180434<Pre 医中誌> 第 95 回日本整形外科学会学術総会、2022 年 5 月 19-22 日、神戸市
141. 重松 英樹(奈良県立医科大学 整形), 安藤 宗治, 小林 和克, 吉田 剛, 船場 真裕, 森戸 伸治, 高橋 雅人, 川端 茂徳, 藤原 靖, 松山 幸弘, 今釜 史郎、ハイリスク脊椎手術における経頭蓋刺激運動誘発電位に組み合わせる D-wave モニタリングの有効性 モニタリング WG 多施設共同研究、日本整形外科学会雑誌(0021-5325)96 巻 2 号 Page S48(2022.03)、W317180084<Pre 医中誌> 第 95 回日本整形外科学会学術総会、2022 年 5 月 19-22 日、神戸市
142. 吉田 剛(浜松医科大学 整形), 小林 和克, 安藤 宗治, 川端 茂徳, 山田 圭, 重松 英樹, 和田 簡一郎, 岩崎 博, 高橋 雅人, 今釜 史郎, 松山 幸弘、胸椎後縦靭帯骨化症手術における脊髄モニタリングを用いた術中神経障害の予防 体位変換前後の脊髄電位変化に注目して、日本整形外科学会雑誌(0021-5325)96 巻 2 号 Page S48(2022.03)、W317180083<Pre 医中誌> 第 95 回日本整形外科学会学術総会、2022 年 5 月 19-22 日、神戸市
143. 中島 宏彰, 町野 正明, 伊藤 定之, 世木 直喜, 富田 浩之, 小清水 宏行, 大内田 隼, 大石 遼太郎, 森下 和明, 今釜 史郎、脊椎手術時の展開、椎弓切除、脊柱管内操作における出血対策 脊柱変形・靭帯骨化・脊椎脊髄腫瘍、安藤 圭(名古屋大学 大学院整形・リウマチ学), 日本整形外科学会雑誌(0021-5325)96 巻 2 号 Page S15(2022.03)、W317180024<Pre 医中誌> 第 95 回日本整形外科学会学術総会、2022 年 5 月 19-22 日、神戸市
144. 武中 章太, 藤森 孝人, 蟹江 祐哉, 岡田 誠司, 海渡 貴司. 安静時 functional MRI を用いた開眼撮影条件下での頸髄症患者の脳機能的結合, 局所脳活動評価 日本脊椎脊髄病学会 2022 年 4 月 21 日, 横浜
145. 森幹士. 胸椎 OLF のエビデンス 第 95 回日本整形外科学会学術総会 2022, 5, 19-22 神戸

146. 森幹士、吉井俊貴、江川聡、坂井顕一郎、國府田正雄、古矢丈雄、竹下克志、松本守雄、今釜史郎、大川淳、山崎正志 大規模多施設前向き研究による肥満が頸椎 OPLL 手術治療に及ぼす影響の調査 第 51 回日本脊椎脊髄病学会学術集会 2022, 4, 21-23 横浜
147. 森幹士、吉井俊貴、江川聡、坂井顕一郎、國府田正雄、古矢丈雄、竹下克志、松本守雄、今釜史郎、大川淳、山崎正志 大規模多施設前向き研究による肥満が頸椎 OPLL 手術治療に及ぼす影響の調査 第 95 回日本整形外科学会学術総会 2022, 5, 19-22 神戸
148. 遠藤努他、肥満と脊柱靭帯骨化症の発症との関連性 —無症候性被験者 622 名の横断的研究—. 第 51 回日本脊椎脊髄病学会学術集会 横浜 2022
149. 遠藤努他、肥満と脊柱靭帯骨化症の発症との関連性 —無症候性被験者 622 名の横断的研究—. 第 95 回日本整形外科学術総会 神戸 2022
150. 鈴木瞭太他、70 歳以上の高齢 OPLL は肝線維化が進行するリスクが高い —頸椎症脊髄症との比較—. 第 95 回日本整形外科学術総会 神戸 2022
151. 中鉢和把他、腰椎黄色靭帯骨化症の重症化には全脊椎靭帯の骨化傾向が関連する —無症候性被験者 622 名の横断的研究—. 第 95 回日本整形外科学術総会 神戸 2022
152. 遠藤努他、脂質異常症と脊柱靭帯骨化症の発症との強い関連性について. 第 37 回日本整形外科学術基礎学術集会 宮崎 2022
153. 小池良直他、脊柱後縦靭帯骨化症の新規遺伝子領域の発見と肥満との因果関係. 第 37 回日本整形外科学術基礎学術集会 宮崎 2022
154. 藤田諒他、後縦靭帯骨化症患者は全身の骨密度が上昇している ～非靭帯骨化症患者 226 人との比較研究～. 139 回中部日本整形外科災害学会・学術集会 大阪 2022
155. 中鉢和把他、腰椎黄色靭帯骨化症の重症化には全脊椎靭帯の骨化傾向が関連する —無症候性被験者 622 名の横断的研究—. 第 141 回北海道整形災害外科学会 札幌 2022
156. 第 141 回北海道整形災害外科学会 札幌 2022
157. 遠藤努他、脂質異常症と脊柱靭帯骨化症の発症との強い関連性について. 第 141 回北海道整形災害外科学会 札幌 2022
158. 藤田諒他、腰椎黄色靭帯骨化の重症化には全脊椎靭帯の骨化傾向が関連する —無症候性被験者 622 名の横断的研究—. 第 141 回北海道整形災害外科学会 札幌 2022
159. 勝見敬一、山崎昭義、溝内龍樹、佐藤雅之、関本浩之. 腰椎後縦靭帯骨化症術後の骨化巣体積変化. 2022 年 8 月 第 15 回 Summer Forum for Practical Spinal Surgery で発表。
160. 勝見敬一、渡辺慶、平野徹、大橋正幸、溝内龍樹、渋谷洋平、川島寛之. 後縦靭帯骨化症の骨化進展を反映する骨代謝バイオマーカーの検討. 2022 年 11 月 令和 4 年度第二回 OPLL 班会議で発表。
161. 和田簡一郎、松山幸弘、今釜史郎、安藤圭、小林和克、川端茂徳、岩崎博、船場真裕、山田圭、藤原靖、重松英樹、谷口慎一郎、安藤宗治、高橋雅人、吉田剛、後迫宏紀、田所伸朗. 術中経頭蓋電気刺激筋誘発電位からみる頸椎前方固定術と後方固定術の神経合併症リスクの比較—日本脊椎脊髄病学会モニタリングワーキンググループ多施設前

- 向き研究一. 第 50 回日本臨床神経生理学会 (2022、京都 web)
162. 中嶋秀明、渡邊修司、本定和也、窪田有咲、竹浦直人、松峯昭彦. 脊椎関連慢性神経障害性疼痛の臨床的特徴と症状別薬剤選択. 第 51 回日本脊椎脊髄病学会
 163. 池川志郎. 基礎からの運動器ゲノム学. JOSKAS2022. 2022 年 6 月 16 日. 札幌コンベンションセンター
 164. 山崎正志. 医工連携から展開する新しい腰痛診療—臨床運動解析およびロボットリハビリテーションを中心に—. 第 29 回日本腰痛学会, 2021 年 10 月, ハイブリッド(東京), 口頭.
 165. 船山徹, 安部哲哉, 辰村正紀, 藤井賢吾, 奥脇駿, 柴尾洋介, 江藤文彦, 長嶋克弥, 三浦紘世, 野口裕史, 河野衛, 高橋宏, 國府田正雄, 山崎正志. 新鮮骨粗鬆症性椎体骨折に対する初期 2 週間の床上安静を用いた保存治療による椎体圧潰の進行予防効果と手術症例低減の可能性. 第 50 回日本脊椎脊髄病学会学術集会, 2021 年 4 月, 京都, 口頭.
 166. 船山徹, 井汲彰, 奥脇駿, 安部哲哉, 柴尾洋介, 野口裕史, 三浦紘世, 俣木健太郎, 河野衛, 江藤文彦, 高橋宏, 國府田正雄, 山崎正志. 骨粗鬆症性椎体骨折患者に対する保存治療における 2 週間の限定的な床上安静では廃用症候群の発生リスクは増加しない. 第 50 回日本脊椎脊髄病学会学術集会, 2021 年 4 月, 京都, 口頭.
 167. 三浦紘世, 門根秀樹, 朝田智之, 佐藤康介, 河野衛, 江藤文彦, 柴尾洋介, 俣木健太郎, 野口裕史, 高橋宏, 船山徹, 安部哲哉, 國府田正雄, 山崎正志. 成人脊柱変形において背筋群と大殿筋の脂肪変性が骨盤矢状面バランス悪化と関連する —三次元動作解析を用いた歩行解析—. 第 50 回日本脊椎脊髄病学会学術集会, 2021 年 4 月, 京都, 口頭.
 168. 柴尾洋介, 國府田正雄, 石川博, 朝田智之, 佐藤康介, 江藤文彦, 河野衛, 俣木健太郎, 三浦紘世, 野口裕史, 高橋宏, 船山徹, 安部哲哉, 山崎正志. ヒト歯周組織由来間葉系幹細胞から作成した軸索様神経束の移植による脊髄再生促進. 第 50 回日本脊椎脊髄病学会学術集会, 2021 年 4 月, 京都, 口頭.
 169. 國府田正雄, 安部哲哉, 船山徹, 高橋宏, 野口裕史, 三浦紘世, 俣木健太郎, 柴尾洋介, 江藤文彦, 河野衛, 佐藤康介, 朝田智之, 古矢丈雄, 牧聡, 山崎正志. 「とりあえずラミプラ」の罪. 第 50 回日本脊椎脊髄病学会学術集会, 2021 年 4 月, 京都, 口頭.
 170. 三浦紘世, 朝田智之, 佐藤康介, 河野衛, 江藤文彦, 柴尾洋介, 俣木健太郎, 野口裕史, 高橋宏, 船山徹, 安部哲哉, 國府田正雄, 山崎正志. Surgical Apgar Score は高齢者頸椎術後の主要合併症予測因子となりうる. 第 50 回日本脊椎脊髄病学会学術集会, 2021 年 4 月, 京都.
 171. 三浦紘世, 門根秀樹, 朝田智之, 佐藤康介, 河野衛, 江藤文彦, 俣木健太郎, 野口裕史, 高橋宏, 船山徹, 安部哲哉, 國府田正雄, 山崎正志. 首下がり症候群に対する三次元動作解析を用いた脊柱骨盤バランスの歩行時動的評価と静的アライメントとの関連. 第 50 回日本脊椎脊髄病学会学術集会, 2021 年 4 月, 京都, 口頭.

172. 三浦正敬, 牧聡, 三浦紘世, 高橋宏, 宮城正行, 井上玄, 村田寿馬, 小西隆允, 古矢丈雄, 大鳥精司, 山崎正志. 人工知能を用いた頸椎単純 X 線像に基づく頸椎後縦靱帯骨化症, 頸椎症, 正常例の鑑別診断. 第 50 回日本脊椎脊髄病学会学術集会, 2021 年 4 月, 京都, 口頭.
173. 江藤文彦, 安部哲哉, 柴尾洋介, 朝田智之, 佐藤康介, 河野衛, 俣木健太郎, 三浦紘世, 野口裕史, 高橋宏, 船山徹, 國府田正雄, 山崎正志. 長範囲脊椎固定術後のロッド折損の特徴と対策. 第 50 回日本脊椎脊髄病学会学術集会, 2021 年 4 月, 京都, 口頭.
174. 俣木健太郎, 朝田智之, 佐藤康介, 河野衛, 江藤文彦, 柴尾洋介, 三浦紘世, 野口裕史, 高橋宏, 船山徹, 安部哲哉, 國府田正雄, 山崎正志. トモシンセシスを使用した脊椎椎弓根スクリューのゆるみの新たな定量的評価法の開発. 第 50 回日本脊椎脊髄病学会学術集会, 2021 年 4 月, 京都, 口頭.
175. 河野衛, 船山徹, 朝田智之, 佐藤康介, 江藤文彦, 柴尾洋介, 俣木健太郎, 三浦紘世, 野口裕史, 安部哲哉, 高橋宏, 國府田正雄, 山崎正志. 脊髄造影検査後における一過性脊髄麻痺に関する検討. 第 50 回日本脊椎脊髄病学会学術集会, 2021 年 4 月, 京都, ポスター発表.
176. 蒲田久典, 船山徹, 山路晃啓, 奥脇駿, 桂健生, 朝田智之, 伊澤成郎, 熊谷洋, 藤井賢吾, 天野国明, 椎名逸雄, 辰村正紀, 上杉雅文, 國府田正雄, 中川司, 山崎正志. 胸腰椎化膿性脊椎炎に対する低侵襲後方インストゥルメンテーションの有用性と限界. 第 50 回日本脊椎脊髄病学会学術集会, 2021 年 4 月, 京都, 口頭.
177. 辰村正紀, 長島克弥, 江藤文彦, 柘植弘光, 岡本千尋, 船山徹, 山崎正志. 腰椎棘突起縦割展開後の閉創時棘突起還納縫着法における術後の編成の進行. 第 50 回日本脊椎脊髄病学会学術集会, 2021 年 4 月, 京都, 口頭.
178. 井上玄, 海渡貴司, 松山幸弘, 山下敏彦, 川上守, 高橋和久, 吉田宗人, 今釜史郎, 大鳥精司, 田口敏彦, 波呂浩孝, 種市洋, 山崎正志, 西田康太郎, 山田宏, 加葉田大志朗, 新谷歩, 岩崎幹季, 伊東学, 宮腰尚久, 村上英樹, 米延策雄, 田倉智之, 持田譲治. 慢性腰痛症に対する各種薬物療法の有効性の比較—全国多施設共同研究—. 第 50 回日本脊椎脊髄病学会学術集会, 2021 年 4 月, 京都, 口頭.
179. 岡本千尋, 辰村正紀, 長島克弥, 江藤文彦, 柘植弘光, 船山徹, 山崎正志. 腰椎変性側弯症の凹凸変形が側方椎体間固定術(LIF)後骨癒合に及ぼす影響. 第 50 回日本脊椎脊髄病学会学術集会, 2021 年 4 月, 京都, 口頭.
180. 長島克弥, 辰村正紀, 柘植弘光, 岡本千尋, 江藤文彦, 船山徹, 山崎正志. 骨粗鬆症性椎体骨折後偽関節に対する LIF corpectomy の手術成績. 第 50 回日本脊椎脊髄病学会学術集会, 2021 年 4 月, 京都.
181. 小西宏昭, 馬場秀夫, 山崎正志, 藤由崇之, 古矢丈雄. 頸椎 OPLL の手術選択指標としての K-line の意義. 第 50 回日本脊椎脊髄病学会学術集会, 2021 年 4 月, 京都, 口頭.
182. 柘植弘光, 辰村正紀, 蒲田久典, 岡本千尋, 長島克弥, 江藤文彦, 船山徹, 山崎正志.

発育期第4腰椎分離症に対する保存療法における癒合率. 第50回日本脊椎脊髄病学会学術集会, 2021年4月, 京都.

183. 辰村正紀, 蒲田久典, 奥脇駿, 江藤文彦, 長島克弥, 柘植弘光, 岡本千尋, 船山徹, 山崎正志. 保存療法を導入した腰椎分離症において骨髄浮腫消失までに長期間を要した症例の特徴. 第50回日本脊椎脊髄病学会学術集会, 2021年4月, 京都, 口頭.
184. 蒲田久典, 辰村正紀, 奥脇駿, 江藤文彦, 山崎正志. 多変量解析による腰椎分離症の骨癒合率を予測するスコアリング. 第50回日本脊椎脊髄病学会学術集会, 2021年4月, 京都, 口頭.
185. 藤由崇之, 宮本卓弥, 牧聡, 古矢丈雄, 大鳥精司, 國府田正雄, 山崎正志, 小西宏昭. K-line から Dynamic K-line へー新たな術式選択ー. 第50回日本脊椎脊髄病学会学術集会, 2021年4月, 京都, 口頭.
186. 角南貴大, 小谷俊明, 青木保親, 佐久間毅, 中山敬太, 飯島靖, 赤沢努, 南昌平, 大鳥精司, 山崎正志. 腰椎前弯が 56.5°以上ある思春期特発性側弯症患者は腰椎分離症の合併の存在に留意すべきである. 第50回日本脊椎脊髄病学会学術集会, 2021年4月, 京都, 口頭.
187. 奥脇駿, 船山徹, 井汲彰, 松浦智史, 河村春夫, 山崎正志. 骨粗鬆症性椎体骨折の受傷時椎体不安定性と骨密度および体幹筋断面積の関係. 第50回日本脊椎脊髄病学会学術集会, 2021年4月, 京都, 口頭.
188. 猪股兼人, 竹内陽介, 会田育男, 辰村正紀, 天野国明, 江藤文彦, 山崎正志. 感染性脊椎炎における局所検体採取の重要性. 第50回日本脊椎脊髄病学会学術集会, 2021年4月, 京都, 口頭.
189. 熊谷洋, 船山徹, 佐藤康介, 野口裕史, 國府田正雄, 山崎正志. 配向連通孔構造を有する β -リン酸三カルシウム人工骨を用いた側方腰椎椎体間固定術における椎体間骨癒合の検討. . 第50回日本脊椎脊髄病学会学術集会, 2021年4月, 京都, 口頭.
190. 嶋田博人, 木下英幸, 塚西敏則, 米本司, 萩原洋子, 山崎正志, 大鳥精司. 脊椎転移手術後早期死亡例の検討. 第50回日本脊椎脊髄病学会学術集会, 2021年4月, 京都, 口頭.
191. 古矢丈雄, 牧聡, 沖松翔, 井上嵩基, 弓手惇史, 三浦正敬, 金勤東, 志賀康浩, 稲毛一秀, 折田純久, 江口和, 國府田正雄, 山崎正志, 大鳥精司. 頰椎後方固定術後のインストゥルメンテーション折損について. 第50回日本脊椎脊髄病学会学術集会, 2021年4月, 京都, ポスター発表.
192. 牧聡, 新靱正明, 古矢丈雄, 志賀康浩, 稲毛一秀, 折田純久, 江口和, 國府田正雄, 大鳥精司, 山崎正志. 多施設, 複数術者による前方椎弓根スクリューを用いた頰椎前方除圧固定術の中・長期臨床成績. 第94回日本整形外科学会学術総会, 2021年5月, 東京, 口頭.
193. 坂下孝太郎, 柴橋慶多, 向畑智仁, 松山善之, 小曾根英, 三浦紘世, 船山徹, 安部哲

- 哉，國府田正雄，濱邊祐一，大鳥精司，山崎正志．胸郭骨折を合併する胸椎骨折の臨床像の特徴．第 94 回日本整形外科学会学術総会，2021 年 5 月，ハイブリッド(東京)，口頭．
194. 高橋宏，齊藤淳哉，青木保親，中島新，安部哲哉，船山徹，野口裕史，三浦紘世，國府田正雄，中川晃一，大鳥精司，山崎正志．腰椎 TLIF における cage 脱転対策としての titanium coated PEEK cage の有用性－従来型 PEEK cage の手術成績との比較検討－．第 94 回日本整形外科学会学術総会，2021 年 5 月，ハイブリッド（東京），ポスター発表．
195. 三浦紘世，門根秀樹，河野衛，江藤文彦，柴尾洋介，俣木健太郎，野口裕史，高橋宏，船山徹，安部哲哉，國府田正雄，山崎正志．首下がり症候群に対する三次元動作解析を用いた脊椎バランスの歩行時動的評価と静的アライメントとの関連．第 94 回日本整形外科学会学術総会，2021 年 5 月，ハイブリッド（東京），口頭．
196. 三浦正敬，牧聡，三浦紘世，高橋宏，宮城正行，村田寿馬，高松太郎，遠藤健司，古矢丈雄，大鳥精司，山崎正志．深層学習による頸椎単純 X 線像に基づく頸椎後縦靭帯骨化症と頸椎症の鑑別診断．第 94 回日本整形外科学会学術総会，2021 年 5 月，ハイブリッド（東京），口頭．
197. 三浦紘世，門根秀樹，河野衛，江藤文彦，柴尾洋介，俣木健太郎，野口裕史，高橋宏，船山徹，安部哲哉，國府田正雄，山崎正志．成人脊柱変形において背筋群と大殿筋の脂肪変性が脊柱骨盤矢状面バランスの悪化と関連する－三次元動作解析を用いた歩行解析－．第 94 回日本整形外科学会学術総会，2021 年 5 月，ハイブリッド（東京），口頭．
198. 三浦紘世，佐藤康介，河野衛，江藤文彦，柴尾洋介，俣木健太郎，野口裕史，高橋宏，船山徹，安部哲哉，國府田正雄，山崎正志．Surgical Apgar Score は高齢者頸椎術後の主要合併症予測因子となりうる．第 94 回日本整形外科学会学術総会，2021 年 5 月，ハイブリッド（東京），口頭．
199. 船山徹，安部哲哉，野口裕史，三浦紘世，俣木健太郎，柴尾洋介，江藤文彦，河野衛，高橋宏，國府田正雄，山崎正志．骨粗鬆症性椎体骨折に対する椎体形成併用低侵襲後方固定術における術前の脊椎不安定性を指標にした術後の矯正損失量予測．第 94 回日本整形外科学会学術総会，2021 年 5 月，ハイブリッド（東京），口頭．
200. 俣木健太郎，原友紀，野口裕史，岡野英里子，長島克弥，柴尾洋介，三浦紘世，高橋宏，船山徹，安部哲哉，國府田正雄，山崎正志．トモシンセシスを使用した脊椎椎弓根スクリューの緩みの新たな定量的評価法の開発．第 94 回日本整形外科学会学術総会，2021 年 5 月，ハイブリッド（東京），ポスター発表．
201. 河野衛，三浦紘世，朝田智之，佐藤康介，江藤文彦，柴尾洋介，野口裕史，高橋宏，船山徹，國府田正雄，山崎正志．胸椎椎体骨折に合併した食道穿孔により遅発性に化膿性脊椎炎を発症し両下肢麻痺を呈した一例．第 30 回日本脊椎インストゥルメンテーション学会，2021 年 10 月，ハイブリッド（名古屋），口頭．
202. 朝田智之，三浦紘世，門根秀樹，國府田正雄，佐藤康介，柴尾洋介，野口裕史，高橋

- 宏, 船山徹, 山崎正志. 歩行による胸椎矢状面アライメントの悪化は PJK のリスク因子となりうる. 第 30 回日本脊椎インストゥルメンテーション学会, 2021 年 10 月, ハイブリッド (名古屋), 口頭.
203. 江藤文彦, 朝田智之, 佐藤康介, 河野衛, 柴尾洋介, 三浦紘世, 野口裕史, 高橋宏, 船山徹, 國府田正雄, 山崎正志. 長範囲脊椎固定術後におけるロッド折損の特徴と予防. 第 30 回日本脊椎インストゥルメンテーション学会, 2021 年 10 月, ハイブリッド (名古屋), 口頭.
204. 高橋宏, 國府田正雄, 船山徹, 野口裕史, 三浦紘世, 柴尾洋介, 江藤文彦, 河野衛, 佐藤康介, 朝田智之, 山崎正志. 脊椎固定術後手術部位感染に対する continuous local antibiotic perfusion (CLAP). 第 30 回日本脊椎インストゥルメンテーション学会, 2021 年 10 月, ハイブリッド (名古屋), 口頭.
205. 松永知也, 高橋宏, 國府田正雄, 船山徹, 野口裕史, 三浦紘世, 柴尾洋介, 江藤文彦, 河野衛, 佐藤康介, 山崎正志. アテトーゼ型脳性麻痺患者に対する後頭骨頸椎後方固定術後早期に生じた環椎前弓骨折の 1 例. 第 30 回日本脊椎インストゥルメンテーション学会, 2021 年 10 月, ハイブリッド (名古屋), 口頭.
206. 三浦紘世, 朝田智之, 佐藤康介, 河野衛, 江藤文彦, 柴尾洋介, 野口裕史, 高橋宏, 船山徹, 國府田正雄, 山崎正志. 術前の栄養障害は頸髄症の術後主要合併症の発生と関連する一傾向スコアマッチングを用いた解析. 第 30 回日本脊椎インストゥルメンテーション学会, 2021 年 10 月, ハイブリッド (名古屋), 口頭.
207. 柴尾洋介, 三浦紘世, 朝田智之, 佐藤康介, 河野衛, 江藤文彦, 野口裕史, 高橋宏, 船山徹, 國府田正雄, 山崎正志. 胸椎術後合併症の予測因子としての Surgical Apgar Score は有用である. 第 30 回日本脊椎インストゥルメンテーション学会, 2021 年 10 月, ハイブリッド (名古屋), 口頭.
208. 佐藤康介, 國府田正雄, 朝田智之, 河野衛, 江藤文彦, 柴尾洋介, 三浦紘世, 野口裕史, 高橋宏, 船山徹, 山崎正志. 矢状面アライメント不良では代償による頸椎前弯保持のため頸椎傍脊柱筋群サイズが増大する. 第 30 回日本脊椎インストゥルメンテーション学会, 2021 年 10 月, ハイブリッド (名古屋), 口頭.
209. 蒲田久典, 朝田智之, 江藤文彦, 河野衛, 柴尾洋介, 三浦紘世, 野口裕史, 高橋宏, 船山徹, 國府田正雄, 山崎正志. 脆弱性 H 型仙骨骨折に対する Sacroiliac rod fixation の有用性. 第 94 回日本整形外科学会学術総会, 第 30 回日本脊椎インストゥルメンテーション学会, 2021 年 10 月, ハイブリッド (名古屋), 口頭.
210. 蒲田久典, 椎名逸雄, 朝田智之, 柴尾洋介, 三浦紘世, 野口裕史, 高橋宏, 船山徹, 國府田正雄, 山崎正志. Penetrating Endplate Screw を Double にするためのスクリー長と頭側振り角. 第 94 回日本整形外科学会学術総会, 第 30 回日本脊椎インストゥルメンテーション学会, 2021 年 10 月, ハイブリッド (名古屋), 口頭.
211. 野口裕史, 國府田正雄, 佐藤雅, 柴尾洋介, 河野衛, 江藤文彦, 朝田智之, 三浦紘世,

- 高橋宏, 船山徹, 山崎正志. 椎弓形成術後に後弯変形が進行し椎間関節脱臼をきたした1例. 第30回日本脊椎インストゥルメンテーション学会, 2021年10月, ハイブリッド(名古屋), ポスター発表.
212. 奥脇駿, 船山徹, 江藤文彦, 藤井賢吾, 柴尾洋介, 野口裕史, 三浦紘世, 高橋宏, 國府田正雄, 山崎正志. 脊椎長範囲固定術後のL5-S1高位ロッド折損に続発したL5椎体insufficiency fractureの1例. 第30回日本脊椎インストゥルメンテーション学会, 2021年10月, ハイブリッド(名古屋), ポスター発表.
213. 椎名逸雄, 水町隆雄, 猪俣兼人, 蒲田久典, 朝田智之, 高橋宏, 國府田正雄, 山崎正志. チタンプラズマ溶射PEEKケージを用いたスタンドアローンACDF術後成績の画像的検討. 第30回日本脊椎インストゥルメンテーション学会, 2021年10月, ハイブリッド(名古屋), ポスター発表.
214. 船山徹, 三浦紘世, 蒲田久典, 俣木健太郎, 清水知明, 野口裕史, 柴尾洋介, 高橋宏, 國府田正雄, 山崎正志. 腰椎終板中央部の著しい脆弱性陥没を有する椎間に対する側方椎体間固定を用いた単椎間一期的前後合併固定術の試み. 第30回日本脊椎インストゥルメンテーション学会, 2021年10月, ハイブリッド(名古屋), 口頭.
215. 三浦紘世, 柴尾洋介, 野口裕史, 高橋宏, 船山徹, 國府田正雄, 山崎正志. HAL腰タイプを用いた青壮年の職業性腰痛予防から高齢者のロコモ予防への応用までの取り組み. 第29回日本腰痛学会, 2021年10月, ハイブリッド(東京), 口頭.
216. 高橋宏, 齊藤淳哉, 青木保親, 井上雅寛, 中島新, 園部正人, 船山徹, 國府田正雄, 大鳥精司, 山崎正志, 中川晃一. 腰椎椎間板ヘルニア治療介入前後での血中酸化ストレスマーカーの経時的变化〜コンドリナーゼ注入療法と手術の比較〜. 第36回日本整形外科学会基礎学術集会, 2021年10月, ハイブリッド(伊勢), 口頭.
217. 柴尾洋介, 國府田正雄, 石川博, 河野衛, 江藤文彦, 俣木健太郎, 三浦紘世, 野口裕史, 高橋宏, 船山徹, 山崎正志. ヒト歯周組織由来間葉系幹細胞から作製した軸索様神経束のラットへの移植による脊髄再生促進. 第36回日本整形外科学会基礎学術集会, 2021年10月, ハイブリッド(伊勢), 口頭.
218. 三浦紘世, 朝田智之, 門根秀樹, 河野衛, 江藤文彦, 柴尾洋介, 野口裕史, 高橋宏, 船山徹, 國府田正雄, 山崎正志. 背筋群と大殿筋の脂肪変性が歩行時の脊柱骨盤矢状面バランスの悪化と関連する一成人脊柱変形に対する三次元動作解析一. 第36回日本整形外科学会基礎学術集会, 2021年10月, ハイブリッド(伊勢), 口頭.
219. 三浦紘世, 朝田智之, 門根秀樹, 河野衛, 江藤文彦, 柴尾洋介, 野口裕史, 高橋宏, 船山徹, 國府田正雄, 山崎正志. 首下がり症候群における歩行時の脊椎矢状面バランス変化と静的アライメントとの関連一三次元動作解析を用いた歩行解析一. 第36回日本整形外科学会基礎学術集会, 2021年10月, ハイブリッド(伊勢), 口頭.
220. 朝田智之, 三浦紘世, 門根秀樹, 國府田正雄, 河野衛, 江藤文彦, 柴尾洋介, 野口裕史, 高橋宏, 船山徹, 山崎正志. 術前歩行中の胸椎矢状面アライメント不良の悪化は

proximal junctional kyphosis のリスク因子となりうる。第 36 回日本整形外科学会基礎学術集会, 2021 年 10 月, ハイブリッド (伊勢), 口頭.

221. 江藤文彦, 辰村正紀, 長島克弥, 俣木健太郎, 三浦紘世, 野口裕史, 高橋宏, 船山徹, 國府田正雄, 山崎正志. 第 1 仙椎潜在性二分脊椎が第 5 腰椎分離症の発症に及ぼす影響. 第 36 回日本整形外科学会基礎学術集会, 2021 年 10 月, ハイブリッド (伊勢), 口頭.
222. 三浦紘世, 朝田智之, 佐藤康介, 河野衛, 江藤文彦, 柴尾洋介, 野口裕史, 高橋宏, 船山徹, 國府田正雄, 山崎正志. 高齢者頸椎術後主要合併症の予測因子として surgical Apgar score は有用である. 第 36 回日本整形外科学会基礎学術集会, 2021 年 10 月, ハイブリッド (伊勢), 口頭.
223. 名越慈人, 吉井俊貴, 國府田 正雄, 古矢丈雄, 木村 敦, 中島宏彰, 勝見敬一, 和田 簡一郎, 平井高志, 竹下克志, 渡邊航太, 松本守雄, 大川 淳, 山崎正志, 今釜史郎: 頸椎後縦靭帯骨化症に対する椎弓形成術 —多施設前向き研究による片開き式と両開き式の比較—. 第 50 回日本脊椎脊髄病学会学術集会(2021 年 4 月 22 日-24 日 京都、オンライン)
224. 岡田拓之, 鈴木悟士, 海苔 聡, 辻 収彦, 名越慈人, 岡田 英次朗, 八木 満, 中村雅也, 松本守雄, 渡邊航太: 後縦靭帯骨化症手術例における傍脊柱筋の検討 —正常例との比較—. 第 50 回日本脊椎脊髄病学会学術集会(2021 年 4 月 22 日-24 日 京都、オンライン)
225. 名越慈人, 渡邊航太, 中村雅也, 松本守雄, Nan Li, Da He, Sai Ma, Wei Tian, Hyeongseok Jeon, JJ Lee, Keung Kim, Yoon Ha, Kenny Kwan, AKP Cheung: 糖尿病は頸椎後縦靭帯骨化症の手術成績に影響を与えるか? —アジア多施設研究—. 第 50 回日本脊椎脊髄病学会学術集会(2021 年 4 月 22 日-24 日 京都、オンライン)
226. 岩崎幹季. 胸腰椎疾患の神経学的診断—診察所見と高位診断のポイント—. 第 50 回日本脊椎脊髄病学会 (2021 年 4 月京都)
227. 武中章太, 牧野孝洋, 蟹江祐哉, 他. 多施設脊椎手術データベースにおける再手術症例の動向—大阪脊椎脊髄グループデータベース 2021—. 第 50 回日本脊椎脊髄病学会 (2021 年 4 月京都)
228. 右近裕一郎, 武中章太, 牧野孝洋他, 大阪脊椎脊髄グループ. 化膿性脊椎炎術後合併症の予測スコアリング式の策定—多施設データベース研究—. 第 50 回日本脊椎脊髄病学会 (2021 年 4 月京都)
229. 松本富哉, 奥田真也, 長本行隆, 他. 頸椎人工椎間板置換術の使用経験と短期成績. 第 50 回日本脊椎脊髄病学会 (2021 年 4 月京都)
230. 長本行隆, 岩崎幹季, 奥田真也, 他. 占拠率 50%以上の頸椎 OPLL に対する前方固定術+椎弓形成術—椎弓形成術との比較—. 第 50 回日本脊椎脊髄病学会 (2021 年 4 月京都)

231. 岩崎幹季. 腰椎椎間板ヘルニアにおける椎間板内酵素注入療法の勘所—適正な患者選択と治療成績—. 第 50 回日本脊椎脊髄病学会 (2021 年 4 月京都)
232. 井上 玄、海渡貴司、松山幸弘、他. 慢性腰痛症に対する各種薬物療法の有効性の比較—全国多施設共同研究—. 第 50 回日本脊椎脊髄病学会 (2021 年 4 月京都)
233. 高橋佳史、奥田真也、長本行隆、他. PLIF 固定椎間の局所前弯角減少の危険因子—術前局所前弯の強い椎間には hyper wedge cage を使用すべきである—. 第 50 回日本脊椎脊髄病学会 (2021 年 4 月京都)
234. 高橋佳史、松本富哉、奥田真也、他. 腰部脊柱管狭窄症に対する椎弓切除術と顕微鏡視下片側進入両側除圧術の比較. 第 50 回日本脊椎脊髄病学会 (2021 年 4 月京都)
235. 古家雅之、奥田真也、長本行隆、他. Tandem Spinal Stenosis による複数回脊椎手術—単一施設 4687 例の data base study—. 第 50 回日本脊椎脊髄病学会 (2021 年 4 月京都)
236. 長本行隆、奥田真也、松本富哉、他. 当院 24 年間のデータベースを用いた腰椎再手術に関する検討. 第 50 回日本脊椎脊髄病学会 (2021 年 4 月京都)
237. 吉井 俊貴, 江川 聡, 平井 高志, 國府田 正雄, 古矢 丈雄, 名越 慈人, 中島 宏彰, 坂井 顕一郎, 川口 善治, 竹下 克志, 松本 守雄, 今釜 史郎, 山崎 正志, 大川 淳. 糖尿病が頸椎後縦靭帯骨化症の手術成績に与える影響 AMED・厚労科研研究班 多施設前向き調査. 木村 敦(自治医科大学 整形), 第 50 回日本脊椎脊髄病学会, 京都, 2021 年 4 月 22 日.
238. 吉田剛 長谷川智彦 大和雄 安田達也 坂野友啓 有馬秀幸 大江慎 後迫宏紀 井出浩一郎 渡邊悠 山田智裕 松山幸弘 胸椎後縦靭帯骨化症に対する選択的血管造影を用いた前脊髄動脈評価 第 50 回日本脊椎脊髄病学会 2021 年 4 月 22 日~24 日 京都
239. 和田簡一郎、松山幸弘、今釜史郎、安藤圭、小林和克、川端茂徳、岩崎博、船場真裕、山田圭、藤原靖、重松英樹、谷口慎一郎、安藤宗治、高橋雅人、吉田剛、後迫宏紀、田所伸朗、森戸伸治、山本直也、安田明正、橋本淳、高谷恒範、谷俊一、熊谷玄太郎、田中直、浅利享、石橋恭之 頸椎前方固定術と後方固定術における術中経頭蓋電気刺激筋誘発電位の比較—日本脊椎脊髄病学会モニタリングワーキンググループ多施設前向き研究— 第 50 回日本脊椎脊髄病学会 2021 年 4 月 22 日~24 日 京都
240. 後迫宏紀, 吉田 剛, 今釜史郎, 小林和克, 安藤宗治, 谷口慎一郎, 岩崎 博, 川端茂徳, 山田 圭, 藤原 靖, 和田簡一郎, 高橋雅人, 山本直也, 寒竹 司, 田所伸朗, 松山幸弘 脊髄内および髄外腫瘍手術に対する経頭蓋電気刺激筋誘発電位の有用性 日本脊椎脊髄病学会モニタリングワーキンググループ多施設前向き研究 第 50 回日本脊椎脊髄病学会学術集会 2021 年 4 月 22-24 日 京都市
241. 後迫宏紀, 吉田 剛, 今釜史郎, 安藤宗治, 谷口慎一郎, 岩崎 博, 川端茂徳, 山田 圭, 藤原 靖, 和田簡一郎, 高橋雅人, 山本直也, 寒竹 司, 田所伸朗, 重松英樹, 船場真裕, 安田明正, 松山幸弘 脊髄内および髄外腫瘍手術における術中 MEP アラートの特徴-日本

脊椎脊髄病学会モニタリングワーキンググループ多施設前向き研究- 第 43 回日本脊髄機能診断学会 2022 年 2 月 5 日 牧方市

242. 吉田剛 安藤宗治 小林和克 船場真裕 森戸伸治 高橋雅人 川端 茂徳 山田圭 寒竹司 藤原靖 谷口慎一郎 岩崎博 田所伸朗 和田簡一郎 山本直也 安田明正 後迫宏紀 橋本淳 谷俊一 安藤圭 松山幸弘 今釜史郎 胸椎後縦靱帯骨化症手術における脊髄モニタリングを用いた術中神経障害の予防 体位変換前後の電位に注目して —JSSR モニタリング WG 多施設研究— 第 43 回日本脊髄機能診断学会 2022 年 2 月 5 日
243. 第 43 回日本脊髄機能診断学会 2022 年 2 月 5 日 重松 英樹 安藤 宗治 小林 和克 吉田 剛 船場 真裕 森戸 伸治 高橋雅人 川端 茂徳 山田 圭 寒竹 司 藤原 靖 谷口 慎一郎 岩崎 博 田所 伸朗 和田 簡一郎 山本 直也 安田 明正 後迫 宏紀 橋本 淳 谷 俊一 安藤 圭 松山 幸弘 今釜 史郎 ハイリスク脊椎手術における経頭蓋刺激運動誘発電位に組み合わせる D-wave モニタリングの有効性：日本脊椎脊髄病学会モニタリング WG 多施設共同研究
244. 船場 真裕 寒竹 司 小林 和克 町野 正明 安藤 圭 吉田 剛 安藤 宗治 川端 茂徳 山田 圭 藤原 靖 谷口 慎一郎 岩崎 博 高橋 雅人 重松 英樹 田所 伸朗 和田 簡一郎 山本 直也 安田 明正 後迫 宏紀 橋本 淳 森戸 伸治 高谷 恒範 松山 幸弘 今釜 史郎 術前高度筋力低下症例は Tc-MEP によるモニタリングの有用性が向上する~頸椎疾患 2476 例からの日本脊椎脊髄病学会モニタリング委員会多施設前向き研究~ 第 43 回日本脊髄機能診断学会 2022 年 2 月 5 日 ハイブリッド開催
245. 町野正明、小林和克、今釜史郎、安藤圭、吉田剛、川端茂徳、寒竹司、田所伸朗、山田圭、高橋雅人、谷口慎一郎、山本直也、和田簡一郎、藤原 靖、船場真裕、重松英樹、岩崎 博、橋本 淳、後迫宏紀、森戸伸治、安田明正、高谷恒範、安藤宗治、松山幸弘 胸椎 OPLL および脊髄腫瘍症例を含む高リスク脊椎手術における Tc-MEPs 波形導出不良例の検討—日本脊椎脊髄病学会 多施設前向き研究— (シンポジウム) 第 51 回日本臨床神経生理学会学術大会 2021 年 12 月 16 日 (木) -18 日 (土) 仙台
246. 菅野晴夫ほか. 胸椎 OPLL に対する弯曲型ドリルと T-saw を用いた新たな後方進入前方除圧 —安全・確実な除圧が術後の麻痺悪化を回避し早期離床を可能にする-第 50 回日本脊椎脊髄病学会. 京都, 2021.
247. 大門憲史, 船尾陽生, 出浦健太郎, 山之内健人, 磯貝宜広, 笹生豊, 西山誠, 江幡重人, 石井賢. DASH (Disability of the Arm, Shoulder, and Hand) は頸椎疾患に対する手術治療成績の評価に有用か? 第 50 回日本脊椎脊髄病学会学術集会(2021 年 4 月 22 日-24 日 国立京都国際会館 ハイブリッド開催)
248. 大伴直央, 船尾陽生, 出浦健太郎, 磯貝宜広, 加藤修三, 笹生豊, 江幡重人, 石井賢.

DASH(Disability of the Arm, Shoulder, and Hand)は頰椎椎間板ヘルニアによる上肢機能障害の評価に有用である。第 11 回最小侵襲脊髄治療学会 (2021 年 10 月 29 日-30 日 東京, ハイブリッド開催)

249. 藤田成人, 山之内健人, 磯貝宜広, 笹生豊, 江幡重人, 船尾陽生, 石井賢. 頰椎 OPLL に対して筋温存型正中縦割式脊柱管拡大術を第 2 頰椎に施行した 1 例. 第 11 回最小侵襲脊髄治療学会 (2021 年 10 月 29-30 日 東京 ハイブリッド開催)
250. 船尾陽生, 出浦健太郎, 大門憲史, 山之内健人, 磯貝宜広, 笹生豊, 西山誠, 江幡重人, 石井賢. 頰椎疾患における DASH を用いた上肢機能に関連した ADL 制限の解析 -DASH と既存評価法との相関はあるか?-。第 50 回日本脊髄病学会学術集会 (2021 年 4 月 22-24 日 国立京都国際会館 ハイブリッド開催) ポスターアワードセッション
251. 船尾陽生, 井川達也, 磯貝宜広, 笹生豊, 江幡重人, 石井賢. 頰髄症患者は先行随伴性姿勢調節機能の低下と歩幅の短縮化を起こす。第 11 回国際医療福祉大学学会学術大会 (2021 年 11 月 14 日 成田, ハイブリッド開催)
252. 第 50 回日本脊髄病学会 (2021)3-5-F99-2 胸椎後縦靱帯骨化症術後感染の危険因子
253. 今釜史郎 脊柱靱帯骨化症 厚生労働省班研究と診療ガイドラインの策定 第 141 回西日本整形・災害外科学会学術集会 (久留米市、web)、2021 年 5 月 29-30 日
254. 森 幹士、彌山峰史、北川誠大、西澤和也、中村 陽、今井晋二. 胸椎靱帯骨化症肥満症例の周術期合併症の検討 第 30 回日本脊髄インストゥルメンテーション学会 2021, 10, 1-2
255. 森幹士、彌山峰史、北川誠大、西澤和也、中村陽、今井晋二. 胸椎靱帯骨化症肥満症例の周術期合併症の検討 第 137 回中部日本整形外科災害外科学会・学術集会 2021, 10, 8-9
256. 齋藤英貴、彌山峰史、森 幹士、北川誠大、藤川ひとみ、熊谷康佑、西澤和也、今井晋二. 頰椎後縦靱帯骨化由来の培養細胞における IL-6 レセプターを介した骨代謝機構の変化 第 36 回日本整形外科学会基礎学術集会 2021, 10, 14-15
257. 船場 真裕, 今城 靖明, 鈴木 秀典, 永尾 祐治, 坂本 拓哉, 藤本 和弘, 坂井 孝司 Degenerative cervical myelopathy における神経学的所見と Kinematic CT ミエログラフィーを用いた画像所見の関連 日本脊髄病学会 2021
258. 勝見敬一, 渡辺慶, 平野徹, 渡辺慶, 山崎昭義, 大橋正幸, 溝内龍樹, 澤上公彦, 傳田博司, 石川裕也, 川島寛之. (シンポジウム) 圧迫性頰髄症に対する後方除圧固定術の成績向上への試み: 多施設前向き研究. 2021 年 6 月 第 36 回 日本脊髄外科学会で発表。
259. 勝見敬一, 山崎昭義, 溝内龍樹, 佐藤雅之, 関本浩之, 若杉正嗣, 平野徹. びまん性特発性骨増殖症を伴う骨粗鬆症性椎体骨折の診断と治療のピットフォール. 2021 年 11 月 第 245 回新潟整形外科学会研究会で発表。
260. 勝見敬一, 山崎昭義, 溝内龍樹, 佐藤雅之, 関本浩之, 若杉正嗣, 平野徹. びまん性特発

性骨増殖症を有する骨粗鬆症性椎体骨折の治療：問題とその対策. 2022年1月 第15回東北 MIST 研究会で発表。

261. 牧聡, 吉井俊貴, 國府田正雄, 古矢丈雄, 木村敦, 名越慈人, 中島宏彰, 和田簡一郎, 坂井顕一郎, 平井高志, 安藤圭, 竹下克志, 松本守雄, 今釜史郎, 大川淳, 山崎正志. 新しい機械学習手法を用いた頤椎後縦靱帯骨化症の手術の予後予測モデルの構築—AMED・厚労科研研究班 多施設前向き研究— 第50回日本脊椎脊髄病学会学術集会 2021年4月22-24日 web / 国立京都国際会館 JSR 12(3): p 64, 2021
262. 井上嵩基, 古矢丈雄, 吉井俊貴, 國府田正雄, 木村敦, 名越慈人, 中島宏彰, 安藤圭, 平井高志, 江川聡, 和田簡一郎, 坂井顕一郎, 松本守雄, 今釜史郎, 大川淳, 山崎正志. 傾向スコアマッチングを用いた K-line (+) 頤椎後縦靱帯骨化症患者における前方除圧固定術と椎弓形成術の術後臨床成績の比較検討. 第50回日本脊椎脊髄病学会学術集会 2021年4月22-24日 web / 国立京都国際会館 JSR 12(3): p 247, 2021
263. 三浦正敬, 牧聡, 三浦紘世, 高橋宏, 宮城正行, 井上玄, 村田寿馬, 小西隆允, 古矢丈雄, 大鳥精司, 山崎正志. 人工知能を用いた頤椎単純 X 線像に基づく頤椎後縦靱帯骨化症, 頤椎症, 正常例の鑑別診断. 第50回日本脊椎脊髄病学会学術集会 2021年4月22-24日 web / 国立京都国際会館 JSR 12(3): p 313, 2021
264. 牧聡. 人工知能を用いた専門医レベルの脊椎脊髄疾患の画像診断. 第94回日本整形外科学会学術総会 2021年5月20-23日、東京国際フォーラム日展会誌 95(2):S8, 2021
265. 三浦正敬, 牧聡, 三浦紘世, 高橋宏, 宮城正行, 村田寿馬, 高松太一郎, 遠藤健司, 古矢丈雄, 大鳥精司, 山崎正志. 深層学習による頤椎単純 X 線像に基づく頤椎後縦靱帯骨化症と頤椎症の鑑別診断. 第94回日本整形外科学会学術総会 2021年5月20-23日、東京国際フォーラム 日展会誌 95(2):S119, 2021
266. 牧聡. 機械学習を用いた頤椎後縦靱帯骨化症の手術の予後予測モデルの構築- AMED・厚労科研研究班 多施設前向き研究 - 第3回日本メディカル AI 学会学術集会 2021年6月11-12日 web (抄録集 p.98)
267. 牧聡, 吉井俊貴, 古矢丈雄, 江川聡, 坂井顕一郎, 中川幸洋, 國府田正雄, 大鳥精司, 山崎正志, 大川淳. 機械学習を用いた頤椎後縦靱帯骨化症の手術の予後予測モデルの構築 -AMED・厚労科研研究班 多施設前向き研究-第30回日本脊椎インストゥルメンテーション学会 2021年10月1-2日 名古屋 (抄録集 p.119)
268. 古矢丈雄, 牧聡, 沖松翔, 井上嵩基, 弓手惇史, 三浦正敬, 白谷悠貴, 金勤東, 國府田正雄, 山崎正志, 大鳥精司. 頤椎後方インストゥルメンテーション固定の併用は頤部痛を改善するか? 第30回日本脊椎インストゥルメンテーション学会 2021年10月1-2日 名古屋 (抄録集 p.124)
269. 井上嵩基, 牧聡, 古矢丈雄, 吉井俊貴, 江川聡, 坂井顕一郎, 中川幸洋, 國府田正雄, 大鳥精司, 山崎正志, 大川淳. 傾向スコアマッチングを用いた K-line+頤椎後縦靱帯骨化症患者における前方除圧固定術と椎弓形成術の術後成績の比較検討. 第30回日本脊

椎インストゥルメンテーション学会 2021 年 10 月 1-2 日 名古屋 (抄録集 p.237)

270. 牧聡, 吉井俊貴, 古矢丈雄, 國府田正雄, 坂井頭一郎, 中川幸洋, 竹下克志, 松本守雄, 今釜史郎, 山崎正志, 大川淳. 新しい機械学習手法を用いた頤椎後縦靱帯骨化症の手術の予後予測モデルの構築 —AMED・厚労科研研究班 多施設前向き研究—第 36 回日本整形外科学会基礎学術集会 2021 年 10 月 14-15 日 三重 日整会誌 95(8)S1476, 2021
271. 三浦正敬, 牧聡, 古矢丈雄, 大鳥精司, 國府田正雄, 山崎正志. 頤椎単純 X 線像を用いた人工知能による頤椎後縦靱帯骨化症の自動診断. 第 56 回日本脊髄障害医学会 2021 年 11 月 18-19 日 web(栃木)抄録集 p.99
272. 井上嵩基, 牧聡, 古矢丈雄, 吉井俊貴, 山崎正志, 大川淳. 傾向スコアマッチングを用いた K-line (+) 頤椎後縦靱帯骨化症における前方除圧固定と椎弓形成の成績の比較. 第 56 回日本脊髄障害医学会 2021 年 11 月 18-19 日 web(栃木) 抄録集 p.121
273. 牧聡. 新しい機械学習手法を用いた頤椎後縦靱帯骨化症の手術の予後予測モデルの構築 - AMED・厚労科研研究班 多施設前向き研究. 第 24 回日本低侵襲脊椎外科学会学術集会 2021 年 11 月 25-26 日 ハイブリット開催(web・東京)
274. 中嶋秀明, 渡邊修司, 本定和也, 窪田有咲, 松峯昭彦. 腰椎に及ぶびまん性特発性骨増殖性症を伴った腰部脊柱管狭窄症に対する除圧単独手術の治療成績と再手術予防策. 第 50 回日本脊椎脊髄病学会学術集会 (2021.4) hybrid 開催
275. 中嶋秀明, 渡邊修司, 本定和也, 窪田有咲, 松峯昭彦. びまん性特発性骨増殖性症を伴った腰部脊柱管狭窄症の除圧単独手術の治療成績と再手術予防. 第 94 回日本整形外科学会学術集会 (2021.5) hybrid 開催
276. 戸口田淳也, 岡本健, 黒田隆, 芳賀信彦, 緒方徹, 鬼頭浩史, 三島健一, 中島康晴, 山本憲, 楠康代. 進行性骨化性線維異形成症に対する新規治療薬の開発. 第 39 回日本骨代謝学会. 2021.10.8-10 (神戸)
277. 鬼頭浩史, 三島健一, 松下雅樹, 神谷庸成, 金子浩史, 北村暁子, 澤村健太. 小児難治性運動器疾患に対する薬物アプローチ. 第 36 回日本整形外科学会基礎学術集会. 2021.10.14-15 (web)
278. 鬼頭浩史. 日常診療で注意すべき骨系統疾患. 第 3 回東海地区骨系統疾患研究会. 2022.2.26 (名古屋)
279. 骨関節疾患のゲノム解析: 現状と展望, 第 36 回日本整形外科学会基礎学術集会(教育研修講演), 2021.10.15, 三重県 (on line 講演)
280. 山崎正志: サイボーグ型ロボット HAL を用いた機能再生治療. 第 108 回日本泌尿器科学会総会, 2020 年 12 月, 神戸 (特別講演) 国内, 口頭.
281. 山崎正志: 医工連携による新たな運動器疾患治療法の開発: ロボットリハビリテーションを中心として. 第 35 回日本整形外科学会基礎学術集会, 2020 年 10 月 web 開催 (特別講演) 国内, 口頭.
282. 山崎正志: 脊椎・関節疾患におけるロボットリハビリテーションの最近の話題. 第 14

- 回日本 CAOS 研究会・第 26 回日本最小侵襲整形外科学会, 2020 年 9 月, 高知 (特別講演) 国内, 口頭.
283. 山崎正志: 脊椎・関節疾患に対する外骨格型ロボットを用いたリハビリテーション医療. 第 57 回日本リハビリテーション医学会, 2020 年 8 月, 京都 (教育講演) 国内, 口頭.
284. 門根秀樹, 三浦紘世, 久保田茂希, 清水如代, 安部哲哉, 船山徹, 國府田正雄, 山崎正志. HAL 歩行訓練による首下がり改善効果の解析—歩行時頸椎姿勢の改善. 第 93 回日本整形外科学会学術総会, 2020 年 5 月, 福岡 国内, Web 開催.
285. 門根秀樹, 三浦紘世, 久保田茂希, 安部哲哉, 清水如代, 鈴木健嗣, 國府田正雄, 山崎正志. HAL 歩行訓練による首下がり改善効果の解析—歩行時頸椎アライメントの評価. 第 93 回日本整形外科学会学術総会, 2020 年 5 月, 福岡 国内, Web 開催.
286. 清水 如代, 門根 秀樹, 久保田 茂希, 安部 哲哉, 三浦 紘世, 國府田 正雄, 羽田 康司, 山崎 正志. 脊髄損傷に伴う完全四肢麻痺・完全対麻痺例に対する新しい歩行訓練法 T-HAL(heterotopic triggered HAL)法. 第 93 回日本整形外科学会学術総会, 2020 年 5 月, 福岡 国内, Web 開催.
287. 清水如代, 門根秀樹, 久保田茂希, 安部哲哉, 三浦紘世, 國府田正雄, 羽田康司, 山崎正志. 頸髄損傷四肢完全麻痺患者に対する単関節 HAL による麻痺上肢訓練の実施可能性の検討. 第 93 回日本整形外科学会学術総会, 2020 年 5 月, 福岡 国内, Web 開催.
288. 安部哲哉, 久保田茂希, 門根秀樹, 三浦紘世, 浮田悠里, 柴尾洋介, 俣木健太郎, 野口裕史, 船山徹, 國府田正雄, 山崎正志. 胸椎後縦靭帯骨化症に対する術後 HAL 訓練の歩行解析. 第 93 回日本整形外科学会学術総会, 2020 年 5 月, 福岡 国内, Web 開催.
289. 三浦紘世, 門根秀樹, 柴尾洋介, 熊谷洋, 長島克弥, 俣木健太郎, 野口裕史, 船山徹, 安部哲哉, 國府田正雄, 山崎正志. 首下がりに対する三次元歩行動作解析を用いたアライメントの動的評価. 第 93 回日本整形外科学会, 2020 年 5 月, 福岡 国内, Web 開催.
290. 久保田茂希, 門根秀樹, 清水如代, 相馬裕一郎, 安部哲哉, 國府田正雄, 羽田康司, 山崎正志: 脊椎術後 C5 麻痺に対する肩関節 HAL を用いたロボットリハビリテーション. 第 57 回日本リハビリテーション医学会, 2020 年 8 月, 京都 国内, Hybrid 開催.
291. 清水如代, 久保田茂希, 安部哲哉, 國府田正雄, 渡部岳, 堀川諭, 武臣真和, 上野友之, 羽田康司, 山崎正志. 頸髄損傷四肢麻痺患者に対する単関節 HAL を使用した上肢リハビリテーション治療, 第 57 回日本リハビリテーション医学会, 2020 年 8 月, 京都 国内, Hybrid 開催.
292. 高橋宏, 齊藤淳哉, 青木保親, 中島新, 園部正人, 赤津頼一, 山田学, 國府田正雄, 山崎正志, 大鳥精司, 中川晃一, 西川悟. 脊椎術後難治性神経障害性疼痛に対するミロガバリン投与の治療効果. 第 49 回東日本整形災害外科学会, 主題 3: 神経障害性疼痛 up to date, 2020 年 9 月, Web 開催.
293. 江藤文彦, 辰村正紀, 長島克弥, 三浦紘世, 野口裕史, 船山徹, 安部哲哉, 國府田正雄, 山崎正志. 発性脊髄硬膜外血腫の高位別による形態的特徴. 第 35 回日本整形外科学会

基礎学術集会, 2020 年 10 月, オンライン

294. 安部哲哉, 久保田茂希, 門根秀樹, 三浦紘世, 浮田悠里, 柴尾洋介, 俣木健太郎, 野口裕史, 船山徹, 國府田正雄, 山崎正志. 胸椎後縦靱帯骨化症に対する術後 HAL 訓練の歩行解析. 第 35 回日本整形外科学会基礎学術集会, 2020 年 10 月, 東京 国内, Web 開催.
295. 俣木健太郎, 原友紀, 野口裕史, 岡野英里子, 長島克弥, 三浦紘世, 高橋宏, 船山徹, 安部哲哉, 國府田正雄, 山崎正志. トモシンセシスを使用した脊椎椎弓根スクリューの弛みの定量的評価法の開発. 第 35 回日本整形外科学会基礎学術集会, 2020 年 10 月, 東京 国内, Web 開催.
296. 三浦紘世, 門根秀樹, 柴尾洋介, 熊谷洋, 長島克弥, 俣木健太郎, 野口裕史, 船山徹, 安部哲哉, 國府田正雄, 山崎正志. 成人脊柱変形における連続歩行時の脊椎矢状面バランスと骨盤・下肢関節による代償の動態評価 -三次元動作解析を用いた歩行解析-第 35 回日本整形外科学会基礎学術集会, 2020 年 10 月, 東京 国内, Web 開催.
297. 三浦紘世, 門根秀樹, 柴尾洋介, 熊谷洋, 長島克弥, 俣木健太郎, 野口裕史, 船山徹, 安部哲哉, 國府田正雄, 山崎正志. 首下がり症候群に対する三次元動作解析を用いた脊椎アライメントの歩行時動的評価と静的アライメントとの関連. 第 35 回日本整形外科学会基礎学術集会, 2020 年 10 月, 東京 国内, Web 開催.
298. 門根秀樹, 三浦紘世, 久保田茂希, 安部哲哉, 清水如代, 鈴木健嗣, 國府田正雄, 山崎正志. HAL 歩行訓練による首下がり改善効果の解析: 歩行時頸椎アライメントの評価. 第 35 回日本整形外科学会基礎学術集会, 2020 年 10 月, 東京 国内, Web 開催.
299. 清水如代, 門根秀樹, 久保田茂希, 安部哲哉, 三浦紘世, 國府田正雄, 羽田康司, 山崎正志. 頸髄損傷四肢完全麻痺患者に対する単関節 HAL による麻痺上肢訓練の実施可能性の検討. 第 35 回日本整形外科学会基礎学術集会, 2020 年 10 月, 東京 国内, Web 開催.
300. 河野衛, 國府田正雄, 長島克弥, 江藤文彦, 柴尾洋介, 俣木健太郎, 三浦紘世, 野口裕史, 安部哲哉, 船山徹, 高橋宏, 牧聡, 萬納寺誓人, 古矢丈雄, 山崎正志. 頸椎長範囲後方固定において C6 への paravertebral foramen screw (PVFS) 脂溶は固定最尾側椎体 (LIV) の Implant failure を軽減させる. 第 29 回日本脊椎インストゥルメンテーション学会, 2020 年 10 月, Web 開催.
301. 柴尾洋介, 國府田正雄, 江藤文彦, 河野衛, 俣木健太郎, 三浦紘世, 野口裕史, 高橋宏, 船山徹, 安部哲哉, 山崎正志. 胸椎後縦靱帯骨化症術後に横紋筋融解症を発症した 1 例. 第 29 回日本脊椎インストゥルメンテーション学会, 2020 年 10 月, Web 開催.
302. 船山徹, 酒井晋介, 安部哲哉, 野口裕史, 三浦紘世, 俣木健太郎, 藤井賢吾, 熊谷洋, 長島克弥, 柴尾洋介, 江藤文彦, 河野衛, 佐藤康介, 朝田智之, 高橋宏, 國府田正雄, 山崎正志. パーソナル 3D プリンターを用いた脊椎実体模型による術前評価・術中支援の試み. 第 29 回日本脊椎インストゥルメンテーション学会, 2020 年 10 月, Web 開催.
303. 俣木健太郎, 河野衛, 江藤文彦, 柴尾洋介, 三浦紘世, 野口裕史, 高橋宏, 船山徹, 安部哲哉, 國府田正雄, 山崎正志. トモシンセシス撮影が術後頸椎前方ケージ設置評価に有用であった 1 例. 第 29 回日本脊椎インストゥルメンテーション学会, 2020 年 10 月, Web

開催.

304. 三浦紘世, 佐藤康介, 河野衛, 江藤文彦, 柴尾洋介, 俣木健太朗, 野口裕史, 高橋宏, 船山徹, 安部哲哉, 國府田正雄, 山崎正志. Controlling Nutritional Status と Surgical Apgar Score は頸椎術後の主要合併症予測因子となりうる. 第 29 回日本脊椎インストゥルメンテーション学会, 2020 年 10 月, Web 開催.
305. 吉井 俊貴 (シンポジウム) 頸椎人工椎間板置換術 日本における臨床の実際 第 29 回日本脊椎インストゥルメンテーション学会 2020.11.23 (Web)
306. 吉井 俊貴, 江川 聡, 坂井 顕一郎, 草野 和生, 中川 幸洋, 勝見 敬一, 國府田 正雄, 和田 簡一郎, 古矢 丈雄, 松山 幸弘, 竹下 克志, 川口 善治, 今釜 史郎, 松本 守雄, 大川 淳, 山崎 正志 頸椎後縦靱帯骨化症に対する手術治療における周術期神経合併症と危険因子 厚労科研研究班 多施設前向き調査 第 29 回日本脊椎インストゥルメンテーション学会 2020.11.24
307. 吉井 俊貴, 江川 聡, 坂井 顕一郎, 草野 和生, 中川 幸洋, 勝見 敬一, 國府田 正雄, 和田 簡一郎, 古矢 丈雄, 松山 幸弘, 竹下 克志, 川口 善治, 今釜 史郎, 松本 守雄, 大川 淳, 山崎 正志 頸椎後縦靱帯骨化症に対する前方・後方除圧固定術における手術成績と片側上肢麻痺 AMED 多施設前向き調査 第 49 回 日本脊椎脊髄病学会学術集会 2020.9.9 神戸
308. 森下 真伍, 吉井 俊貴, 大川 淳, 猪瀬 弘之, 平井 高志, 伏見 清秀, 藤原 武男
309. 高齢者骨粗鬆症性椎体骨折における 周術期全身合併症および死亡に関連する因子の検討 全国規模入院データベースを用いた解析 第 49 回 日本脊椎脊髄病学会学術集会 2020.9.7
310. 森 幹士, 吉井 俊貴, 平井 高志, 橋本 淳, 名越 慈人, 竹内 一裕, 勝見 敬一, 牧 聡, 中村 雅也, 松本 守雄, 大川 淳, 川口 善治 多施設前向き調査による若年頸椎 OPLL 患者の特徴 厚労科研脊柱靱帯骨化症研究班・JOSL study 第 49 回 日本脊椎脊髄病学会学術集会 2020.9.7 神戸
311. 吉井俊貴, 平井高志, 湯浅将人, 小沼博明, 猪瀬 弘之, 大川 淳 硬膜瘻孔を伴うヘモジデリン沈着症に対する MRI balanced sequence 法を使用した瘻孔部位同定 第 49 回 日本脊椎脊髄病学会学術集会 2020.9.7 神戸
312. 吉井俊貴, 平井高志, 湯浅将人, 小沼博明, 猪瀬弘之, 大川淳 硬膜瘻孔を伴うヘモジデリン沈着症に対する MRI balanced sequence 法を使用した瘻孔部位同定 第 49 回 日本脊椎脊髄病学会学術集会 2020.9.7 神戸
313. 平井 高志, 吉井 俊貴, 名越 慈人, 森 幹士, 竹内 一裕, 勝見 敬一, 牧 聡, 町野 正明, 橋本 淳, 西村 空也, 中村 雅也, 松本 守雄, 山崎 正志, 大川 淳, 川口 善治 全国多施設前向き調査による頸椎 OPLL 患者の JOACMEQ/BPEQ、痛みと画像所見との関連 厚労科研脊柱靱帯骨化症研究班・JOSL study 第 49 回 日本脊椎脊髄病学会学術集会 2020.9.7 神戸

314. 川畑 篤礼, 吉井 俊貴, 坂井 颯一郎, 平井 高志, 湯浅 将人, 猪瀬 弘之, 松倉 遊, 友利 正樹, 鳥越 一郎, 草野 和生, 大谷 和之, 水野 広一, 新井 嘉容, 大川 淳 パーキンソン病患者における成人脊柱変形手術の術後成績の検討 第 49 回 日本脊椎脊髄病学会学術集会 2020.09.7 神戸
315. 吉井 俊貴, 江川 聡, 坂井 颯一郎, 勝見 敬一, 中川 幸洋, 和田 簡一郎, 竹下 克志, 川口 善治, 今釜 史郎, 松本 守雄, 大川 淳, 山崎 正志, AMED・厚労科研靱帯骨化症 WG 頸椎後縦靱帯骨化症に対する手術治療における周術期神経合併症と危険因子 AMED・厚労科研研究班多施設前向き調査 第 93 回 日本整形外科学会学術総会 2020.5.21
316. 猪瀬 弘之, 湯浅 将人, 平井 高志, 吉井 俊貴, 大川 淳 頸椎症性脊髄症患者の転倒を予測する因子の解析 第 49 回日本脊椎脊髄病学会学術集会 2020 年 9 月 8 日 日本脊椎脊髄病学会
317. 平井高志 吉井俊貴 猪瀬弘之 湯浅将人 江川聡 小沼博明 平井敬悟 小林裕 川畑篤礼 歌川蔵人 橋本淳 大川淳 頸椎 3 椎間以上にわたる OPLL に対して椎体亜全摘を要した頸椎前方除圧固定術と椎体間固定術を併用した Hybrid 固定術との比較 第 49 回日本脊椎脊髄病学会学術集会 2020 年 9 月 8 日 日本脊椎脊髄病学会
318. 平井高志 吉井俊貴 名越慈人 森幹士 竹内一裕 勝見敬一 牧聡 町野正明 橋本淳 西村空也 中村雅也 松本守雄 山崎正志 大川淳 川口善治全国多施設前向き調査による頸椎 OPLL 患者の JOACMEQ/BPEQ、痛みと画像所見との関連 -厚労科研脊柱靱帯骨化症研究班・JOSL study - 第 49 回日本脊椎脊髄病学会学術集会 2020 年 9 月 8 日 日本脊椎脊髄病学会
319. 山本竜也, 岡田 英次郎, 吉井俊貴, 渡辺 慶, 檜山明彦, 中川幸洋, 遠藤照頭, 和田 簡一郎, 大川 淳, 松本守雄, 渡辺航太 : びまん性特発性骨増殖症を合併した脊椎損傷における糖尿病の影響-厚労 科研脊柱靱帯骨化症研究班・多施設研究-. 第 49 回日本脊椎脊髄病学会学術集会 (2020 年 9 月 7-9 日 オンライン)
320. 和田 簡一郎 (弘前大), 岡田 英次郎, 渡辺航太, 渡辺 慶, 加藤裕幸, 檜山明彦, 渡辺雅彦, 中川幸洋, 遠藤照頭, 竹内一裕, 松永俊二, 坂井 颯一郎, 小林 祥, 吉井俊貴, 松本守雄, 大川 淳 : びまん性特発性骨増殖症を伴った頸椎損傷に後縦靱帯骨化症が与える影響-厚労科研脊柱靱帯骨化症班・多施設後ろ向き調査-. 第 49 回日本脊椎脊髄病学会学術集会 (2020 年 9 月 7-9 日 オンライン)
321. 勝見敬一 (新潟中央病院), 平井高志, 吉井俊貴, 橋本 淳, 名越慈人, 森 幹士, 竹内一裕, 牧 聡, 中村雅也, 松本守雄, 大川 淳, 川口善治 : 全国多施設前向き調査による脊柱靱帯骨化の広がりや頸椎機能に与える影響-厚労科研脊柱靱帯骨化症研究班・JOSL study-. 第 49 回日本脊椎脊髄病学会学術集会 (2020 年 9 月 7-9 日 オンライン)
322. 森 幹士, 吉井俊貴, 平井高志, 橋本 淳, 名越慈人, 竹内一裕, 勝見敬一, 牧 聡, 中村雅也, 松本守雄, 大川 淳, 川口善治 : 多施設前向き調査による若年頸椎 OPLL 患者の特

徴-厚労科研脊柱靱帯骨化症研究班・JOSL study-. 第 49 回日本脊椎脊髄病学会学術集会
(2020 年 9 月 7-9 日 オンライン)

323. 岡田 英次朗, 藤田順之, 石原慎一, 道川武紘, 鈴木悟士, 辻 収彦, 名越慈人, 八木 満, 中村雅也, 松本守雄, 渡辺航太: びまん性特発性骨増殖症とメタボリックシンドロームの関連 —運動器ドックにおけるにおける横断的検討—. 第 49 回日本脊椎脊髄病学会学術集会 (2020 年 9 月 7-9 日 オンライン)
324. 岡田 英次朗, 藤田順之, 石原慎一, 道川武紘, 鈴木悟士, 辻 収彦, 名越慈人, 八木 満, 中村雅也, 松本守雄, 渡辺航太: びまん性特発性骨増殖症はメタボリックシンドロームと関連する. 第 93 回日本整形外科学会学術集会—オンライン学術集会— (2020 年 6 月 11 日-8 月 31 日)
325. 生長弥須蔵, 長本行隆, 奥田眞也, 他. 診断に苦慮した脊椎カリエスの 2 例. 第 134 回中部災害外科学会 (令和 2 年 4 月 10 日 大阪)
326. 高橋佳史, 奥田眞也, 長本行隆, 他. 腰椎椎間板ヘルニアに対するコンドリナーゼ治療の短期成績. 第 134 回中部災害外科学会 (令和 2 年 4 月 10 日 大阪)
327. 松本富哉, 奥田眞也, 長本行隆, 他. Mobi-C を使用した頸椎人工椎間板置換術の短期成績. 第 134 回中部災害外科学会 (令和 2 年 4 月 10 日 大阪)
328. 奥田眞也, 長本行隆, 松本富哉, 他. PLIF の長期成績. 第 49 回日本脊椎脊髄病学会 (令和 2 年 9 月 7-9 日 神戸)
329. 長本行隆, 奥田眞也, 松本富哉, 他. 隣接椎間に PLIF を繰り返した症例(Repeat PLIF) では, 再手術前の PI-LL mismatch があると長範囲固定に発展しやすい. 第 49 回日本脊椎脊髄病学会 (令和 2 年 9 月 7-9 日 神戸)
330. 長本行隆, 岩崎幹季, 奥田眞也, 他. 成人脊柱変形手術の患者満足度を規定する因子は何か?. 第 49 回日本脊椎脊髄病学会 (令和 2 年 9 月 7-9 日 神戸)
331. 松本富哉, 山下智也, 奥田眞也, 他. 頸椎前方術後の低酸素脳症の経験 —その後の予防対策—. 第 49 回日本脊椎脊髄病学会 (令和 2 年 9 月 7-9 日 神戸)
332. 松本富哉, 奥田眞也, 長本行隆, 他. 頸椎前方手術後の抜管前レントゲンで抜管後の椎体前面軟部組織腫脹を予測できる. 第 49 回日本脊椎脊髄病学会 (令和 2 年 9 月 7-9 日 神戸)
333. 古家雅之, 奥田眞也, 長本行隆, 他. 透析患者に対する脊椎手術の長期予後. 第 49 回日本脊椎脊髄病学会 (令和 2 年 9 月 7-9 日 神戸)
334. 古家雅之, 奥田眞也, 長本行隆, 他. 透析患者に対する腰椎手術後の再手術の検討. 第 49 回日本脊椎脊髄病学会 (令和 2 年 9 月 7-9 日 神戸)
335. 佐邊秀彬, 長本行隆, 岩崎幹季, 他. Parkinson 病に伴う脊柱変形に対する矯正固定術の検討. 第 135 回中部災害外科学会 (令和 2 年 10 月 9-10 日 島根)
336. 金子正憲, 古家雅之, 長本行隆, 他. 上位胸椎に発生した黄色靱帯嚢腫の 1 例. 第 135 回中部災害外科学会 (令和 2 年 10 月 9-10 日 島根)

337. 高橋佳史、奥田眞也、長本行隆、他. コンドリアーゼ治療が奏功した術後再発椎間板ヘルニアの2例. 第135回中部災害外科学会 (令和2年10月9-10日 島根)
338. 松本富哉、奥田眞也、長本行隆、他. Cage 角度の違いは術後脊柱骨盤アライメントの改善に影響するか -L4/5 単椎間 PLIF での検討 6° vs 12°-. 第135回中部災害外科学会 (令和2年10月9-10日 島根)
339. 佐邊秀彬、長本行隆、岩崎幹季、他. Parkinson 病に伴う脊柱変形に対する矯正固定術の治療成績. 第54回日本側弯症学会 (令和2年11月6-8日 埼玉)
340. 長本行隆、岩崎幹季、奥田眞也、他. 成人脊柱変形に対する矯正固定術の患者満足度調査～手術への期待と達成を問う独自アンケートを用いた検討～. 第54回日本側弯症学会 (令和2年11月6-8日 埼玉)
341. 奥田眞也、長本行隆、松本富哉、他. 今だからすべき PLIF 術式の工夫. 日本インストゥルメンテーション学会 (令和2年10月23-24日 栃木)
342. 後迫宏紀, 吉田 剛, 小林和克, 岩崎 博, 川端茂徳, 和田簡一郎, 高橋雅人, 田所伸朗, 重松英樹, 今釜史郎, 松山幸弘: 成人脊柱変形矯正手術に対する経頭蓋電気刺激筋誘発電位の有用性-日本脊椎脊髄病学会モニタリングワーキンググループ多施設前向き研究-第49回日本脊椎脊髄病学会 2020年9月7-9日 神戸
343. 重松 英樹 吉田 剛 今釜 史郎 小林 和克 藤原 靖 川端 茂徳 岩崎 博 山田 圭 和田 簡一郎 松山 幸弘 Br(E)-MsEP における波形低下の原因精査 手術手技以外 (X factor) に着目して脊椎脊髄病学会モニタリング委員多施設データより第49回日本脊椎脊髄病学会 2020年9月7-9日 神戸
344. 小林和克 今釜史郎 重松英樹 吉田 剛 藤原 靖 川端 茂徳 岩崎 博 山田 圭 和田 簡一郎 松山 幸弘高リスク脊椎手術における Tc-MEPs 波形導出不良例の検討 -日本脊椎脊髄病学会 多施設前向き研究-日本脊椎脊髄病学会 2020.9 神戸国際会議場: 神戸市
345. 船場 真裕, 寒竹 司, 藤原 靖, 川端 茂徳, 山田 圭, 吉田 剛, 岩崎 博, 高橋 雅人, 和田 簡一郎, 谷口 慎一郎, 重松 英樹, 田所 伸朗, 山本 直也, 今釜 史郎, 安藤 宗治, 松山 幸弘頸椎症性脊髄症と頸椎後縦靱帯骨化症の術中モニタリング所見の検討 日本脊椎脊髄病学会モニタリングワーキンググループ多施設研究日本整形外科学会学術集会総会 2020.5 Web 開催
346. 船場 真裕, 寒竹 司, 藤原 靖, 川端 茂徳, 山田 圭, 吉田 剛, 岩崎 博, 高橋 雅人, 和田 簡一郎, 重松 英樹, 谷口 慎一郎, 松山 幸弘頸椎症性脊髄症と頸椎後縦靱帯骨化症の術中モニタリング所見の比較 日本脊椎脊髄病学会モニタリング WG 多施設研究 第50回日本臨床神経生理学会学術大会. 京都. 2020年11月26日-28日.
347. 高橋雅人, 里見和彦, 長谷川淳, 佐野秀仁, 長谷川雅一, 辻将明, 市村正一, 細金直文: 頸椎後縦靱帯骨化症における脊髄誘発電位の臨床的意義. 第49回日本脊椎脊髄病学会. 神戸. 2020年9月7日-9日.

348. 高橋 雅人,吉田 剛,安藤宗治,今釜 史郎,川端茂徳,山本 直也,山田圭,藤原 靖,松山幸弘 : 日本脊椎脊髄病学会モニタリングワーキンググループが策定した術中脊髄モニタリングアラームポイントの基準妥当性.
349. 第 93 回日本整形外科学会学術総会. オンライン. 2020 年 6 月 11 日-8 月 31 日. 高橋 雅人,吉田 剛,安藤宗治,今釜 史郎,川端茂徳,山田 圭,寒竹司,藤原 靖,田所伸朗,和田 簡一郎,山本直也,松山 幸弘 : 日本脊椎脊髄病学会モニタリングワーキンググループが策定した術中脊髄モニタリングアラームポイントの基準妥当性.
350. 相澤俊峰ほか. 胸椎後縦靭帯骨化症に対する後方進入前方除圧術の手術成績. 第 49 回日本脊椎脊髄病学会
351. 相澤俊峰ほか. 胸椎後縦靭帯骨化症の手術成績. 第 93 回日整会総会
352. 船尾陽生, 出浦健太郎, 磯貝宜広, 草野修輔, 笹生豊, 西山誠, 石井賢. 頰椎疾患患者における上肢機能障害に関連したADL制限の解析 —DASHを用いた検討—. 第8回Japan Association of Spine Surgeons with Ambition (JASA) (2019年8月4日 横浜)
353. 船尾陽生, 出浦健太郎, 草野修輔, 吉田宏大, 高橋慶行, 磯貝宜広, 笹生豊, 西山誠, 石井賢. 頰椎症性脊髄症における上肢機能障害に関連した日常動作制限の解析 —DASHを用いた解析—. 第93回日本整形外科学会学術集会 (2020年6月11日～8月31日 福岡 →web開催)
354. 今釜 史郎, 安藤 圭, 小林 和克, 中島宏彰, 石黒 直樹 胸椎 OPLL に対する後方除圧矯正固定術 第 49 回日本脊椎脊髄病学会学術集会 (神戸市) 2020 年 9 月 7 日～9 日
355. 武中 章太, 寒 重之, 牧野 孝洋, 坂井 勇介, 串岡 純一, 田中 壽, 渡邊 嘉之, 柴田 政彦, 海渡 貴司. 安静時 functional MRI を用いた脳局所活動評価による頰髄症患者の可塑性, 予後予測の妥当性検証. 第 49 回日本脊椎脊髄病学会学術集会. 2020/9/7-23. 神戸, web ハイブリッド開催.
356. 武中 章太, 海渡 貴司, 寒 重之, 牧野 孝洋, 坂井 勇介, 串岡 純一, 田中 壽, 渡邊 嘉之, 柴田 政彦, 吉川 秀樹. 安静時 functional MRI を用いた頰髄症患者における脳機能結合解析の厳密な多重比較補正を適用した再検討. 第 93 回日本整形外科学会学術総会. 2020/ 6/11～8/31. Web 開催.
357. 森 幹士 吉井俊貴 平井高志 橋本淳 名越慈人 竹内一裕 勝見敬一 牧聡 中村雅也 松本守雄 大川淳 川口善治 厚労科研脊柱靭帯骨化症研究班. 多施設前向き調査による若年頰椎 OPLL 患者の特徴 —厚労科研脊柱靭帯骨化症研究班・JOSL study— 多施設前向き調査による若年頰椎 OPLL 患者の特徴 —厚労科研脊柱靭帯骨化症研究班・JOSL study— 第 93 回日本整形外科学会学術総会 福岡 (オンライン開催) 2020, 5, 21-24
358. 彌山峰史, 森 幹士, 齋藤英貴, 北川誠大, 西澤和也, 中村 陽, 今井晋二. 胸椎黄色靭帯骨化症の術後成績に関与する因子と病理組織像の特徴. 第 93 回日本整形外科学会, 2020/5/21-24, 福岡市 (オンライン) .
359. 彌山峰史, 森 幹士, 齋藤英貴, 熊谷康佑, 西澤和也, 中村 陽, 北川誠大. 今井晋二. プロテオミクスによる頰椎後縦靭帯骨化における骨化関連因子の解析. 第 49 回日本脊

- 椎脊髄病学会, 2020/9/7-9, 神戸市 (オンライン) .
360. 斎藤英貴, 彌山峰史, 森 幹士, 藤川ひとみ, 北川誠大, 熊谷康佑, 西澤和也, 中村 陽, 今井晋二. 頤椎後縦靱帯骨化における骨化形態とサイトカイン発現の相関性. 第 49 回日本脊椎脊髄病学会, 2020/9/7-9, 神戸市 (オンライン) .
361. 斎藤英貴, 彌山峰史, 森 幹士, 北川誠大, 西澤和也, 熊谷康佑, 今井晋二. 頤椎後縦靱帯骨化における骨化形態と IL-6 の相関性. 第 57 回日本リハビリテーション医学会学術集会, 2020/8/19-22, 京都 (オンライン) .
362. 彌山峰史, 森 幹士, 斎藤英貴, 熊谷康佑, 藤川ひとみ, 北川誠大. 今井晋二. 頤椎後縦靱帯骨化に由来する培養細胞に対するプロテオミクス解析. 第 35 回日本整形外科学会基礎学術集会, 2020/10/15-16, 東京都 (オンライン) .
363. 斎藤英貴, 彌山峰史, 森 幹士, 北川誠大, 藤川ひとみ, 熊谷康佑, 西澤和也, 今井晋二. 頤椎後縦靱帯骨化におけるサイトカインプロファイルと転写因子の相関. 第 35 回日本整形外科学会基礎学術集会, 2020/10/15-16, 東京都 (オンライン) .
364. 彌山峰史, 森 幹士, 北川誠大, 西澤和也, 中村 陽, 斎藤英貴, 今井晋二. 胸椎黄色靱帯骨化症の手術成績に關与する因子. 第 27 回日本脊椎脊髄神経手術手技学会, 2020/10/2-3, 千葉市 (オンライン) .
365. 船場 真裕, 今城 靖明, 鈴木 秀典, 西田 周泰, 藤本 和弘, 永尾 祐治, 坂本 拓哉, 坂井 孝司 頤椎後縦靱帯骨化症の重症度および治療成績と關連する因子はアライメントにより異なる 日本脊椎脊髄病学会 2020
366. 勝見敬一, 平井高志 吉井俊貴 橋本淳 名越慈人 森幹士 竹内一裕 牧聡 中村雅也 松本守雄 大川淳 川口善治. 全国多施設前向き調査による脊柱靱帯骨化の広がりや頤椎機能に与える影響-厚労科研脊柱靱帯骨化症研究班・JOSL study-. 2020 年 4 月 第 49 回日本脊椎脊髄病学会で発表
367. 勝見敬一, 渡辺慶, 平野徹, 渡辺慶, 山崎昭義, 大橋正幸, 溝内龍樹, 若杉正嗣, 澤上公彦, 傳田博司, 和泉智博, 牧野達夫, 石川裕也, 竹末祐也, 遠藤直人. K-line(-)頤椎後縦靱帯骨化症に対する前弯位矯正する新しい後方固定術. 2020 年 4 月 第 49 回日本脊椎脊髄病学会で発表
368. 勝見敬一, 渡邊慶, 平野徹, 和泉智博, 大橋正幸, 牧野達夫, 石川裕也, 竹末祐也, 山崎昭義, 遠藤直人. 頤椎後縦靱帯骨化症の骨化進展と骨代謝動態の解析. 2020 年 4 月 第 49 回日本脊椎脊髄病学会で発表
369. 勝見敬一, 渡辺慶, 平野徹, 渡辺慶, 和泉智博, 山崎昭義, 溝内龍樹, 石川裕也, 佐藤雅之, 坂本徹夫, 川島寛之. 頤椎後縦靱帯骨化症の骨化進展因子と予測バイオマーカーの確立. 2021 年 1 月 第 31 回 東北脊椎外科研究会 で発表
370. 鬼頭浩史. 骨系統疾患の診断入門-X線診断を中心に-. 第1回東海地区骨系統疾患研究会. 2020,1,25
371. 鬼頭浩史. 骨系統疾患における成人期の問題.第93回日本整形外科学会. 2020.5.21-24

厚生労働省科学研究費補助金 難治性疾患政策研究事業

【脊柱靱帯骨化症に関する調査研究】 令和2年度第1回班会議

国立研究開発法人日本医療研究開発機構委託研究開発費 難治性疾患実用化研究事業

【後縦靱帯骨化症患者レジストリの構築】 令和2年度第1回 合同班会議

令和2年6月26日(金)

テレビ会議システム: Zoom

ライブ配信: Youtube Live 限定公開

(敬称略)

- 10:00 開会の辞 脊柱靱帯骨化症に関する調査研究班 研究代表者 山崎正志
- 10:05 ご挨拶 厚生労働省 健康局 難病対策課 谷口 倫子
ご挨拶 国立保健医療科学院 研究事業推進官 武村 真治
ご挨拶 AMED 難治性疾患実用化研究事業 和田 和子
ご挨拶 全国脊柱靱帯骨化症患者家族連絡協議会 会長 増田 靖子
- 10:20 多施設臨床研究報告(発表5分、質疑1分)
座長 筑波大学 國府田 正雄
1. 厚労省難治性疾患等政策研究事業 脊柱靱帯骨化症に関する調査研究
筑波大学医学医療系整形外科 國府田 正雄
 2. 脊柱靱帯骨化症診療ガイドライン2019「評価と普及」プロジェクト
富山大学医学部整形外科学 川口 善治
 3. 全脊柱CTを用いた脊柱靱帯骨化症患者の臨床症状と画像初見との検討
東京医科歯科大学 平井 高志
 4. 後縦靱帯骨化症への人工知能の応用
千葉大学大学院医学研究院 整形外科 牧 聡
 5. OPLL 研究班 脊髄障害性疼痛研究
北里大学医学部整形外科学 宮城 正行
 6. 胸椎靱帯骨化症(OPLL, OLF)手術症例前向き収集のお願い
名古屋大学 安藤 圭
 7. 術後頸椎カラー固定に関する研究
千葉大学整形外科 古矢 丈雄
 8. 生活習慣病のコントロールはOPLLの骨化進展に影響するか?
東京大学整形外科 大島 寧
 9. 胸椎後縦靱帯骨化症全ゲノム関連研究(GWAS)
北海道大学 高畑 雅彦
 10. 頸椎後縦靱帯骨化症 多施設前向き手術症例登録(AMED研究)保存症例レジストリ構築(AMED研究)
東京医科歯科大学整形外科 吉井 俊貴
 11. 進行性骨化性線維異形成症(FOP)多施設共同研究プロジェクト
東京大学リハビリテーション医学 芳賀 信彦
- 11:24 多施設臨床研究報告 全体質疑
- 11:30 閉会の辞 脊柱靱帯骨化症に関する調査研究班 研究代表者 山崎正志

厚生労働省科学研究費補助金 難治性疾患政策研究事業

【脊柱靱帯骨化症に関する調査研究】 令和2年度第2回班会議

国立研究開発法人日本医療研究開発機構委託研究開発費 難治性疾患実用化研究事業

【後縦靱帯骨化症患者レジストリの構築】 令和2年度第2回 合同班会議

令和2年11月27日(金)

テレビ会議システム: Zoom

ライブ配信: ZOOM ウェビナー

(敬称略)

- 10:00 開会の辞 脊柱靱帯骨化症に関する調査研究班 研究代表者 山崎 正志
- 10:05 ご挨拶 厚生労働省健康局難病対策課 谷口 倫子
ご挨拶 国立保健医療科学院 研究事業推進官 武村 真治
ご挨拶 AMED 難治性疾患実用化研究事業 松田 二三子
ご挨拶 全国脊柱靱帯骨化症患者家族連絡協議会 会長 増田 靖子
- 10:20 多施設臨床研究報告(発表5分、質疑1分)
座長 筑波大学 國府田 正雄
1. 脊柱靱帯骨化症症例レジストリ構築プロジェクト 獨協医科大学整形外科 種市 洋
 2. 脊柱靱帯骨化症診療ガイドライン普及プロジェクトについて 富山大学医学部整形外科 川口 善治
 3. 胸椎後縦靱帯骨化症に対する脊髄モニタリング多施設研究 名古屋大学整形外科 小林 和克
 4. 胸椎後縦靱帯骨化症手術症例の中期成績、および今後について 名古屋大学整形外科 安藤 圭
 5. 頸椎後縦靱帯骨化症データベース研究の進捗 東京医科歯科大学整形外科 吉井 俊貴
 6. 頸椎術後脊髄障害性疼痛残存・悪化の危険因子 北里大学整形外科学 宮城 正行
 7. OPLL 骨化進展と代謝性疾患の関連について 東京大学整形外科 大島 寧
 8. 全脊柱 CT 前向き研究の進捗と今後の方向性 東京医科歯科大学整形外科 平井 高志
 9. 無自覚の非アルコール性脂肪肝が靱帯骨化を進展させる可能性について 北海道大学整形外科 遠藤 努
 10. 三次元不等方性コントラスト法と拡散テンソル解析を用いた頸髄後索評価 新潟中央病院整形外科 溝内 龍樹
 11. 頸椎後縦靱帯骨化症ならびに頸椎症性脊髄症における先行随伴性姿勢調節機能の解析 国際医療福祉整形外科 船尾 陽生
 12. 人工知能を用いた頸椎 OPLL の画像診断 東京医科大学整形外科 村田 寿馬

13. 深層学習による頸椎単純 X 線像に基づく頸椎後縦靭帯骨化症と頸椎症の鑑別診断
千葉大学整形外科 三浦 正敬

14. 頸椎後縦靭帯骨化症における画像パラメーターと神経学的所見の関連
山口大学整形外科 船場 真裕

11 : 40 多施設臨床研究報告 全体質疑

11 : 50 閉会の辞 脊柱靭帯骨化症に関する調査研究班 研究代表者 山崎 正志

厚生労働省科学研究費補助金 難治性疾患政策研究事業

【脊柱靱帯骨化症に関する調査研究】

国立研究開発法人日本医療研究開発機構 委託研究開発費 難治性疾患実用化研究事業

【患者レジストリを利活用した脊柱靱帯骨化症の治療成績向上のための多施設臨床研究】

令和3年度第1回 合同班会議

令和3年6月25日（金）

テレビ会議システム：Zoom

（敬称略）

10：00 開会の辞 脊柱靱帯骨化症に関する調査研究班 研究代表者 山崎 正志

10：05 ご挨拶 厚生労働省 健康局 難病対策課 谷口 倫子
ご挨拶 国立保健医療科学院 研究事業推進官 武村 真治
ご挨拶 AMED 難治性疾患実用化研究事業 プログラムオフィサー 稲垣 治
ご挨拶 全国脊柱靱帯骨化症患者家族連絡協議会 会長 増田 靖子

10：20 1. 研究の全体像について 筑波大学整形外科 國府田 正雄

2. 脊柱靱帯骨化症症例レジストリー構築プロジェクト 獨協医科大学整形外科 種市 洋

3. AMED 研究 靱帯骨化症患者レジストリを利活用した臨床研究 東京医科歯科大学整形外科 吉井 俊貴

4. 脊柱靱帯骨化症ガイドライン普及に関する取り組み、アンケート調査の実施と現状 富山大学整形外科 川口 善治

10：50 多施設臨床研究報告（発表後質疑1分）

5. 頸髄症術後回復は術前脳画像から予測できるか？
-安静時 fMRI を用いた多施設研究- 大阪大学整形外科 海渡 貴司

6. 全脊柱 CT 前向き研究の進捗と今後の展望 東京医科歯科大学整形外科 平井 高志

7. 深層学習を用いた術前画像から頸椎後縦靱帯骨化症の手術予後を予測する試み 千葉大学整形外科 牧 聡

8. 術後頸椎外固定に関する調査・研究-班会議メンバーへのアンケート結果のご報告 千葉大学整形外科 古矢 丈雄

9. 進行性骨化性線維異形成症（FOP）研究班報告 東京大学リハビリテーション科 緒方 徹

10. 後縦靱帯骨化症脊髄障害性疼痛研究 頸椎術後脊髄障害性疼痛 北里大学整形外科 宮城 正行

11. 胸椎後縦靱帯骨化症に対する脊髄モニタリング多施設研究 名古屋大学整形外科 小林 和克

12. びまん性特発性骨増殖症における脊椎損傷

慶應義塾大学整形外科 高橋 洋平

13. 胸椎後縦靭帯骨化症手術の多施設前向き研究-画像解析-(AMED 研究)

名古屋大学整形外科 安藤 圭

14. 高齢者の頸椎頸髄損傷に関する JASA 多施設研究の概要と今後の展望

金沢大学整形外科 横川 文彬

11 : 50 全体質疑

11 : 55 閉会の辞 脊柱靭帯骨化症に関する調査研究班

研究代表者 山崎 正志

厚生労働省科学研究費補助金 難治性疾患政策研究事業

脊柱靱帯骨化症に関する調査研究

国立研究開発法人日本医療研究開発機構
委託研究開発費 難治性疾患実用化研究事業

患者レジストリを利活用した脊柱靱帯骨化症の治療成績向上のための多施設臨床研究

令和3年度 第2回 合同班会議

会期：令和3年11月26日（金） Zoom会議システム

（敬称略）

10：00～ 開会の辞

脊柱靱帯骨化症に関する調査研究班 研究代表者

山崎 正志

10：05～ ご挨拶

厚生労働省 健康局 難病対策課

安井 秀樹

国立保健医療科学院 研究事業推進官

武村 真治

AMED 難治性疾患実用化研究事業 プログラムオフィサー

稲垣 治

全国脊柱靱帯骨化症患者家族連絡協議会 会長

増田 靖子

10：20～ 多施設臨床研究報告（発表5分、質疑1分）

1. 研究の全体像について

筑波大学 整形外科 國府田 正雄

2. 胸椎後縦靱帯骨化症に対する脊髄モニタリング多施設研究

浜松医科大学 整形外科学講座 吉田 剛

3. 脊柱靱帯骨化症診療ガイドライン普及プロジェクトの進捗

富山大学 整形外科 川口 善治

4. 脊柱靱帯骨化症症例レジストリ登録システム運用について

筑波大学 整形外科 高橋 宏

指定発言「OPLLナショナル・レジストリー」

獨協医科大学 医学部医学科 整形外科学 種市 洋

5. 頸椎後縦靱帯骨化症をレントゲンから自動診断する人工知能を用いたWebアプリの開発

千葉大学 整形外科 牧 聡

6. 縦断的全脊椎CTによる後縦靱帯骨化症の進展危険因子の検討

北海道大学 整形外科学教室 高畑 雅彦

7. 全ゲノム相関解析を応用した後縦靭帯骨化症の病因探索
北海道大学 整形外科 理化学研究所 骨関節疾患研究チーム
小池 良直
8. 進行性骨化性線維異形成症に対する治療薬の開発研究
埼玉医科大学 医学部 ゲノム基礎医学 片桐 岳信
9. FOPレジストリ事業の進捗
東京大学リハビリテーション科 緒方 徹
10. 脊柱管狭窄を伴う非骨傷性頸髄損傷に対する早期手術と
待機治療のランダム化比較試験OSCISstudy
群馬大学 整形外科学教室 筑田 博隆
11. 胸椎後縦靭帯骨化症に対する後方除圧固定術の長期成績
名古屋大学 整形外科 安藤 圭
12. びまん性特発性骨増殖症を合併した脊椎損傷多施設前向き研究
慶應義塾大学 整形外科 高橋 洋平
13. 胸椎後縦靭帯骨化症の骨化巣の三次元画像解析
新潟県立 新発田病院整形外科 渋谷 洋平

11:40～ AMED 研究報告

14. (AMED研究)患者レジストリを利活用した多施設臨床研究
東京医科歯科大学 整形外科学 吉井 俊貴
15. 新しい機械学習を用いた頸椎後縦靭帯骨化症の手術の予後予測モデルの構築
千葉大学 整形外科 牧 聡
16. AMEDレジストリ研究からみた肥満が頸椎OPLL手術治療に与える影響
滋賀医科大学 整形外科 森 幹士

12:00～ 多施設臨床研究報告 全体質疑

座長

筑波大学 整形外科 國府田 正雄

12:05～ 閉会の辞

脊柱靭帯骨化症に関する調査研究班 研究代表者

山崎 正志

脊柱靱帯骨化症に関する調査研究

国立研究開発法人日本医療研究開発機構
委託研究開発費 難治性疾患実用化研究事業

患者レジストリを利活用した脊柱靱帯骨化症の治療成績向上のための多施設臨床研究

令和4年度 第1回 合同 班会議

会期：令和4年6月24日（金）

（敬称略）

10：00～ 開会の辞

脊柱靱帯骨化症に関する調査研究班 研究代表者 筑波大学 整形外科 山崎 正志

10：05～ ご挨拶

厚生労働省 健康局 難病対策課 高橋 友香里
国立保健医療科学院 研究事業推進官 武村 真治
AMED 難治性疾患実用化研究事業 プログラムオフィサー 稲垣 治
全国脊柱靱帯骨化症患者家族連絡協議会 会長 増田 靖子

10：30～ 午前の部 多施設臨床研究報告（発表7分、質疑3分）

1. 研究の全体像について

筑波大学 整形外科 國府田 正雄

2. FOPレジストリの現状報告

東京大学 リハビリテーション科 緒方 徹

3-1. JOANRレジストリ報告

獨協医科大学 整形外科 種市 洋

3-2. OPLLレジストリ登録の進捗状況

筑波大学 整形外科 高橋 宏

4. 全脊柱CT研究 骨化病巣の縦断的検証

東京医科歯科大学 整形外科 平井 高志

5. びまん性特発性骨増殖症における脊椎損傷

慶應義塾大学 整形外科 高橋 洋平

6. 遺伝統計学的アプローチによるOPLLと全身的併存症の因果関係の解析

北海道大学 整形外科 小池 良直

7. 後縦靱帯骨化症に対する脊髄モニタリング JSSRモニタリング委員会多施設研究

浜松医科大学 整形外科 吉田 剛

8. 胸椎靱帯骨化症に対する手術成績と画像解析

名古屋大学 整形外科 中島 宏彰

9. 脳安静時functional MRIを用いた頸髄症の新規バイオマーカー探索

－多施設研究の進捗報告－

武中章太(大阪大学)・加藤壯(東京大学)・大島寧(東京大学)・鈴木秀典(山口大学)・國府田正雄(筑波大学)・江藤文彦(筑波大学)・名越慈人(慶應大学)・渡邊航太(慶應大学)・吉井俊貴(東京医科歯科大学)・橋本淳(東京医科歯科大学)・川口善治(富山大学)・海渡貴司(大阪大学)

12:00～ 食事休憩（弁当配布）

13:00～ 午後の部 AMEDレジストリ研究報告（発表7分、質疑3分）

10. 脊柱靱帯骨化症患者レジストリを利活用したエビデンスの構築 -AMED研究-
東京医科歯科大学 整形外科 吉井 俊貴
11. 術前画像から深層学習を用いて 頰椎後縦靱帯骨化症の手術予後を予測する試み
千葉大学 整形外科 牧 聡
12. 脊髄障害性疼痛研究（頰椎）
北里大学 整形外科 宮城 正行
13. 脊柱靱帯骨化症術後の復職に関する調査
滋賀医科大学 整形外科 森 幹士

13:40～ 多施設臨床研究報告 全体質疑

座長 筑波大学 整形外科 國府田 正雄

13:50～ 閉会の辞

脊柱靱帯骨化症に関する調査研究班 研究代表者 筑波大学 整形外科 山崎 正志

14:00～ 分科会

脊柱靱帯骨化症に関する調査研究

国立研究開発法人日本医療研究開発機構
委託研究開発費 難治性疾患実用化研究事業

患者レジストリを活用した脊柱靱帯骨化症の治療成績向上のための多施設臨床研究

令和4年度 第2回 合同 班会議

会期：令和4年11月11日（金）

筑波大学 東京キャンパス 文京校舎 134講義室

10：00～ 開会の辞

脊柱靱帯骨化症に関する調査研究班 研究代表者 山崎 正志

10：05～ ご挨拶

厚生労働省 健康局 難病対策課 原 美朋

国立保健医療科学院 研究事業推進官 武村 真治

AMED 難治性疾患実用化研究事業 ご担当者

全国脊柱靱帯骨化症患者家族連絡協議会 会長 増田 靖子

10：20～ 多施設臨床研究報告（発表6分、質疑4分）

- 1) 研究の全体像について
座長 筑波大学 整形外科 國府田 正雄
- 2) JOANR OPLLレジストリ登録の進捗状況報告 ～本運用開始に向けて～
筑波大学 整形外科 高橋 宏
- 3) FOPレジストリの現状報告
東京大学 リハビリテーション科 緒方 徹
- 4) 術中脊髄モニタリング多施設研究
(WEB) 浜松医科大学 整形外科学講座 吉田 剛
- 5) 肥満症治療による骨化進展抑制効果についての予備的研究結果
北海道大学 整形外科学教室 高畑 雅彦

11：00～ 一般演題（発表6分、質疑4分）

- 6) 患者・市民参画（PPI）研究による患者視点からの
靱帯骨化症患者の痛みやしびれの実態調査
北海道大学 整形外科学教室 高畑 雅彦
全国脊柱靱帯骨化症患者家族連絡協議会 増田 靖子

- 7) OPLLによる脊髄症発現のリスク評価
 ～ 局所の静的・動的要素と脊髄圧迫のデータから ～
 富山大学 整形外科 賀 中原
- 8) OPLLにおける炎症の値と靭帯骨化の形態および仙腸関節の癒合との関連
 富山大学 整形外科 Nguyen Tran Canh Tung
- 9) 後縦靭帯骨化症の骨化進展を反映する骨代謝バイオマーカーの検討
 新潟中央病院 整形外科 脊椎・脊髄センター
 新潟大学 整形外科 勝見 敬一
- 10) OPLL頸椎疾患におけるDASHスコア
 (WEB) (上肢機能に関する患者立脚型アウトカム)の有用性
 国際医療福祉大学 整形外科 船尾 陽生
- 11) びまん性特発性骨増殖症における脊椎損傷
 慶應大学 整形外科 高橋 洋平

12:00～ 昼食休憩 (弁当配布)

昼食会場：嘉ノ雅 茗溪館 ～かのび めいけいかん～

13:30～ 多施設臨床研究報告 (AMED) (発表6分、質疑4分)

ご挨拶 AMED 難治性疾患実用化研究事業 ご担当者

- 12) 患者レジストリを利活用した脊柱靭帯骨化症の臨床研究 AMED研究
 東京医科歯科大学 整形外科 吉井 俊貴
- 13) 術後残存疼痛研究
 (WEB) 北里大学 整形外科 池田 信介
- 14) 胸椎OPLL/OLF前向き登録 ～胸椎靭帯骨化症の疼痛～
 名古屋大学 整形外科 中島 宏彰
- 15) 頸椎後縦靭帯骨化症骨化症のCT画像を用いた骨化巣のセグメンテーション
 千葉大学 整形外科 牧 聡
- 16) 後縦靭帯骨化症術後の復職調査について
 滋賀医科大学 整形外科 森 幹士

14:30～ 多施設臨床研究報告 全体質疑

座長 筑波大学 整形外科 國府田 正雄

15:00～ 閉会の辞

脊柱靱帯骨化症に関する調査研究班 研究代表者 山崎 正志

15:10～ 分科会

※状況により、演題発表の順番や発表時間の変更が生じる場合がございますのでご了承ください。